取扱説明書

INFOBAR A01

ごあいさつ

このたびは、INFOBAR A01をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

取扱説明書ダウンロード
『取扱説明書』(本書)のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html
- ダウンロードした『取扱説明書』(本書)のPDFファイルをINFOBAR A01で表示するには、Documents To Goの完全版を購入するか、PDFファイルが表示できるアプリケーションをインストールする必要があります。

オンラインマニュアル
auホームページでは、『取扱説明書』(本書)を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。
http://www.au.kddi.com/manual/index.html

■For Those Requiring an English/Chinese Instruction Manual 英語版・中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページからダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html
English/Chinese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版／簡易中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

INFOBAR A01をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にauに送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- INFOBAR A01は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、同梱の「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での携帯電話の使用は禁止されています。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

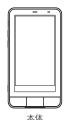
■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品について

すべてそろっているかご確認ください。

本体

保証書

電池パック（SHX11UAA）

microSDメモリカード（2GB）（試供品）

- お買い上げ時には、あらかじめ本体に取り付けられています。

シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01（SHX11QVA）

- 取扱説明書（本書）
- ご使用上の注意
- お知らせシート
- 設定ガイド
- じぶん銀行サービスガイド
- グローバルパスポートご利用ガイド
- 001国際電話サービス（au国際電話サービス）ご利用ガイド

以下のものは同梱されていません。

- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- イヤホン

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

こんなときは…

電話機能

- 折り返し電話をかける（着信履歴）▶P.67
- 着信音などを鳴らさないようにする（マナーモード）▶P.194
- 電話に出られないとき（伝言メモ）▶P.191
- 着信を拒否したい ▶P.193
- 連絡先を電話帳に登録する ▶P.70
- 通話中の音量を調節する ▶P.64

調べる

- 情報を検索したい（クイック検索ボックス）▶P.51
- 通信料を確認する（auお客さまサポート）▶P.112
- 現在地や方向を確認する ▶P.179
- 辞書で調べる ▶P.180
- テレビの番組表を見たい ▶P.145

メール機能

- Eメールを送受信する ▶P.80、▶P.85
- 撮影したフォトをEメールで送る ▶P.83
- PCメールのアカウントを設定する ▶P.102
- 迷惑メールを防止したい ▶P.98
- PCメールを送受信する ▶P.104、▶P.105
- Cメールを送受信する ▶P.81、▶P.85

映像や音楽を楽しむ

- テレビ（ワンセグ）を見る ▶P.142
- フォトやムービーを見る（ピクチャー）▶P.130
- 音楽を聴く（LISMO）▶P.138
- Smart Familinkを利用する ▶P.185
- YouTubeを見る ▶P.157

映像や音を記録する

機能設定の変更

便利な機能を使う

もしものときに

目次

ワンセグ 139

アプリケーション 151

便利な機能 167

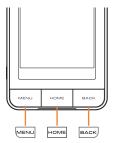
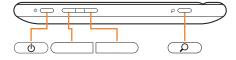
海外利用..........237

付録・索引..........243

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
iida Home→[Phone]→[1][4][1]→[発信]	iida Homeで「Phone」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
iida Home→MENU→[テーマ]	iida HomeでMENUを押します。続けて「テーマ」をタップします。

memo

◎本書では本体カラー「KURO」の表示を例に説明しています。あらかじめご了承ください。
◎本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。
◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書では「シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01」の名称を、「microUSB-3.5φ変換ケーブル」と省略しています。

■掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

実際の画面

本書の表記例

免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。

◎本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて

◎アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎INFOBAR A01に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

パケット通信料についてのご注意

◎INFOBAR A01は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎INFOBAR A01でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）
また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。（「Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）

※ Wi-Fi接続の場合はパケット通信料はかかりません。（Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）はWi-Fi接続でのご利用はできません。）

安全上のご注意

■ **安全にお使いいただくために必ずお読みください。**

●この「安全上のご注意」には、INFOBAR A01を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

●図記号の意味は以下のとおりです。

記号	意味	記号	意味
禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■INFOBAR A01本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-3.5φ変換ケーブル、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

INFOBAR A01に使用する電池パック、充電用機器、microUSBケーブルや変換アダプタ、イヤホン関連機器は必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にINFOBAR A01の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイ®の機能をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

指定のACアダプタ（別売）をコンセントに差し込む場合やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルを接続する場合、電源プラグや接続端子に金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などをあてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

INFOBAR A01はソフトウェアも含め、お客様による分解・改造・変更・修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりINFOBAR A01またはソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

INFOBAR A01が落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。（雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。）万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグ、microUSB-3.5φ変換ケーブル、電池パックを抜いてください。また、身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、修理ができません。

外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品や電池パック・au ICカード・microUSB-3.5φ変換ケーブル・microSDメモリカードの誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。

金属製のアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に電池パックの接続端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用を中止してください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはシガーライタソケットから抜き、熱くないことを確認してください。またmicroUSB-3.5φ変換ケーブルをご使用の場合はINFOBAR A01やイヤホンなどから抜き、熱くないことを確認してください。その後INFOBAR A01の電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

外部から電源が供給されている状態のINFOBAR A01本体・電池パック・指定の充電用機器（別売）に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池パックカバーを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

INFOBAR A01本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）をつながないでください。発火・感電の原因となります。

■INFOBAR A01本体について

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内では電源をお切りください。INFOBAR A01の電波により、電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従って、ご使用ください。INFOBAR A01とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続すると、INFOBAR A01の電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

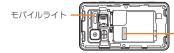
1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。INFOBAR A01とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、INFOBAR A01の電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くではINFOBAR A01の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障がいの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項:

当製品に使用されているモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、テレビ(ワンセグ)を見たり、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信をしないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作などの影響を与えることがあります。

⚠注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
au電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク 」がau電話本体の銘板シールに表示されております。
au電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

イヤホン(市販品)などを持ってINFOBAR A01本体を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因になることがあります。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

夏季に閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。INFOBAR A01が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、INFOBAR A01本体が変形し故障の原因となる場合があります。

長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

INFOBAR A01で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(ディスプレイ枠部)	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(側面)	ポリアミド樹脂	アクリル系UV硬化処理
電池パックカバー	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
外部接続端子カバー	PC樹脂・エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化処理
電源キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
音量UP/DOWNキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
検索キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
ディスプレイ	強化ガラス+PETフィルム	アクリル系ハードコート処理
受話口	ポリエステル樹脂	なし
カメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
モバイルライトレンズ・赤外線ポートカバー	アクリル/PC樹脂	ハードコート処理
充電/着信ランプ・光センサーカバー	ABS樹脂	なし
メニューキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
ホームキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
戻るキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理

人の混雑している場所では使用しないでください。携帯電話が人にあたり、思わぬけがをする場合があります。

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

外部接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、通常は外部接続端子カバーを開けたままにしないでください。ほこり・水などが入り、故障の原因となります。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口・スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、INFOBAR A01本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

受話口部やスピーカー部の吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部などに異物がないかを必ず確かめてください。

テレビ（ワンセグ）視聴中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。INFOBAR A01本体一部が温かくなり、火災・やけど・故障の原因となります。

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

爪の先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

■電池パックについて

INFOBAR A01の電池パックはリチウムイオン電池です。
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。
充電してからお使いください。

⚠危険　誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

電池パックをINFOBAR A01本体に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分にご確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

お客様による分解・改造・修理やハンダ付けはしないでください。また、外装シールをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などを接続端子に触れさせないでください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

電池パックをINFOBAR A01本体から取り外すときは、突起部を持ち、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックに水などを直接かけたり、水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちにINFOBAR A01本体の電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

漏液したり異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- 共通ACアダプタ01(別売):AC100V(日本国内家庭用)
  単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ(別売):AC100V〜240V
- DCアダプタ(別売):DC12V・24V(マイナスアース車専用)

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ01/03(別売)はヒューズを使用しています。
ヒューズが切れた場合は必ず指定のヒューズ(定格250V 1A)と交換してください。発熱・発火の原因となります。ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01/03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。

指定の充電用機器(別売)の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときには、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電やショートの原因となります。また、指定の充電用機器(別売)の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。**

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

水濡れ禁止

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01／03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

INFOBAR A01本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■microUSB-3.5φ変換ケーブルについて

⚠危険 **誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。**

ご使用のイヤホンや周辺機器のメーカーが指示している警告・注意表示を厳守し、各取扱説明書の記載内容に従って正しくお使いください。

⚠警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。**

自動車や自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生、テレビ(ワンセグ)視聴などには使用しないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。**

microUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどが内部に入ったり、触れたりしないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。故障・感電・火災の原因となります。また、傷ついたケーブルは使用しないでください。

ケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ってください。ケーブル部分を引っ張るとケーブルの破損や故障の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

microUSB-3.5φ変換ケーブルには、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

使用箇所	使用材料	表面処理
ケーブル	スチレン系エラストマー	なし
microUSB側コネクタカバー	オレフィン系エラストマー	なし
microUSB側先端	ステンレス(SUS304)	ニッケルメッキ
3.5φ側コネクタカバー	オレフィン系エラストマー	なし
3.5φ側先端	ポリアミド	なし

■au ICカードについて

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

au ICカードをINFOBAR A01に取り付け・取り外しをするときは、手や指を傷つけないようご注意ください。

指示

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

分解禁止

au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止

au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止

au ICカードのIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。内部データの消失・故障の原因となります。

禁止

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

禁止

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

水濡れ禁止

au ICカードを濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止

au ICカードのIC(金属)部分を傷つけないでください。故障の原因となります。

禁止

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

禁止

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

指示

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤飲で窒息したり、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ INFOBAR A01本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-3.5φ変換ケーブル、周辺機器共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。
  調査の結果、極端な温度・湿度条件下での使用による故障と判明した場合は、保証の対象外となり、修理ができません。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ（ワンセグ）視聴中など、ご使用状況によってはINFOBAR A01本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、INFOBAR A01が高温となった場合、INFOBAR A01本体の保護のため一時的に一部機能を停止することがあります。
- 電池パックはINFOBAR A01の電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■ INFOBAR A01本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ（ワンセグ）視聴中は、ご使用状況によってはINFOBAR A01本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面を爪や硬い物などで強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- INFOBAR A01本体（電池パックを取り外した背面）に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のINFOBAR A01が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 電池パックカバー裏に貼ってあるシールは、はがさないでください。シールをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- INFOBAR A01に登録された電話帳・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。
  万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- INFOBAR A01に保存されたメールやダウンロードしたデータ（有料・無料は問わない）などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- INFOBAR A01はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- INFOBAR A01で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。

- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、INFOBAR A01本体が損傷するおそれがあります。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ(ワンセグ)視聴を繰り返し長時間連続作動させた場合、INFOBAR A01本体の一部が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- INFOBAR A01に磁気を帯びたものなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- INFOBAR A01を永久磁石(磁気ネックレス・バッグの留め金など)/家庭電化製品(テレビ、スピーカーなど)の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。INFOBAR A01そのものが磁気を帯びたとき(着磁または帯磁と呼びます)は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、INFOBAR A01内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、明るさを自動調整する設定にしても、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- INFOBAR A01は、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられております。ご利用になる方が変更される場合には、新しくご利用になる方が、このau ICカードをご持参のうえ、auショップ・PiPitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のmicroUSBプラグが平行になるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 外部接続端子カバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- INFOBAR A01は、防水仕様になっておりません。水をかけないでください。
- 撮影などしたフォト/ムービーデータや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- INFOBAR A01は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットなどを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- INFOBAR A01にはハンドストラップ取付口がありません。ストラップを取り付けることができないため、落下させないようにご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は1本の指(ピンチ操作の場合のみ2本の指)で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものや爪や金属などの硬いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護シートや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪の先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

- ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

■ 電池パックについて

- 接続端子を綿棒や先の細いもので触らないようにしてください。接続端子は溝形状の金属バネになっているため、端子金属以外のものが挿入されると変形して正常に使用できなくなることがあります。
- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、INFOBAR A01本体から外し、ビニール袋などに入れて高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使用できる時間が、次第に短くなります。目安として、十分充電しても使用できる時間が購入時の半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 不要な電池パックは普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- お買い上げ時には、十分に充電されていない場合もあります。初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。（充電中、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。）
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを電源プラグに巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ microUSB-3.5φ変換ケーブルについて

- microUSB-3.5φ変換ケーブルをINFOBAR A01に巻きつけて使用しないでください。
- ケーブルを持ってINFOBAR A01をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。
- microUSB-3.5φ変換ケーブルのコネクタをINFOBAR A01やイヤホンなどに接続するときは、奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。また、接続端子に対して平行になるように抜き差ししてください。故障や動作不具合の原因となります。
- 持ち運ぶ際や保管するときは袋などに入れて、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。
- 通信中や充電中などご使用状況によっては温かくなることがありますが異常ではありません。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- INFOBAR A01の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ(以下「データ」といいます。)が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。
- 撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。
- 撮影時にレンズやモバイルライトに指がかからないようにご注意ください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 著作権/肖像権について

- お客様がINFOBAR A01で撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 音楽機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽やテレビ(ワンセグ)などを視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られるため、交通事故の原因となります。(運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。)また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン(市販品)からの音漏れにご注意ください。
- 雨の中や水に濡れるような場所では使用しないでください。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。また、解約などを行って不要になったau ICカードはauショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにシール・ラベルなどを貼り付けないでください。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC(金属)部分に触れないようにご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

INFOBAR A01をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロックNo.

使用例	画面ロックや遠隔ロック、電話帳制限などの設定／解除をする場合
初期値	1234

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、INFOBAR A01には次のような機能が用意されています。

機能	ページ
フォルダシークレット登録	P.88
シークレット設定	P.92
おサイフケータイ ロック設定	P.170
画面ロック	P.196
電話帳制限	P.196
遠隔ロック	P.197

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードをロック」(▶P.196)で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードをロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」(▶P.196)で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためINFOBAR A01が再起動することがあります。
◎「PINコード」は「オールリセット」を行ってもリセットされません。

〈INFOBAR A01の記憶内容の控え作成のお願い〉

● ご自分でINFOBAR A01に登録された内容や、外部からINFOBAR A01に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。INFOBAR A01のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記憶内容が消失したり変化することがあります。

※控え作成の手段
電話帳などの文字情報やダウンロードした辞書は、microSDメモリカードにバックアップすることをおすすめします。メール添付を利用してデータを個別にパソコンに転送することもできます。
ただし「著作権が有効なデータ」など、上記の手段でも控えが作成できないものがあります。あらかじめご了承ください。

■ **お知らせ**
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

INFOBAR A01のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能：2.4FH1**
INFOBAR A01本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4DS4/OF4

- **無線LAN機能：2.4DS4/OF4**
INFOBAR A01本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の無線LANで使用できるチャンネルは、1～13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®についてのお願い

- INFOBAR A01のBluetooth®機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

●Bluetooth®ご使用上の注意

INFOBAR A01のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. INFOBAR A01を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、INFOBAR A01と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにINFOBAR A01の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- INFOBAR A01の無線LAN機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国／地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障がいの原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のアクセスポイント（無線LAN親機）が存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

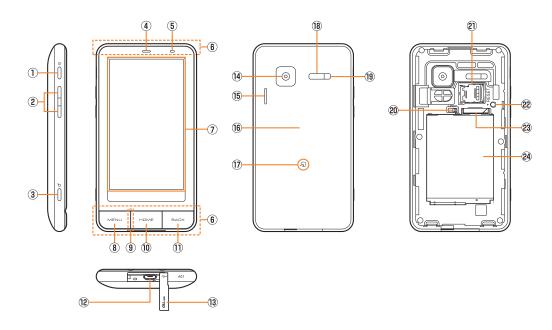
●無線LANご使用上の注意

INFOBAR A01の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. INFOBAR A01を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、INFOBAR A01と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにINFOBAR A01の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎ INFOBAR A01はすべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときには、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®、無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

① 電源キー
電源ON／OFFやスリープモードの移行／解除に使用します。
② 音量UP／DOWNキー
音量を調節します。
ロック解除画面でを長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。
③ 検索キー
クイック検索ボックスを表示するときなどに使用します。
④ **受話口（レシーバー）**
通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
⑤ **充電／着信ランプ、光センサー**
充電中は赤色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
⑥ **内蔵アンテナ部**
通話時、インターネット利用時、Wi-Fi利用時、Bluetooth®機能利用時、GPS情報を取得する場合は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください（Bluetooth®機能、無線LAN機能、GPS取得機能は本体裏側上部のみ）。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。
⑦ **ディスプレイ**
⑧ MENU**メニューキー**
オプションメニューを表示します。
⑨ **送話口（マイク）**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中やムービー録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
⑩ HOME**ホームキー**
iida Homeを表示するときなどに使用します。
⑪ BACK**戻るキー**
1つ前の画面に戻ります。
⑫ **外部接続端子**
microUSB-3.5φ変換ケーブルや共通ACアダプタ03（別売）、microUSBケーブル01（別売）、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）などの接続時に使用します。
⑬ **外部接続端子カバー**
⑭ **カメラ（レンズ部）**
⑮ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。
⑯ **電池パックカバー**
⑰ **FeliCaマーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
IC通信で、データの送受信を行います。
⑱ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
⑲ **モバイルライト**
⑳ **ロックレバー**
電池パックをロックします。
㉑ **microSDメモリカードスロット**
㉒ **リセットボタン**
INFOBAR A01の動作が不安定になった場合や何も操作できなくなった場合などに先の細いもので2秒以上押すと、INFOBAR A01を再起動することができます。リセットボタンを押して再起動しても、保存されているデータやアプリケーションは消去されません。
㉓ **au ICカード**
㉔ **電池パック**

電池パックを充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。赤色に点灯していた充電／着信ランプが消灯したら充電完了です。ご利用可能時間は、次の通りです。

連続待受時間※1	約220時間※2
	約120時間※3
連続通話時間※1	約330分

※1 日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.252)をご参照ください。
※2 Wi-Fiを利用していないとき
※3 Wi-Fi利用時

memo

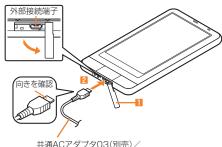
◎ 充電中、INFOBAR A01と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
◎ INFOBAR A01の充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
◎ 外部接続端子カバーは、しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- (圏外）が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi機能、メール機能、カメラ機能、ワンセグ機能、位置情報などの使用
- アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、(十分）が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。

■ 指定のACアダプタ（別売）／DCアダプタ（別売）を使用して充電する

共通ACアダプタ03（別売）／共通DCアダプタ03（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）／DCアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」(▶P.244)をご参照ください。
充電時間は、次の通りです。

指定のACアダプタ（別売）	約150分
指定のDCアダプタ（別売）	約200分

※ 共通ACアダプタ03（別売）／共通DCアダプタ03（別売）をご使用の場合の時間です。

1 INFOBAR A01の外部接続端子カバーを開ける

2 INFOBAR A01の外部接続端子に共通ACアダプタ03(別売)／共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグを差し込む

3 共通ACアダプタ03(別売)の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む／共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライタソケットに差し込む

INFOBAR A01の充電／着信ランプが赤色に点灯し、 が表示されます。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

4 充電が終わったら、INFOBAR A01の外部接続端子から共通ACアダプタ03(別売)／共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐ引き抜く

5 INFOBAR A01の外部接続端子カバーを閉じる

6 共通ACアダプタ03(別売)の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライタソケットから抜く

memo

◎INFOBAR A01の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

◎電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

◎INFOBAR A01とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続しても充電ができます。INFOBAR A01の「USB充電」の設定を有効にしてください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⏻（2秒以上長押し）

ロック解除画面が表示されます。
⊙を●にスライドすると、ロックが解除され、microSDメモリカードの着脱に関しての注意事項が毎回表示されます。

《ロック解除画面》

◎電源を入れてからロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 ⏻（2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。
ロック解除画面で⏻を長押しすると、携帯電話オプション画面が表示されずに、電源が切れます。

2 ［電源を切る］→［OK］

再起動する

INFOBAR A01の電源をいったん切り、再度起動します。

1 ⏻（2秒以上長押し）

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 ［再起動］→［OK］

スリープモードについて

⏻を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に⏻

ロック解除画面が表示されます。

◎利用中のアプリケーションによっては、スリープモードを解除した際に、スリープモードに移行する前の画面が表示されることがあります。
◎スリープモード中に電源キーを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、電源を入れたときやau ICカードを差し替えたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。

1 「日付と時刻」を設定→[次へ]

2 「位置情報」を設定→[次へ]

3 「その他」を設定

「Wi-Fi設定」「au one-ID設定」「Googleアカウント」「文字フォント切替」「プロフィール設定」を設定します。

4 [完了]

5 [はい]/[いいえ]

「いいえ」を選択した場合、次回の起動時から初期設定画面が表示されなくなります。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントがセットアップされていないときにアカウントが必要なアプリケーションや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→[次へ]

2 [作成]/[ログイン]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を選択します。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「作成」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 iida Home→[Browser]→URL表示欄を選択→「http://www.google.co.jp/」を入力→[→]

2 [ログイン]

3 [アカウントにアクセスできない場合]

4 画面の指示に従って操作する

ご利用の準備

画面にこんな表示が出たら

■ が表示された場合

サービスエリア外か電波の弱い場所にいるため、ご利用になれません。
が消える所まで移動してください。

■「充電してください」が表示された場合

電池残量が約15%未満になったときに表示されます。
「OK」をタップして充電するか、充電された電池パックと交換してください。
「電池使用量」をタップすると、電池の使用状況を確認できます。

■「電話が規制されています」が表示された場合

回線が非常に混みあっているなどで、電話がかかりにくくなっています。
しばらくたってからおかけ直しください。

■「au ICカード(UIM)エラー」が表示された場合

- 「カードを挿入してください」と表示されているときは、お客様のau ICカードが挿入されていません。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- 「カードが異なるためご利用できません(0051)」と表示されているときは、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されています。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

■ が表示された場合

おサイフケータイ®の機能がロックされているため、おサイフケータイ®が利用できません。
おサイフケータイ®のロックを解除してください。

■「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました。」が表示された場合

- 落下などの衝撃が加わると、表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 繰り返し「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました。」と表示された場合は、正しくau ICカードが取り付けられているかどうかご確認ください。
  au ICカードの取り付けかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.37)をご参照ください。
- アクセスエラーが発生した場合、セキュリティ確保のため再起動することがあります。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

au ICカード

IC(金属)部分

memo

◎ au ICカード挿入時は、正しい挿入方向をご確認ください。
◎ au ICカード着脱時は、必ず共通ACアダプタ03(別売)などのmicroUSBプラグをINFOBAR A01本体から抜いてください。

■au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードが挿入された場合

au ICカード以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。また、3G／1xが表示されません。

- 電話をかける※／受ける
- 遠隔ロックの起動／解除
- メールの送受信
- UIMカードロック設定
- 自局電話番号／自局メールアドレスの確認

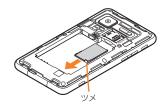
※110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

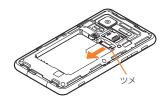
■PINコードによる制限設定

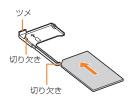
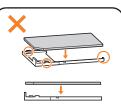
au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。(▶P.25「PINコードについて」)

au ICカードを取り外す

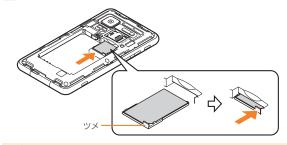
au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから取り外し・取り付けを行います。

1 ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ取り外し、au ICカードを取り外す

au ICカードを取り付ける

1 ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ取り外す

2 トレイにau ICカードのIC(金属)部分を下にして装着する

au ICカードとトレイの切り欠き方向を合わせ、au ICカードをスライドさせてトレイに装着します。

au ICカードを上からトレイに装着すると、カード保持のリブが破損するおそれがあります。

3 **au ICカードにトレイの3箇所のリブがかかっていることを確認する**

4 **トレイをINFOBAR A01に差し込む**

memo

◎取り外したトレイは紛失・破損しないようご注意ください。
◎au ICカードを直接INFOBAR A01に取り付けると、取り外しにくくなります。必ずトレイを使用してください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)をINFOBAR A01本体にセットして、データを保存することができます。また、電話帳、メール、ブックマークなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎microSDメモリカードにデータを保存する場合、1ファイルの最大サイズは2GBです。
◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、INFOBAR A01では正常に使用できない場合があります。INFOBAR A01で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.203)をご参照ください。
◎microSDメモリカード内のデータを再生/表示する操作については、「データを再生/表示する」(▶P.136)、「コンテンツ表示画面のメニューを利用する」(▶P.136)をご参照ください。
◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えてもINFOBAR A01で再生できない場合があります。

■取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動/コピーしているときに、microSDメモリカードや電池パックを取り外したり、INFOBAR A01本体や機器の電源を切ったりしないでください。INFOBAR A01本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- microSDメモリカードスロットの開閉時には強い力をかけないでください。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせください。

<microSD／microSDHCメモリカード>

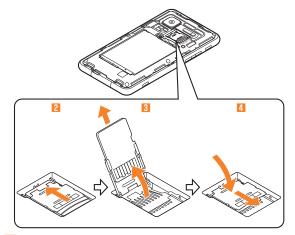
発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	○	○	○	○
Panasonic	○	○	○	○	−
SanDisk	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	−	−
バッファロー	○	○	○	○	−
ソニー	○	○	○	−	−

○：動作確認済み　−：未確認または未発売　2011年5月現在

※4GB以上は、microSDHCメモリカードの対応状況です。
※INFOBAR A01では、2011年5月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。

microSDメモリカードを取り外す

1 INFOBAR A01の電源を切り、電池パックカバーを取り外す

2 microSDメモリカードスロットを矢印方向へスライドさせてロックを外す

3 microSDメモリカードスロットを開き、microSDメモリカードを取り外す

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

4 microSDメモリカードスロットを閉じ、microSDメモリカードスロットを矢印方向へスライドさせてロックする

5 電池パックカバーを装着する

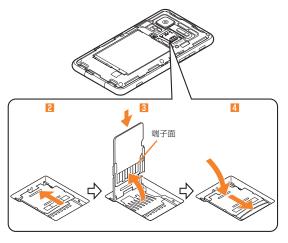
memo

◎microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。

◎ microSDメモリカードにインストールされたアプリケーションは、microSDメモリカードを取り外すと利用できません。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

microSDメモリカードをセットする

1 INFOBAR A01の電源を切り、電池パックカバーを取り外す

2 microSDメモリカードスロットを矢印方向へスライドさせてロックを外す

3 microSDメモリカードスロットを開き、microSDメモリカードの端子面の向きを確認し、まっすぐにゆっくり差し込む

4 microSDメモリカードスロットをゆっくり閉じ、microSDメモリカードスロットを矢印方向へスライドさせてロックする

5 電池パックカバーを装着する

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。
◎ microSDメモリカードを取り付けるときは、差し込みすぎないようにご注意ください。

基本操作

タッチパネル

タッチパネルの使いかた

INFOBAR A01のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ 主な操作目的

画面に表示された項目やアイコンを選択します。ダブルタップすると、画面を拡大／縮小します。

■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■ 主な操作目的

コンテキストメニューの表示などを行います。

■ スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ 主な操作目的

画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にゲージやバーを操作します。

■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ 主な操作目的

ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ 主な操作目的

画像を拡大／縮小します。

■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

■ 主な操作目的

画面上のアイコンを目的の位置まで移動します。

iida Homeとwidget Home

ホームにはiida Homeとwidget Homeの2種類の画面があり、iida Homeにはアプリケーションやショートカットなどを、widget Homeにはウィジェットを貼り付けることができます。
iida Homeとwidget Homeは左右にフリックして切り替えることができます。また、どちらの画面も上下にスライドしてページを切り替えることができます。

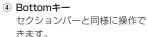
《widget Home》　《iida Home》

iida Homeの見かた

アプリケーションやショートカットなどがパネルで表示されます。パネルはセクションに分かれて配置されています。パネルを選択して、アプリケーションを起動できます。

《iida Home》

① **ステータスバー**
② **アプリケーション／ショートカットパネル**
③ **セクションバー**
　セクションのタイトルを表示したバーで、セクションを区分けしています。
　ロングタッチするとセクションバーの一覧が表示されます。そのまま任意のセクションバーにドラッグして指を離すと、そのセクションバーの位置までiida Homeがスクロールします。
④ **Bottomキー**

　セクションバーと同様に操作できます。

⑤ **セクション開閉キー**
⑥ **パネル操作キー**
　拡大表示されているパネルにキーが表示されている場合、キーをタップしてパネルの表示内容を操作することができます。

ステータスバーを利用する

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側にはINFOBAR A01の状態を表すステータスアイコンが表示されます。
また、ステータスバーをタップするとお知らせ/ステータスパネルが表示されます。

■お知らせアイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり(メール)
	新着メールあり(PCメール)
	新着メールあり(Gmail)
	アラーム終了 • アラーム終了操作を行わずにアラームが終了したときに表示されます。
	カレンダーの予定通知あり
	ワンセグ情報あり 視聴情報あり、BGM再生中/録画情報あり
	音楽再生中
	USBデバッグ接続中
	発信中、通話中
	保留中
	伝言メモあり
	Skype™の状態 サインイン済み/新規イベントあり
	本体の空き容量が少ないとき
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	USB接続中 カードリーダーモード/高速転送モード/USB接続(カードリーダーモード接続時)
	データのアップロード、ファイルの送信 アップロード中、ファイル送信中、ファイル送信完了、ファイル送信失敗/アップロード完了/アップロード待機中 • アップロード中、ファイル送信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ、アプリケーションのダウンロード中、ダウンロード完了、インストール中、ファイル受信中、ファイル受信完了、ファイル受信失敗 • ダウンロード中、ファイル受信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	インストール完了
	VPN接続中、未接続
	利用可能なアップデートあり
	メジャーアップデート(OSアップデート)更新あり
	まとめられたアイコンあり

memo

◎同じ種類のお知らせが複数ある場合は、アイコンの右下に件数が表示されます。

■ステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:34	時刻
	アラーム設定あり
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	電池レベル状態(充電中) ( )十分/( )残量約80%/( )残量約60%/( )残量約40%/( )残量約20%/( )残量約10%/残量なし • 「十分」以外の充電中のアイコンはアニメーション表示されます。

アイコン	概要
	電波OFFモード設定中
	電波の強さ(受信電界)※ レベル4/レベル3/レベル2/ レベル1/レベル0/圏外
	3Gデータ通信状態※ 待機中/受信中/送信中/送受信中/ データ通信OFF設定中
	CDMA 1Xデータ通信状態※ 待機中/受信中/送信中/送受信中/ データ通信OFF設定中
	GSMデータ通信状態※ 待機中/受信中/送信中/送受信中/ データ通信OFF設定中
	ローミング中(CDMA)
	ローミング中(GSM)※ レベル4/レベル3/レベル2/ レベル1/レベル0
あ AB 12 カナ A 1 カ 区	文字種 あ ひらがな漢字入力/AB 半角英字入力/ 12 半角数字入力/カナ 半角カタカナ入力/ A 全角英字入力/1 全角数字入力/ カ 全角カタカナ入力/区 区点コード入力
	マナーモード状態 通常マナー/ドライブマナー/ サイレントマナー
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクをOFFに設定中
	ホームネットワークの状態 停止中/(緑色)準備中/(青色)動作中
	Wi-Fiの電波の強さ※ レベル4/レベル3/レベル2/ レベル1/レベル0
	Bluetooth®利用中 待機中/接続中

アイコン	概要
	GPS利用中 • GPS取得中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ同期中
	伝言メモ設定中 伝言メモなし/伝言メモあり(1~9件)/ 伝言メモが10件
	おサイフケータイ® ロック設定利用中

※Googleアカウントでログインしている場合は、緑色で表示されます。

■お知らせ/ステータスパネルの見かた

お知らせ/ステータスパネルでは、お知らせアイコンやステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。
また、マナーモードやベールビューなどを設定できます。

《お知らせ/ステータスパネル》

① **電源管理**
「Wi-Fi」「Bluetooth」「GPS機能を使用」「自動同期」「画面の明るさ」を設定できます。
機能を利用しないときなど、設定をこまめに切り替えることで電池の消費を抑えることができます。

② **お知らせエリア**
INFOBAR A01の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

③ **マナーモード設定キー**

④ **ベールビュー設定キー**

⑤ **時刻**
現在時刻が表示されます。タップすると「日付と時刻」を設定できます。

⑥ **通知を消去**
タップすると通知がすべて消去されます。

⑦ **起動中アプリ**
起動中アプリ一覧画面が表示されます。
▶P.50「起動中のアプリケーションを一覧表示する」

⑧ **microSD設定**
microSDメモリカードと端末容量の設定ができます。
▶P.201「microSDメモリカードと端末容量の設定をする」

⑨ **自動画面回転**
「画面の自動回転」を設定できます。

⑩ **閉じるタブ**
タップするとお知らせ／ステータスパネルを非表示にします。

memo

電源管理について

◎「自動同期」を有効にすると、「バックグラウンドデータ」も有効になります。「自動同期」を無効にしたときは、「バックグラウンドデータ」の設定は変わりません。

◎画面の明るさは、アイコンをタップするたびに ●（暗）→（中）→（明）→（オート）の順で切り替わります。

iida Homeを利用する

iida Homeをロングタッチするとiida Home管理画面が表示され、セクションとパネルについて設定できます。

《iida Home管理画面》

① **設定キー**
タップすると設定項目が表示されます。パネルを非表示にしたり、表示サイズを変えたりできます。

② **セクションバー追加キー**
画面右端までスライドすると、セクションバーを追加できます。

③ **セクションバー削除キー**
画面左端までスライドすると、セクションバーを削除できます。

④ **パネル追加**
▶P.47「パネルを追加する」

⑤ **自動整列**
iida Homeの空きが埋まるようにパネルを並べ替えます。

memo

◎パネルの表示サイズを変えると、表示される情報量が変化します。

◎セクションバーをタップすると、セクションのタイトルを編集できます。

◎表示サイズを変えることができるパネルをタップすると、表示サイズが切り替わります。

パネルを移動する

1 iida Home管理画面で移動するパネルをロングタッチ

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

セクションバーにドラッグすると、セクションバーの一覧が表示されます。そのまま任意のセクションバーにドラッグして指を離すと、そのセクションの一番下にパネルが移動します。

パネルを追加する

1 iida Home管理画面→[パネル追加]

iida Home→MENU→[パネルを追加／編集]でも同様に操作できます。

2

アプリケーション	アプリケーションの一覧を表示します。 • 「編集」をタップすると、パネルの表示／非表示を設定できるアプリケーションについて、パネルを表示するかどうかをまとめて設定できます。 • ⊙が表示されているアプリケーションを選択すると、パネルごとに表示サイズなどを設定できます。
Alarm	Clockのアラーム画面が表示されます。 • iida Homeにアラームを貼り付ける方法については「アラームのメニューを利用する」(▶P.176)をご参照ください。
Memo	Memoのメモ一覧画面が表示されます。 • iida Homeにメモを貼り付ける方法については「Memoのメニューを利用する」(▶P.173)をご参照ください。
Photo	Photoのアルバム選択画面が表示されます。 • iida Homeに画像を貼り付ける方法については「データをiida Homeに貼り付ける」(▶P.134)をご参照ください。
World Clock	Clockの世界時計画面が表示されます。 • iida Homeに世界時計を貼り付ける方法については「世界時計のメニューを利用する」(▶P.175)をご参照ください。
Gmailのラベル	Gmailのラベルへのショートカットを追加します。 • Googleアカウントをセットアップすると表示されます。
Latitude	Google Latitudeへのショートカットを追加します。
つぶやく	mixiSHのボイス投稿へのショートカットを追加します。
ブックマーク	任意のブックマークへのショートカットを追加します。
ミュージックプレイリスト	ミュージックプレイリストへのショートカットを追加し、iida Homeからミュージックを再生できるようにします。
ワンセグ	ワンセグの各メニューへのショートカットを追加します。
音声・伝言メモ	音声・伝言メモへのショートカットを追加します。
経路とナビ	任意の目的地へのGoogleナビをショートカットに追加します。
設定	さまざまな設定へのショートカットを追加します。
直接メッセージを送る	任意の連絡先を宛先にしてメール作成ができるショートカットを追加します。
直接発信	任意の連絡先へ音声発信ができるショートカットを追加します。
日記を書く	mixiSHの日記投稿へのショートカットを追加します。
連絡先	任意の連絡先へのショートカットを追加し、iida Homeから音声発信やメール作成などを利用できるようにします。

memo

◎パネルはiida Homeの一番下に追加されます。
◎iida Homeには最大240個までパネルを貼り付けることができます。

◎貼り付けられるパネルの最大数を超えてアプリケーションをインストールすると、インストールしたアプリケーションのパネルは自動的に非表示に設定されます。

iida Homeのメニューを利用する

1 **iida Home→MENU**

2

パネルを追加/編集	▶P.47「パネルを追加する」
テーマ	iida Homeのテーマについて設定します。
スクロール吸着	iida Homeのスクロールについて設定します。
端末設定	「設定」アプリケーションが起動します。

widget Homeを利用する

ウィジェットを移動/削除する

1 **移動/削除するウィジェットをロングタッチ**

■移動する場合

2 **移動する位置へドラッグして、指を離す**

■削除する場合

2 **画面左端にドラッグして、指を離す**

memo

◎デスクトップの上端または下端にドラッグすると、デスクトップを切り替えることができます。

ウィジェットを追加する

1 **widget Home→MENU→[追加]→[ウィジェット]**

widget Homeをロングタッチ→[ウィジェット]でも同様に操作できます。

2

au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi接続ツールを利用できます。
Facebook	Facebookを利用してメッセージの投稿などができます。
jibe	複数のSNS、ブログ、ニュース、グルメ情報などをまとめて1つの画面で管理/表示できます。また、複数のSNSやブログにまとめて投稿することもできます。
Latitude	Latitudeに参加して現在地情報を共有できます。
mixiSH	mixiを利用してボイスの投稿などができます。
Skype	Skype™を利用できます。
Twitter	(小)と(大)の2つのウィジェットがあります。Twitterのツイートを確認できます。
YouTube	YouTubeの動画を簡単に再生できます。
おみせメモツール	Google マップと連携し、お店に対する評価を投稿することができます。また、投稿されている評価を確認することができます。
カレンダー	カレンダーに登録している予定を確認できます。
ニュースEX	最新のニュースや天気、運勢を確認できます。
ニュースと天気	最新のニュースと天気を確認できます。
ピクチャー	最新の画像/動画を10件まで表示します。
マーケット	Androidマーケットを利用できます。
メーカーアプリ	メーカーアプリを利用できます。
音楽	保存しているミュージックを再生できます。
検索	クイック検索ボックスを表示します。
写真フレーム	保存しているフォトをトリミングして表示します。
操作のヒント	widget Homeの操作方法を確認できます。
着信履歴	着信履歴を確認できます。
電源管理	お知らせ/ステータスパネルの電源管理と同様の操作ができます。

電話帳	電話の発着信やメールの送受信などを新着順に表示します。
歩数計	歩数計を表示します。
方位計	方位計を表示します。

memo

◎表示しているwidget Homeに空きスペースがない場合などは追加できません。

widget Homeのメニューを利用する

1 widget Home→MENU

2

追加	ウィジェット	▶P.48「ウィジェットを追加する」
	壁紙	壁紙を変更します。
アプリの管理	インストールされているアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制停止などができます。	
壁紙	ギャラリー	microSDメモリカード内のデータを選択して設定します。
	コンテンツマネージャー	
	ライブ壁紙	あらかじめ登録されている画像から選択して設定します。
	壁紙	
検索	クイック検索ボックスを表示します。	
通知	お知らせ／ステータスパネルを表示します。	
端末設定	「設定」アプリケーションが起動します。	

memo

◎ライブ壁紙を設定中は、電池の消耗が激しくなります。

アプリケーション一覧

お買い上げ時には、次のアプリケーションがインストールされています。

アイコン	アプリケーション	ページ
※	BrandGarden	－
※	Facebook Check	－
※	Foursquare	－
※	GREE	－
※	iida.jp	－
※	LISMO	P.138
※	LISMO Book Store	－
※	LISMO WAVE	－
※	Nドライブ	－
※	Run&Walk	－
※	Sfera Android	－
※	Task Cleaner	－
※	unlimited	－
	au one Market	P.166
※	au Wi-Fi接続ツール	－
	Browser	P.113
	Calendar	P.173
	Camera	P.122
	Clock	P.175
	Documents To Go	P.163
	Facebook	P.159
	Gmail	P.109
	GREEマーケット	P.166
	Gガイド番組表	P.145
	jibeアドレス帳	P.159
	Latitude	P.152
	Mail	P.80
	Memo	P.172

アイコン	アプリケーション	ページ
	mixiSH	P.158
	PC-mail	P.102
	Phone	P.64
	Photo	P.134
	Q&A	P.164
	RSS	P.161
	Skype	P.160
	Smart Familink	P.185
	TwiCheck	P.158
	Twitter	P.158
	Video Camera	P.123
	Weather	P.163
	YouTube	P.157
	おサイフケータイ®	P.168
	コンテンツマネージャー	P.135
	ダウンロード	P.157
	トーク	P.154
	ナビ	P.157
※	ニュースEX	P.162
	ニュースと天気	P.161
	ピクチャー	P.130
	プレイス	P.156
	ボイスレコーダー	P.171
	マーケット	P.165
	マップ	P.152
	メーカーアプリ	P.163
	メモ帳	P.172
	ワンセグ	P.141
	音声検索	P.51
	検索	P.51
	辞書	P.180
	赤外線送受信	P.213
	設定	P.188
	電卓	P.180
	電話帳	P.70
	読取カメラ	P.127
	歩数計	P.177
	方位計	P.179

※利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

◎各メニューからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。
◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

起動中のアプリケーションを一覧表示する

アプリケーションを起動中にHOMEを押すなどして利用を中断したり、利用するアプリケーションを切り替えたりすると、利用していたアプリケーションはバックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります。
起動中アプリ一覧画面を表示して、利用するアプリケーションを切り替えたり、アプリケーションを終了したりできます。

1 iida Home→HOME（長押し）

■利用するアプリケーションを切り替える場合

2 アプリケーションを選択

■アプリケーションを終了する場合

2 [×]

すべてのアプリケーションを終了する場合は［すべて終了］→［はい］と操作します。

memo

◎複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
◎複数のアプリケーションを起動しているときなど、本体の実行用メモリが不足すると、サムネイルが表示されない場合があります。
◎バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなったりする場合があります。

クイック検索ボックスを利用する

INFOBAR A01内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 iida Home→[検索キー]

クイック検索ボックス画面が表示されます。
iida Home→［検索］でも同様に操作できます。
「[g]」をタップすると検索対象一覧画面が表示され、検索対象を選択できます。検索対象一覧画面→［[設定]］と操作すると、検索対象一覧画面に表示させる検索対象を選択できます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／クイック検索ボックスの［→］

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎検索対象を「アプリ」に設定すると、Androidマーケットでアプリケーションを検索します。
◎一覧表示された項目の「[鉛筆]」をタップすると、選択した項目をキーワードにして再検索します。
◎アプリケーションを利用中に[検索キー]を押した場合、アプリケーション独自の検索を利用できる場合があります。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面→［[マイク]］

Google音声検索画面が表示されます。
iida Homeで[検索キー]を長押しするか、iida Home→［音声検索］でも同様に操作できます。

2 送話口（マイク）に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

クイック検索ボックスを設定する

1 クイック検索ボックス画面→MENU→［検索設定］

2

Google検索の設定	入力候補の表示	検索キーワード入力時にGoogleの入力候補を表示するかどうかを設定します。
	Googleと共有する	位置情報をGoogleサービスなどで使用するかどうかを設定します。
	検索履歴	セットアップしたGoogleアカウントでカスタマイズされた検索履歴を表示するかどうかを設定します。
	検索履歴の管理	セットアップしたGoogleアカウントで検索履歴をカスタマイズできます。画面の指示に従って操作してください。
検索対象	クイック検索ボックスで検索する対象を設定します。	
ショートカットを消去	クイック検索ボックスで検索した結果へのショートカットをクリアします。	

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

INFOBAR A01の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦（横）表示から左（右）に90°回転した場合

《横表示》　《縦表示》

memo

◎INFOBAR A01を垂直に立てた状態で操作してください。INFOBAR A01を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎縦横表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」で設定できます。
◎ビデオカメラなどアプリケーションによっては、INFOBAR A01の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

基本操作

利用できるメニューを表示する

オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面でMENUを押すと表示されるメニューです。

例：受信ボックス画面の場合

オプションメニュー

memo

「その他」について

◎利用できるオプションメニューが、画面上にアイコンとして表示できる数を超える場合、「その他」のアイコンが表示されます。アイコンとして表示しきれないオプションメニューが「その他」にまとめられ、「その他」を選択すると表示されます。
◎同じ画面でも設定内容や状況によって表示されるオプションメニューの数は異なるため、「その他」にまとめられる項目の数も設定内容や状況によって異なります。
◎本書では、オプションメニューにおいて「その他」を選択する操作は記載しておりませんので、あらかじめご了承ください。

■コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：文字入力画面の場合

コンテキストメニュー

■TapFlow UIについて

TapFlow UIは、電話帳、Camera、Video Camera、ピクチャー利用中に「 」をタップすると表示されるメニューです。

メニューの使用頻度に応じて表示されるメニューアイコンの種類が変化します。また、メニューアイコンの位置や大きさも、メニューの使用頻度に応じて変化していきます。

例：フォトモニター画面の場合

- お買い上げ時

TapFlow UI

- 各機能操作後

TapFlow UI

memo

◎TapFlow UI表示中に「All Menu」を選択すると、利用できるメニューがすべて表示されます。

◎TapFlow UI表示中に「オススメ」を選択すると、アプリケーションに応じておすすめのメニューが表示されます。

基本操作

ロックを解除する

「ロック設定」で制限した機能を利用するときや、データを全件削除するときなど、重要な操作を行うときは、ロックNo.の入力を求められます。（▶P.25「ご利用いただく各種暗証番号について」）
「ロック解除方法」の設定を変更することで、ロックNo.の代わりに指リストパターンやパスワードを使用することができます。

■ロックNo.を入力する

1 ロックNo.の入力が必要な操作をする

2 ロックNo.を入力→[OK]

■指リストパターンを入力する

1 指リストパターンの入力が必要な操作をする

2 指リストパターンを入力

■パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な操作をする

2 パスワードを入力→[OK]

memo

◎ロックNo.／指リストパターン／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」を選択し、入力可能になったら再入力してください。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン	説明
✓	設定が有効／項目が選択されている状態です。
✓（グレー）	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

文字入力

ソフトウェアキーボードを切り替える

文字入力欄をタップすると、画面上にソフトウェアキーボードが表示され、画面のキーをタップして文字を入力できます。
INFOBAR A01では、次の2種類のソフトウェアキーボードを利用できます。

QWERTY	文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。ローマ字で文字を入力します。
12Key	文字入力キーをタップするたびに文字を切り替え、文字を入力します。

1 文字入力画面→[🔧]→[キーボード切替(縦画面)]

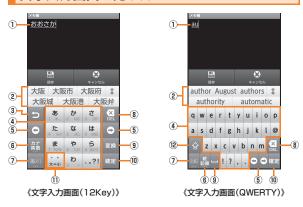
memo

◎INFOBAR A01では、入力ソフトとして「iWnn IME - SH edition」と「Androidキーボード」が用意されています。本書では「iWnn IME - SH edition」の操作方法を説明しています。

■フリック入力について

ソフトウェアキーボード「12Key」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。

文字入力画面の見かた

《文字入力画面(12Key)》 《文字入力画面(QWERTY)》

① **文字入力エリア**

② **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／つながり予測候補リスト**

文字を入力して「変換」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定するとつながり予測候補リストが表示されます。

- 「 」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「 」をタップします。

③ **バックキー／戻すキー**

：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。
・フリック入力では、バック機能を利用できません。

戻す：文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

④ **ソフトウェアキーボード**

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ **カーソルキー**

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

⑥ **絵文字・記号・顔文字キー／カナ・英数キー**

絵記・顔：絵文字／D絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

カナ英数：入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

⑦ **文字種切替キー**

入力する文字種を切り替えます。

文字種を切り替えると、表示が次のように変更されます。

あA1：ひらがな漢字入力
あA1：半角英字入力
あA1：半角数字入力
カナ：半角カタカナ入力
A：全角英字入力
1：全角数字入力
カ：全角カタカナ入力
区：区点コード入力

⑧ **DELキー**

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。カーソルが文頭にある場合は、カーソルの右の文字を削除します。

⑨ **設定キー／変換キー／スペースキー**

：iWnn IMEメニューを表示します。

変換：通常変換候補リストを表示します。
・ひらがな入力中に表示されます。

：スペースを入力します。
・数字／半角英字入力中などに表示されます。

⑩ **確定キー／Enterキー**

確定：入力中の文字を確定します。

：カーソルの位置で改行します。

- アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ **大文字／小文字切替キー**

ひらがな／カタカナ入力時に「大⇔小」をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点をつけたりします。

英字入力時に「A⇔a」をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

⑫ **英字入力キー／シフトキー**

英字：入力される文字が英字に切り替わります。
・ひらがな漢字入力時に表示されます。

シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。

：小文字入力
：大文字入力
：大文字入力ロック

また、全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換／つながり予測の機能を利用して入力することもできます。

例：「大阪」と入力する場合

1 **文字入力画面で「おおさか」と入力**

2 **[変換]**

3 **[大阪]**

■ワイルドカード予測を利用する

読みの文字数から予測変換の候補を表示し、入力できます。

例：「テレビ」と入力する場合

1 **文字入力画面で「て」と入力**

2 **[◦]→[◦]**

「 ◦ 」をタップするたびに「＊」が入力され、文字数に合わせた予測変換の候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 **[テレビ]**

memo

予測変換について

◎予測変換候補リストで「 補正 」をタップすると、入力を間違ったことを予想し、入力した文字に表現の似た言葉を予測変換候補リストに表示します。
◎予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ→[学習削除]と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
◎ひらがな入力中に「 変換 」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「 DEL 」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

入力する文字種を切り替える

1 **文字入力画面→[ ]→[文字種切替]**

文字入力画面で文字種切替キーをロングタッチしても同様に操作できます。

2 **文字種を選択**

memo

◎文字種切替キーをタップするたびに、「半角英字入力」→「半角数字入力」→「ひらがな漢字入力」の順で入力する文字種が変更されます。
◎操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

絵文字／D絵文字／記号／顔文字を入力する

1 **文字入力画面→[絵記・顔]**

絵文字／D絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
文字入力画面に変換対象がない状態でタップしてください。

2 **絵文字／D絵文字／記号／顔文字を選択**

memo

◎操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／D絵文字／記号／顔文字があります。

■絵文字／D絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

全角 ／ 半角 ：全角記号／半角記号一覧の表示

共通絵 ：他社の携帯電話に送信したときに自動変換される絵文字の一覧の表示

・「 全絵 」をタップすると通常の絵文字一覧に戻ります。

▲ ／ ▼ ：前／次のカテゴリやページの表示

![DEL]：選択した文字やカーソルの左の文字の削除
・カーソルが文頭にある場合は、カーソルの右の文字を削除します。

[閉じる]：文字入力画面に戻る

顔文字をロングタッチ：顔文字の編集

memo

◎「履歴」欄の顔文字は編集できません。

区点コードで入力する

1 文字入力画面→[🔧]→[文字種切替]→[区点コード]

2 4桁の数字（JIS区点コード）を入力

コード入力した文字が入力されます。

memo

◎区点コード表については、次のauホームページに掲載しております『取扱説明書』（PDFファイル）の巻末をご参照ください。
（http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html）
・ダウンロードした『取扱説明書』のPDFファイルをINFOBAR A01で表示するには、Documents To Goの完全版を購入するか、PDFファイルが表示できるアプリケーションをインストールする必要があります。

音声で入力する

1 文字入力画面→[🔧]→[音声入力]→[OK]

文字入力画面で文字種切替キーを上にフリックしても同様に操作できます。

2 送話口（マイク）に向かって話す

処理が完了すると文字が入力されます。

memo

◎音声入力を使用するには、あらかじめ「音声入力」を「使用する」に設定してください。

手書きで入力する

1 文字入力画面→[🔧]→[手書き入力]→[OK]

手書き入力画面が表示されます。

文字入力画面で「 🔧 」をロングタッチしても同様に操作できます。

① **変換候補欄**

② **手書き入力エリア**

③ **ソフトウェアキーボード入力キー**

ソフトウェアキーボード入力へ切り替えます。

ロングタッチすると、認識言語の設定ができます。

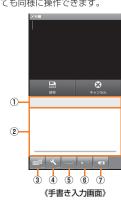
④ **認識モード切替キー**

認識モードの設定ができます。また、手書き入力の設定やソフトウェアキーボード入力への切り替えもできます。

ロングタッチすると、認識モードを文字（枠あり）／文字（枠なし）に切り替えます。

⑤ **スペースキー**

⑥ **Enterキー**

⑦ **DELキー**

《手書き入力画面》

2 手書き入力エリアで文字を手書き

手書きした文字を認識すると文字が入力されます。
手書きした文字がうまく認識されない場合は、変換候補欄に表示される文字をタップして入力してください。

■手書き入力の設定をする

1 手書き入力画面→[ ]→[各種設定]

手書き入力設定画面が表示されます。

2

認識言語	認識する言語を設定します。
インクの太さ	手書き文字の線の太さを設定します。
文字のスライド速度	手書き入力後、自動で文字がスライドする速度を設定します。
手書き文字自動消去	手書き入力後、自動で文字を消去するかどうかを設定します。
手書き文字自動消去速度	手書き入力後、自動で文字が消去される速度を設定します。

memo

◎手書き入力設定画面では、上記以外にバージョン情報や法的情報が確認できます。

文字入力の便利な機能を利用する

文字サイズを切り替える

文字入力時に表示する文字サイズを設定します。

1 文字入力画面→MENU→[文字サイズ]/[文字サイズ設定]

2 文字サイズを選択

memo

◎アプリケーションや入力中の項目によっては、設定できない場合があります。

文字を切り取り/コピーしてから貼り付ける

■文字を選択して切り取り/コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをタップ→[範囲選択]

「▼」/「▲」をスライドして範囲を選択してください。

2 [切り取り]/[コピー]

3 貼り付ける位置をタップ→[貼り付け]

■入力した文字をすべて切り取り/コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをタップ→[全選択]

2 [切り取り]/[コピー]

3 貼り付ける位置をタップ→[貼り付け]

入力ソフトを切り替える

1 文字入力画面→[🔧]→[文字入力ソフト変更]

文字入力エリアをロングタッチ→[入力方法]でも同様に操作できます。

2

Android キーボード	主に英数字を入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。 • 日本語入力はできません。
iWnn IME - SH edition	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に選択するソフトウェアキーボードです。

マッシュルーム拡張機能を利用する

マッシュルームを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面→[🔧]→[マッシュルーム]→[OK]

2 アプリケーションを選択

memo

◎マッシュルーム拡張機能は、アプリケーションをインストールして利用することもできます。アプリケーションのインストール方法については、「Androidマーケットを利用する」(▶P.165)をご参照ください。

◎通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／つながり予測候補リストで候補をロングタッチ→[Mashup]と操作し、アプリケーションを選択しても起動できます。

iWnn IME - SH editionの設定を行う

iWnn IME - SH editionでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面→[🔧]→[各種設定]

iWnn IME - SH edition設定画面が表示されます。

2

キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キー入力ガイド表示	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
キーボードイメージ	ソフトウェアキーボードのイメージを変更します。
各種設定	▶P.60「手書き入力の設定をする」
ローマ字キーボード補助	ソフトウェアキーボードが「QWERTY」の場合、日本語を入力するときに不要なキーをタップできなくし、誤入力を防止します。
フリック入力	フリック入力機能を利用するかどうかを設定します。
フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。
トグル入力	フリック入力が有効のとき、キーを繰り返しタップして入力する文字を切り替えるかどうかを設定します。
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 • カーソル移動後でも、゛（濁点）／゜（半濁点）の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
予測変換	よく使う言葉や過去に変換･確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。

ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能を利用するかどうかを設定します。	
つながり予測	確定した文字の次に入力する候補を予測表示するかどうかを設定します。	
候補表示行数	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。	
絵記号リスト列数	絵文字／D絵文字／記号の表示列数を設定します。	
外部変換エンジン	使用する外部変換エンジンを設定します。	
自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。	
自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補リストから英単語選択した後、半角スペースを自動的に挿入するかどうかを設定します。	
音声入力	音声入力を使用するかどうかを設定します。	
日本語ユーザー辞書	▶P.62「ユーザー辞書に登録する」	
英語ユーザー辞書		
学習辞書	候補学習	変換で確定した文字を、学習辞書に登録するかどうかを設定します。
	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／D絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。
ダウンロード辞書	サイトからダウンロードした辞書を、通常変換や予測変換に利用できるように設定します。	
電話帳名前データと連携	最新データ取り込み	電話帳に登録されている名前を、学習辞書に登録します。
	初期化	登録した電話帳の名前を、学習辞書から削除します。
メール返信時学習	メール返信時に、受信メールに含まれていた内容の予測候補を表示するかどうかを設定します。	
設定リセット	iWnn IME - SH editionの設定をリセットします。	
顔文字リセット	顔文字リストの内容をリセットします。	

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IME - SH edition設定画面→[日本語ユーザー辞書]／[英語ユーザー辞書]

日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 MENU→[登録]

3 読み／表記を入力→[保存]

◎ 登録した単語を編集する場合は、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択→MENU→[編集]と操作します。
◎ 日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面→MENU→[削除]／[ユーザー辞書全消去]→[OK]と操作すると、選択した単語／すべての単語を削除できます。

電話

電話をかける

1 iida Home→[Phone]

電話番号入力画面が表示されます。

① **電話番号入力欄**
32桁まで入力できます。

② **ダイヤルキー**

③ **電話帳キー**
電話帳から連絡先を選択して電話をかけることができます。または、入力した電話番号を電話帳に登録できます。

④ **発信キー**
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタップすると最新の発信履歴が入力されます。

⑤ **画面切替タブ**
画面を切り替えます。

⑥ **訂正キー**
カーソル左側の数字を1桁削除します。ロングタッチすると、カーソル左側のすべての数字を削除し、カーソル左側に数字がない場合はすべての数字を削除します。

《電話番号入力画面》

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [発信]→通話

通話中画面が表示されます。
通話中に［　］／［　］を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

4 [　]を左にスライドして通話を終了

電話帳に未登録の電話番号との通話終了後は、電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

memo

◎発信中／通話中に画面の広範囲に触れると、画面が消灯します。
◎発信中／通話中に画面が消灯し続けている場合、［　］を押すと画面を点灯できます。
◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎送話口をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎「電波OFFモード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へは電話をかけることができます。
◎通話中に「ダイヤルキー」を上にスライドするとダイヤルキー画面が表示されます。タップした番号のプッシュ信号を送信できます。
◎通話中に他のアプリケーションを起動して、通話中画面に戻りたい場合は次の操作を行ってください。
- ［HOME］を押してiida Homeに戻り、「Phone」を起動させて「通話画面に戻る」を選択
- ステータスバーをタップし、「通話中」を選択

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

◎次のダイヤルサービスがご利用いただけます。
- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 001（001国際電話サービス：お申し込みは不要です）
- 171（災害用伝言ダイヤル）
- 177（天気予報：市外局番が必要です）
- 117（時報）
- 104（電話番号案内）
- 115（電報の発信）
- 110（警察への緊急通報）※
- 119（消防機関への緊急通報）※
- 118（海上保安本部への緊急通報）※
- 157（お客さまセンター）
- 船舶電話

※緊急通報番号です。INFOBAR A01は、緊急通報受理機関への緊急通報の際、基地局の信号により、お客様の現在地が緊急通報先に通知されます。

◎次のNTTサービスはご利用いただけません。
- コレクトコール
- 伝言ダイヤル
- ダイヤルQ2
- 116（NTT営業案内）

■電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→MENU

2

発信	音声発信	電話をかけます。
	Cメール作成	Cメールを作成します。
電話帳に登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」	
特番付加	電話番号に特番を付加します。	
音声発信制限設定	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[ON]／[OFF]→[OK]** • 音声発信制限中でも、緊急通報番号や157（お客さまセンター）への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。	

■通話中画面のメニューを利用する

1 通話中にMENU

2

マイクON／マイクOFF	相手の方にこちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。
スピーカーON／スピーカーOFF	ハンズフリーで電話するかどうかを設定します。
Bluetooth ON／Bluetooth OFF	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続／解除します。 • ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。
音声メモ	通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 • 録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件を超えると古いものから順に削除されます。また、音声メモが10件保護されている場合は録音できません。 • 録音した音声メモの再生については、「音声メモを再生する」（▶P.193）をご参照ください。
履歴参照	発信履歴／着信履歴一覧画面を表示します。
電話帳参照	電話帳一覧画面を表示します。
メモ	メモ帳にメモを登録できます。
プロフィール参照	プロフィール画面を表示します。
通話を追加	電話番号入力画面を表示します。

P（ポーズ）ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例：「03-0001-XXXX（銀行の電話番号）」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号入力画面で電話番号を入力→MENU→[特番付加]→[P付加]

2 送信するプッシュ信号を入力

店番号	➡	P（ポーズ）※	➡	口座番号
22X		MENU→[特番付加]→[P付加]		123XX

※P（ポーズ）を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3 [発信]

4 [はい]

5 [はい]

電話を受ける

1 着信中に[ ]を右にスライド

バックライト点灯中(ロック解除画面表示中を除く)に着信があった場合は、「応答」をタップします。

2 通話→[ ]を左にスライドして通話を終了

電話帳に未登録の電話番号との通話終了後は、電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。画像(全身)を設定しているときは、設定した画像(全身)がディスプレイに表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

◎「電話帳制限」(▶P.196)を有効にしている場合は、着信したときに電話帳の名前などの情報は表示されません。

着信時に着信音を消音にするには

◎着信中に[ ]／[ ]を押すと、着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

◎ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

応答を保留する

1 着信中に[ ]を左にスライド

バックライト点灯中(ロック解除画面表示中を除く)に着信があった場合は、「応答保留」をタップします。

保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 保留中に[ ]を右にスライド

保留が解除され、電話がつながります。

memo

◎保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。

◎一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。

◎「エリア設定」を「日本」に設定している場合のみ、応答を保留にできます。

着信中のメニューを利用する

1 着信中にMENU

2

伝言メモ	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
着信拒否	かかってきた電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。
着信転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号へ転送します。 • 転送先の登録方法については「手動で転送する(選択転送)」(▶P.231)をご参照ください。
サイレント	着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプを停止します。

memo

◎伝言メモ録音中にMENU→[受話ON]と操作すると、相手の方の音声を聞くことができます。MENU→[受話OFF]と操作すると、相手の方の音声は聞こえなくなります。

◎ 着信拒否をしても、お留守番サービスを開始しているか着信転送サービスを「無応答転送」に設定している場合は、お留守番サービスまたは着信転送サービスが優先されます。
◎ 着信転送をした際に転送先が登録されていない場合、お留守番サービスを設定しているときはお留守番サービスに転送されます。

国際電話を利用する(001国際電話サービス)

INFOBAR A01からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:INFOBAR A01からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面でアクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「001010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

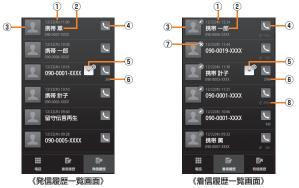
memo

◎ 001国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、001国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより001国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
001国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から フリーコール **0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 9:00〜20:00(年中無休)

発信履歴/着信履歴を利用して電話をかける

1 電話番号入力画面→[発信履歴]/[着信履歴]

発信履歴/着信履歴一覧画面が表示されます。

《発信履歴一覧画面》 《着信履歴一覧画面》

① **発着信日時**
② **電話番号/名前/非通知着信の理由/ネットワークサービスの内容**
③ **電話帳に登録している画像(顔)**
④ **発信アイコン**
タップすると発信します。
⑤ **グループアイコン**
同じ相手の方の発信履歴/着信履歴が連続した場合、履歴が1つのグループにまとめられます。グループアイコンを選択して、グループ内の履歴の表示/非表示を切り替えることができます。
⑥ **通話時間**

⑦ **着信状態アイコン**

：通常着信（青色）　　：不在着信（赤色）

：着信拒否　　：不在着信（ワン切り※）

⑧ **呼び出し時間**

※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

2 電話をかける履歴を選択

発信履歴／着信履歴詳細画面が表示されます。

3 ［発信］

「メッセージ」を選択するとCメールを作成できます。

◎発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■お留守番着信お知らせについて

「お留守番着信お知らせ」は、au電話の電源を切っていた場合や電波OFFモード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、お留守番サービスに着信があったことをCメールでお知らせするサービスです。

お留守番着信お知らせには、お留守番サービスで伝言をお預かりしたことをお知らせする「伝言お知らせ」と、相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に相手の方の電話番号をお知らせする「着信お知らせ」があります。

発信履歴／着信履歴のメニューを利用する

■発信履歴／着信履歴一覧画面のオプションメニューの場合

1 発信履歴／着信履歴一覧画面→MENU

2

全件削除	履歴をすべて削除します。

■発信履歴／着信履歴一覧画面のコンテキストメニューの場合

1 発信履歴／着信履歴一覧画面で履歴をロングタッチ

2

音声発信	電話をかけます。
メール作成	電話帳にメールアドレスを登録している場合、メールを作成します。
Cメール作成	Cメールを作成します。
編集して発信	電話番号を編集して発信します。
特番付加	電話番号に特番を付加します。
電話帳に登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」
着信拒否登録	着信拒否番号リストに着信履歴の電話番号を登録します。 ▶P.193「着信を拒否する」
削除	選択した履歴を削除します。

■発信履歴／着信履歴詳細画面のオプションメニューの場合

1 発信履歴／着信履歴詳細画面→MENU

2

発信	音声発信	電話をかけます。
	メール作成	電話帳にメールアドレスを登録している場合、メールを作成します。
	Cメール作成	Cメールを作成します。
	編集して発信	電話番号を編集して発信します。
	特番付加	電話番号に特番を付加します。
電話帳に登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」	
着信拒否登録	着信拒否番号リストに着信履歴の電話番号を登録します。 ▶P.193「着信を拒否する」	
削除	履歴を削除します。	

電話帳

電話帳に登録する

1 iida Home→[電話帳]

電話帳一覧画面が表示されます。

《電話帳一覧画面(名前順)》

① **アカウント**
アカウントを設定している場合、現在設定しているアカウントが表示されます。

② **検索アイコン**
登録されている「名前」や「よみ」をもとに連絡先を検索できます。

③ **連絡先**
選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

④ **タブ**

⑤ **画像**
連絡先に登録されている画像(顔)が表示されます。

⑥ **吹き出しアイコン**
連絡先から着信やメール受信、mixi／Twitterなどのメッセージがある場合に表示します。タップすると通知の内容を吹き出しで表示します。吹き出しをタップするとメッセージパックを利用できます。

⑦ **統合アイコン**
複数の連絡先を統合した連絡先に表示されます。

⑧ **TapFlow起動**
TapFlow UIを起動します。

2 MENU→[新規登録]

電話帳編集画面が表示されます。
アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

3 項目を選択して編集

項目		説明
(顔) (全身)	カメラ	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	データフォルダ	microSDメモリカードに保存されている画像を登録します。
	プリセット	あらかじめ登録されている画像を登録します。
	自動(プリセット)	いずれかのプリセット画像が設定されます。
姓	名前を登録します。 • 姓／名を入力すると「よみ」が自動的に入力されます。	
名		
姓(よみ)		
名(よみ)		
電話番号	電話番号を登録します。	
メール	メールアドレスを登録します。	
mixi	mixiのマイミクシィ情報を登録します。	
Twitter	Twitterでフォローしている相手の方の情報を登録します。	
チャット	チャットアドレスを登録します。	
グループ設定	グループを設定します。 • 電話帳にグループが1件も登録されていない場合は、グループの新規登録画面が表示され、グループを作成することができます。	
誕生日	誕生日を登録します。	
ニックネーム	ニックネームを登録します。	
住所	住所を登録します。	
GPS情報	GPS情報を登録します。	
所属	会社／部署／役職を登録します。	

ウェブサイト	URLを登録します。
メモ	メモを登録します。
日付	日付を登録します。
インターネット通話	インターネット通話用のアドレスを登録します。
着信音設定	着信時やメール受信時の音やランプ、バイブレータについて設定します。

4 [保存]→[はい]

◎「 」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
◎ 電話帳編集画面で→[ ]/[ ]と操作すると、項目を追加/削除できます。
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 複数の電話番号/メールアドレスを登録している場合、電話帳編集画面→[ ]と操作して「 」にすると通常使用する電話番号/メールアドレスに設定できます。
◎ 項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の左側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列を種別として登録できます。
◎ チャットアドレス種別では、電話帳詳細画面→[ ]と操作したときに起動するアプリケーションを設定します。
◎ 名前を以下の文字で登録すると、電話帳では名、姓の順に表示されます。
- 姓名をアルファベットを含む半角英数字のみ
- 姓をアルファベットを含む半角英数字のみ/名を漢字のみ、または漢字を含む半角英数字のみ

◎ GPS情報を登録するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」/「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音設定」は有効になりません。

他の機能から電話帳に登録する

他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます。

1 他の機能で電話帳に登録する操作を行う

2

新規	他の機能で表示した情報を新規の電話帳に登録します。
追加	他の機能で表示した情報を既存の電話帳に追加登録します。 **追加する連絡先を選択→電話帳を登録**

3 [保存]→[はい]

連絡先を統合する

複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめて表示することができます。

1 電話帳一覧画面で統合する連絡先をロングタッチ→[統合]

登録内容の類似した連絡先の一覧が表示されます。

2 連絡先を選択

「一覧から選択」をタップすると、電話帳一覧画面から連絡先を選択できます。

3 [はい]

◎ 連絡先を統合すると、個別の連絡先に設定されているグループ情報も統合されて、各グループに表示されます。

統合した連絡先を分割する

1 **電話帳一覧画面で分割する連絡先をロングタッチ→[分割]→[はい]**

グループを設定する

グループごとに名前、アイコン、着信音や着信ランプなどを設定できます。

- 「アカウントと同期」を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。「Myコンタクト」「友達」「家族」「同僚」はグループ名やアイコンの変更、グループの削除ができません。

1 **電話帳一覧画面→MENU→[グループ設定]**

グループ設定画面が表示されます。
アカウントを設定している場合、グループの設定先を選択してください。

2 MENU

3

グループ追加	グループを追加します。 **項目を選択して編集→[保存]**
グループ情報削除	グループを削除します。
グループ並べ替え	グループの表示位置を変更します。 **移動するグループをロングタッチ→移動する位置にドラッグして、指を離す→[完了]**
使用履歴リセット	TapFlow UIをお買い上げ時の状態に戻します。

memo

◎ グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの音声着信の設定は有効になりません。
◎ 個別の連絡先に「着信音設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎ 1つの連絡先が複数のグループに登録されている場合は、グループ設定画面で上または左に表示されているグループの設定が優先されます。

グループを編集する

1 **グループ設定画面でグループを選択**

2

グループ情報編集	選択したグループの設定内容を変更します。 **項目を選択して編集→[保存]**
ユーザー登録	選択したグループに連絡先を登録します。 **連絡先を選択→[登録]→[はい]**
グループ情報削除	グループを削除します。

memo

◎ グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

電話帳の登録内容を利用する

電話帳の登録内容を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 電話帳一覧画面で連絡先を選択

電話帳一覧画面（新着順）では画像（顔）をタップします。
電話帳詳細画面が表示されます。

《電話帳詳細画面》

① **画像**
連絡先に登録されている画像（全身）が表示されます。

② **ピクチャー欄**
タップするとピクチャーの人物カテゴリ一覧が表示されます。人物カテゴリを選択すると、選択した人物カテゴリに分類されたデータがピクチャー欄に表示されるようになります。

③ **登録内容**
上にスライドすると、すべての登録内容を確認／利用できます。

④ **吹き出し**
連絡先からの着信やメール受信、mixi／Twitterなどのメッセージを表示します。タップするとメッセージパックを利用できます。

⑤ **アクションアイコン**
連絡先に電話をかけたり、メールを作成したりできます。

⑥ **TapFlow起動**
TapFlow UIを表示します。

memo

◎ 人物カテゴリに分類されたデータをすべて削除すると、ピクチャー欄に設定した人物カテゴリが解除されます。

◎ アクションアイコンをタップすると次の機能を呼び出すことができます。

アクションアイコン	説明
	選択した電話番号に電話をかけます。
	選択した電話番号を宛先としてCメールを作成します。
	選択したメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
	GPS情報を本文に入力したメール作成画面を表示します。
	チャットアドレス種別で設定したアプリケーションが起動し、選択したチャットアドレスとチャットを開始します。※
	選択した住所／GPS情報をもとにGoogleマップが起動します。
	選択したURLのサイトを表示します。
	Twitterを起動してプロフィールを表示します。
	選択した相手の方にSkype™を利用して電話をかけます。
	選択したインターネット通話用のアドレスに発信します。

※ 対応するアプリケーションがインストールされていない場合やアカウントへログインしていない場合など、アプリケーションを起動できないことがあります。

電話番号を利用する

■ 電話番号に発信／送信する場合

1 電話帳詳細画面で利用する電話番号を選択

2

発信	選択した電話番号に電話をかけます。
編集して発信	選択した電話番号を電話発信の電話番号入力画面に表示します。
プッシュトーン送信	通話中の相手の方へプッシュトーンを送信します。
メール作成	選択した電話番号を宛先としてCメールを作成します。
特番付加発信	選択した電話番号に特番を付加します。

■ 電話番号を設定する場合

1 電話帳詳細画面で利用する電話番号をロングタッチ

2

<table>
<tr><td>メインの電話番号に設定</td><td colspan="2">通常使用する電話番号に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ショートカットを作成</td><td>直接発信</td><td rowspan="2">選択した電話番号に電話をかけたり、選択した電話番号を宛先としたCメールを起動するショートカットを作成したりします。</td></tr>
<tr><td>直接メッセージを送る</td></tr>
</table>

メールアドレスを利用する

■ メールアドレスにメールを送る場合

1 電話帳詳細画面で利用するメールアドレスを選択

■ メールアドレスを設定する場合

1 電話帳詳細画面で利用するメールアドレスをロングタッチ

2

メインのアドレスに設定	通常使用するメールアドレスに設定します。
ショートカットを作成	選択したメールアドレスを宛先としたメールを起動するショートカットを作成します。

チャットアドレスを利用する

1 電話帳詳細画面で利用するチャットアドレスを選択

選択したチャットアドレスに接続して、チャットを開始します。

住所を利用する

1 電話帳詳細画面で利用する住所を選択

住所をもとにGoogleマップが起動します。

GPS情報を利用する

1 電話帳詳細画面で利用するGPS情報を選択

2

地図でみる	GPS情報をもとにGoogleマップが起動します。
メールで送信	GPS情報をメール本文に入力してメールを作成します。

インターネット通話用のアドレスを利用する

1 電話帳詳細画面で利用するインターネット通話用のアドレスを選択

選択したインターネット通話用のアドレスに発信します。

memo

◎インターネット通話用のアドレスを利用するには、あらかじめ、通話設定の「アカウント」を設定する必要があります。

名前をブラウザで検索する

1 電話帳詳細画面で「Name Search」欄をタップ

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

メッセージパックを利用する

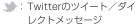
連絡先とのやりとりを一覧で確認し、利用することができます。

1 電話帳詳細画面で吹き出しをタップ

メッセージパック画面が表示されます。

① **メッセージ(白色)**
連絡先から着信/受信した日時とメッセージを表示します。

② **メッセージ(黒色)**
連絡先に発信/送信した日時とメッセージを表示します。

③ **メッセージの種類**
(青色):発信/通常着信
(赤色):不在着信
:Cメール/メール
:Twitterのツイート/ダイレクトメッセージ
:mixiボイス

④ **TapFlow起動**
TapFlow UIを表示します。

《メッセージパック画面》

2 メッセージを選択

メッセージ詳細画面が表示されます。

■メッセージパック画面／メッセージ詳細画面のメニューを利用する

1 **メッセージパック画面／メッセージ詳細画面→MENU**

2

発信	連絡先に登録されている電話番号に電話をかけます。
メール返信	メールを返信します。
メール送信	連絡先に登録されている電話番号／メールアドレスを宛先に設定したCメール／メール作成画面を表示します。
メールアプリで見る	メール内容表示画面を表示します。
mixiメッセージ送信	mixiのメッセージ作成画面を表示します。
mixiマイミクから探す	mixiのマイミク一覧画面からmixiの情報を登録します。
mixiコメント投稿	投稿に対してコメントを投稿できます。
mixiイイネ！投稿	投稿に対してイイネ！を投稿できます。
Twitterダイレクトメッセージ送信	Twitterを利用するダイレクトメッセージの送信作成画面を表示します。
Twitterプロフィール	Twitterのプロフィールを表示します。
Twitterフレンドから探す	Twitterのフレンド一覧画面からTwitterの情報を登録します。
Twitter返信	ツイートに返信します。
Twitterリツイート	ツイートを引用して、自分のアカウントから発信します。
伝言メモ再生	伝言メモリスト画面を表示します。
通話履歴	通話履歴画面を表示します。
メール受信ボックス	受信ボックス画面を表示します。
メール新規作成	メール作成画面を表示します。
mixiホーム	ブラウザを起動してmixiのページを表示します。
Twitterホーム	ブラウザを起動してTwitterのページを表示します。

情報更新	手動更新	メッセージパックの情報を更新します。
	自動更新設定	メッセージパックの情報を自動更新する間隔を設定します。
使用履歴リセット		TapFlow UIをお買い上げ時の状態に戻します。

電話帳のメニューを利用する

電話帳一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 **電話帳一覧画面→MENU**

2

新規登録	▶P.70「電話帳に登録する」	
赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」	
Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」	
IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」	
メールへ添付	選択添付	連絡先を選択してメールに添付します。
	全件添付	連絡先を全件メールに添付します。
プロフィール交換	送信	赤外線でプロフィールを送信します。
	受信	赤外線でプロフィールを受信します。
	プロフィール表示	プロフィールを表示します。
	送信項目設定	送信するプロフィールの項目を設定します。
削除	選択削除	連絡先を選択して削除します。
	全件削除	連絡先をすべて削除します。

項目		説明
グループ設定		▶P.72「グループを設定する」
グループ追加		
グループユーザー登録		表示しているグループに連絡先を登録します。 **連絡先を選択→[登録]→[はい]**
グループ情報編集		▶P.72「グループを設定する」
グループ情報削除		
グループ並べ替え		
未登録番号追加		電話帳に登録されていない相手の方との通話終了後、電話帳に追加する確認画面を表示するかどうかを設定します。
表示切替		電話帳一覧画面の表示方法(名前順／グループ／誕生日順／新着順)を切り替えます。
設定	アカウント切替	表示する電話帳の登録先を設定します。
	削除時暗証番号設定	連絡先を選択削除／全件削除するときに、暗証番号を入力するかどうかを設定します。
mixiから登録		mixiのマイミクシィ情報を登録します。
Twitterから登録		Twitterでフォローしている相手の方の情報を登録します。
メモリ登録件数		電話帳の登録件数を表示します。
使用履歴リセット		TapFlow UIをお買い上げ時の状態に戻します。

■ コンテキストメニューの場合

1 電話帳一覧画面で連絡先をロングタッチ

2

項目	説明
発信	電話番号に電話をかけます。
電話番号へメール	電話番号を宛先としてCメールを作成します。
プッシュトーン送信	通話中の相手の方へプッシュトーンを送信します。 • 連絡先に電話番号が複数登録されていた場合は、電話番号を選択してください。
メールアドレスへメール	メールアドレスを宛先としてメールを作成します。
編集	登録した連絡先を編集します。
赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
メールへ添付	連絡先を添付データにしてメールを作成します。
削除	連絡先を削除します。
特番付加発信	電話番号に特番を付加して発信できます。
ショートカットを作成	電話帳詳細画面へのショートカットを作成します。
統合	▶P.71「連絡先を統合する」
分割	▶P.72「統合した連絡先を分割する」

電話帳詳細画面のメニューを利用する

1 **電話帳詳細画面→MENU**

2

編集	登録した連絡先を編集します。
赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
メールへ添付	連絡先を添付データにしてメールを作成します。
削除	連絡先を削除します。
特番付加発信	電話番号に特番を付加して発信できます。
ショートカットを作成	電話帳詳細画面へのショートカットを作成します。
統合	▶P.71「連絡先を統合する」
分割	▶P.72「統合した連絡先を分割する」
使用履歴リセット	TapFlow UIをお買い上げ時の状態に戻します。

メール

Eメール／Cメールを利用する

Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）は、パソコンや、Eメールに対応した携帯電話とメールのやりとりができるサービスです。文章の他、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。
Cメールは、Cメール対応のau電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

memo

◎海外でのEメール／Cメールのご利用については、同梱の「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎Cメールは機能拡張が予定されています。拡張機能の内容と対応時期については、auホームページでお知らせします。
◎Cメールの受信は、無料です。

1 iida Home→[Mail]

受信ボックス画面が表示されます。

《受信ボックス画面》

Eメールを送る

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／フォルダ一覧画面→[新規作成]

Eメール作成画面が表示されます。

① 宛先入力欄
② 件名入力欄
③ 本文入力欄
④ 入力可能な残りサイズ
⑤ 宛先引用メニューキー

《Eメール作成画面》

2 [👤]

宛先入力欄を選択して宛先を直接入力することもできます。
入力済みの宛先がある場合は、宛先一覧画面が表示されます。

3 宛先を選択／設定

電話帳引用	連絡先を選択してメールアドレスを宛先に入力します。
送受信履歴引用	送受信履歴を選択してメールアドレスを宛先に入力します。
メールグループ引用	メールグループを選択してメールアドレスを宛先に入力します。
プロフィール引用	プロフィールに登録しているメールアドレスを宛先に入力します。

シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に選択すると一時解除できます。

4 件名入力欄を選択→件名を入力

5 本文入力欄を選択→本文を入力

6 [送信]

memo

◎ Eメール作成画面→MENU→[保存]→[未送信ボックスへ保存]→[新規保存]／[上書保存]と操作すると、Eメールを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。
◎ 宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、送受信履歴や電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。
◎ 絵文字、デコレーション絵文字は入力や送信ができない場合があります。また、送信した場合でも受信側で一部正しく表示されないことがあります。

自動再送／予約送信について

◎「自動再送」(▶P.95)を有効にしておくと、Eメール送信に失敗した場合に最大2回まで自動で再送信することができます。予約送信時の送信失敗についても、同様に自動再送されます。
◎ ローミング中は自動再送されません。
◎ Eメール作成画面→MENU→[送信予約]と操作すると、圏内になったときまたは指定した日時に予約送信することができます。
◎ 指定した日時に電源を切っている場合は予約送信されません。「自動再送」(▶P.95)を有効にしておくと、電源を入れたときに自動送信されます。
◎ サーバの状況などによっては、自動再送されない場合があります。しばらくたってから送信し直してください。
◎ 自動再送／予約送信できるメールは合わせて20件までです。
◎ 自動再送／予約送信を解除する場合は、未送信ボックスで解除する自動再送／予約送信メールを選択→[はい]と操作します。

Cメールを送る

漢字·ひらがな·カタカナ·英数字·記号·絵文字·顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。送信完了時には、相手の方にCメールが届いたかどうかが分かります。

1 Eメール作成画面→[Cメール]

Cメール作成画面が表示されます。

2 [👤]

宛先入力欄を選択して宛先を直接入力することもできます。
入力済みの宛先がある場合は、宛先一覧画面が表示されます。

3 宛先を選択／設定

電話帳引用	連絡先を選択して電話番号を宛先に入力します。
送受信履歴引用	送受信履歴を選択して電話番号を宛先に入力します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号を宛先に入力します。
シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に選択すると一時解除できます。

4 本文入力欄を選択→本文を入力

5 [送信]

memo

◎ Cメール作成画面→[保存]と操作すると、Cメールを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。
◎ Cメール作成画面→[Eメール]と操作すると、作成中のCメールをEメールに変更することができます。変更した場合は、半角カタカナは全角に変換されます。

◎宛先入力欄に連絡先の名前を入力すると、送受信履歴や電話帳から自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。
◎相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、Cメールセンターへ蓄積するかどうか確認するメッセージが表示されます。
はい：Cメールセンターに Cメールを蓄積します。相手の方が受信可能になった時点で送信されます。
いいえ：Cメール送信を中止します。送信されなかったCメールは、未送信ボックスに保存されます。
ただし、「自動蓄積する」を有効に設定している場合は、自動的にCメールセンターへ蓄積されます。
◎Cメールセンターは、次の通りCメールをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで • 蓄積されてから72時間経過したCメールは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし • 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、Cメールセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたCメールが配信されるタイミングは、次の通りです。

Cメール蓄積後すぐに配信	新しいCメールがCメールセンターに蓄積されるたびに、Cメールセンターでお預かりしていたCメールがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へCメールを繰り返し送信するリトライ機能によりCメールを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がINFOBAR A01で通話を終了したときに、Cメールセンターにお預かりしていたCメールをすべて配信します。

◎「発信者番号通知」の設定にかかわらず、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。
◎契約期間の条件により送信数に制限があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。
◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
◎Cメールの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信に失敗した旨のメッセージが表示される場合があります。

自動再送／予約送信について

◎Eメールと同様に自動再送／予約送信をご利用できます。
◎Cメールを予約送信する場合、「自動蓄積する」の設定にかかわらず、Cメールセンターに Cメールが蓄積され配信されることがあります。

メール作成画面でできること

宛先を追加／削除する

宛先を削除することができます。
また、Eメールは宛先の追加や宛先の種類（To／Cc／Bcc）の変更ができます。

1 入力済みの宛先があるEメール／Cメール作成画面→[ ]

宛先一覧画面が表示されます。

■ 宛先を追加する場合

2 [ ]／[宛先入力]→宛先を追加

■ 宛先の種類を変更・宛先を1件削除する場合

2 変更／削除する宛先をロングタッチ

3

Toへ変更	宛先の種類を「To」に変更します。
Ccへ変更	宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bccへ変更	宛先の種類を「Bcc」に変更します。
1件削除	宛先を削除します。

■ 宛先を全件削除する場合

2 MENU→[全件削除]→[はい]

Eメールにデータを添付する

1 **Eメール作成画面→[添付]**

添付ファイル選択メニューが表示されます。
添付済みのデータがある場合は、添付ファイル一覧画面が表示されます。添付ファイル一覧画面→[ファイル添付追加]と操作すると、添付ファイル選択メニューが表示されます。

2

コンテンツマネージャー	データを選択して添付します。	
撮影	カメラ撮影(静止画)	フォトを撮影して添付します。
	カメラ撮影(動画)	ムービーを録画して添付します。
個人データ	プロフィール	プロフィールをvCardデータとして添付します。
	電話帳	電話帳をvCardデータとして添付します。
	メモ帳	メモ帳をvNoteデータとして添付します。
その他	アプリケーションなどのデータを添付します。	

memo

◎データは2MBまで添付できます。

添付ファイル一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **添付ファイル一覧画面→MENU**

2

追加	データを追加します。
全件削除	データをすべて削除します。

■ コンテキストメニューの場合

1 **添付ファイル一覧画面で添付ファイルをロングタッチ**

2

表示/再生	データを表示/再生します。
1件削除	データを1件削除します。

Eメールの本文を装飾する

1 **Eメール作成画面→本文入力欄を選択→[装飾]**

2

文字色	カラーパレットから文字の色を選択します。	
文字サイズ	入力する文字の大きさを変更します。	
背景色	カラーパレットから背景色を選択します。	
D絵文字	デコレーション絵文字を選択して挿入します。	
テンプレート	テンプレートボックスからテンプレートを選択して読み込みます。 • 本文に入力中の文字がある場合は、挿入箇所を指定して挿入することができます。	
挿入	画像	画像を挿入します。
	区切り線	行と行の間に区切り線を挿入します。
効果	点滅	入力する文字を点滅表示させせます。
	スクロール	入力する文字をスウィング表示、またはテロップ表示させせます。
	行揃え	入力する文字の位置を変更します。
装飾解除	すべての装飾を解除します。	

1つ戻す	1つ前の状態に戻します。

memo

◎ 本文入力欄をタップしても、文字色／文字サイズを変更できます。
◎ 本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。ただし、一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
◎ 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字／デコレーション絵文字の挿入や背景色を変更し、本文を装飾することができます。また、文字のフォントを変更することもできます。

1 Eメール作成画面→[速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたび、次の装飾候補に変更します。
MENU→[設定]と操作すると、装飾条件を変更できます。

2 [確定]

memo

◎ 文字のフォントを変更した場合、受信側で正しく表示されないことがあります。
◎ 詳細については、装飾結果プレビュー画面→MENU→[ヘルプ]でご確認ください。

Eメール作成画面／Cメール作成画面のメニューを利用する

1 Eメール作成画面／Cメール作成画面→MENU

2

プレビュー	プレビュー画面を表示します。	
保存	テンプレート保存	作成中のメールをテンプレートとしてテンプレートボックスへ保存します。
	未送信ボックスへ保存	作成中のメールを未送信ボックスへ保存します。
引用	電話帳引用	電話帳を引用して本文を入力します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して本文を入力します。
	メモ帳引用	メモ帳を引用して本文を入力します。
	GPS情報引用	GPS情報を引用して本文を入力します。
送信予約	圏内時に送信	電波の届く場所に入ると送信するように設定します。
	日時指定	メールを送信する日時を設定します。
テンプレート呼出	テンプレートボックスからテンプレートを選択して読み込みます。 • 本文に入力中の文字がある場合は、挿入箇所を指定して挿入することができます。	
返信先アドレス	**On／Off設定**：Eメールを受信した相手の方が返信する場合に宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[On]→アドレスを入力→[OK]** 解除するときは「Off」を選択します。 **返信先アドレス**：On／Off設定を「On」に設定している場合は、返信先アドレスを編集できます。	

文字サイズ	本文入力欄に表示される文字のサイズを設定します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

メールを受け取る

1 メールを受信すると

メールを受信するとステータスバーにが表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーをタップ

3 メールの情報を選択

受信ボックス画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.96)を無効に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／フォルダ一覧画面→[新着受信]

メールを確認する

送信･受信･保存したメールは、各メールボックス画面で保存されます。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面→[フォルダ]

フォルダ一覧画面が表示されます。

① **メールボックス名**

② **フォルダ名**

③ **フォルダ**

未読メール／送信失敗メールが保存されている場合は青色に変わります。

：メインフォルダ

：サブフォルダ

：すべてフォルダ

サブフォルダを作成した場合に表示されます。

メインフォルダとサブフォルダに保存されているすべてのメールが保存されます。

④ **未読メール件数**

未読のメールが保存されている場合に表示されます。

⑤ **送信失敗メール件数**

送信に失敗したメールが保存されている場合に表示されます。

《フォルダ一覧画面》

メール

2 フォルダを選択

《受信ボックス画面》

《送信ボックス画面》

《未送信ボックス画面》

《テンプレートボックス画面》

① メールボックス名
② フォルダ名
③ **メール一覧**
選択したフォルダに保存されているメールが一覧で表示されます。
／：開封済みの受信Eメール／Cメール
※／※：未開封の受信Eメール／Cメール
／：開封済み／未開封のサーバに続きのあるEメール
／：送信Eメール／Cメール
／：未送信のEメール／Cメール
／：自動再送／予約送信のEメール／Cメール
／：送信失敗のEメール／Cメール
※タップすると開封済みになります。
メールのアイコンには、状態によって次のアイコンが付きます。
：返信した受信メール
：転送した受信メール
：添付ファイルのあるEメール
：保護されたメール
④ **インジケータ**
フォルダが複数ある場合に表示され、現在表示しているフォルダを示します。
未読メールが保存されているフォルダは橙色で表示されます。
⑤ **未読メール件数**
未読のメールが保存されている場合に表示されます。
⑥ **送信失敗メール件数**
送信に失敗したメールが保存されている場合に表示されます。
⑦ **テンプレート一覧**
／：Eメール／Cメールのテンプレート

3 メールを選択

未送信ボックスの未送信メールを選択した場合はEメール／Cメール作成画面が表示されます。

《受信メール内容表示画面》

《送信メール内容表示画面》

《送信失敗メール内容表示画面》

《テンプレートプレビュー画面》

① **受信メール**
差出人の名前／メールアドレス／電話番号
送信メール
宛先の名前／メールアドレス／電話番号
送信失敗メール
宛先の名前／メールアドレス／電話番号

② **件名**※

③ **本文**

④ **添付ファイル**※
タップすると添付ファイルを表示／再生します。

⑤ **アドレス詳細キー**※
宛先が複数ある場合に表示されます。タップするとアドレス詳細表示画面（一覧表示）が表示されます。

⑥ **日時情報ありアイコン**
件名または本文中に日時情報がある場合に表示されます。タップすると、日時情報を利用してスケジュールを登録できます。

※Cメールの場合は表示されません。

メールボックス画面でできること

メールボックス画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／未送信ボックス画面／テンプレートボックス画面→MENU

2

削除	メールを削除します。 **削除するメールを選択→[決定]→[はい]**	
フォルダ管理	フォルダ新規作成	メールボックスにフォルダを作成します。
	フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。

フォルダ管理	フォルダ並べ替え	フォルダの表示位置を変更します。 • 移動先をタップしてください。
	フォルダシークレット利用	フォルダシークレットを一時解除します。
	フォルダシークレット登録	フォルダをシークレットフォルダに設定します。設定したフォルダは表示されません。
	フォルダシークレット解除	フォルダシークレットを解除します。 • フォルダシークレットを解除する場合は一時解除を行ってから操作してください。
	フォルダ着信通知設定	振り分け登録でメールがフォルダ内に保存された場合に受信を通知するかどうかを設定します。
	フォルダ未読通知設定	未読メールがフォルダ内に保存されている場合に通知するかどうかを設定します。
	再振り分け	現在、振り分け登録されている内容で、送受信したメールの再振り分けを行います。
	フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のメールを削除します。
振り分け登録	▶P.91「振り分け条件を登録／編集する」	
続きを受信	複数件受信	一部しか受信していないメールを複数選択して続きを受信します。 **続きを受信するメールを選択→[決定]**
	全件受信	一部しか受信していないすべてのメールの続きを受信します。

移動	選択移動	メールを選択して移動します。 **移動するメールを選択→[決定]→移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。
	全件移動	一覧表示しているメールをすべて移動します。 **移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。
保存	選択保存	メールを選択してmicroSDメモリカードに保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→メールを選択→[決定]→[OK]**
	全件保存	一覧表示しているメールをすべてmicroSDメモリカードに保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→[OK]**
メール操作	保護	メールを選択して保護します。
	保護解除	メールを選択して保護を解除します。
	開封	メールを選択して開封します。
	未開封	メールを選択して未開封にします。
検索	▶P.90「メールを検索する」	
全件削除	すべてのテンプレートを削除します。	
並べ替え	メール／テンプレートを並べ替えます。	

■ フォルダ名のコンテキストメニューの場合

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面でフォルダ名をロングタッチ

2

フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
フォルダ並べ替え	フォルダの表示位置を変更します。 • 移動先をタップしてください。
フォルダシークレット登録	フォルダをシークレットフォルダに設定します。設定したフォルダは表示されません。
フォルダシークレット解除	フォルダシークレットを解除します。 • フォルダシークレットを解除する場合は一時解除を行ってから操作してください。
フォルダ着信通知設定	振り分け登録でメールがフォルダ内に保存された場合に受信を通知するかどうかを設定します。
フォルダ未読通知設定	未読メールがフォルダ内に保存されている場合に通知するかどうかを設定します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールを削除します。
開封	フォルダ内のすべてのメールを開封済みにします。
振り分け登録	▶P.91「振り分け条件を登録／編集する」
再振り分け	現在、振り分け登録されている内容で、送受信したメールの再振り分けを行います。
検索	▶P.90「メールを検索する」
メール全件削除	フォルダ内のすべてのメールを削除します。

■ メールのコンテキストメニューの場合

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／未送信ボックス画面／テンプレートボックス画面→メール／テンプレートをロングタッチ

2

続きを受信	一部しか受信していないメールの続きを受信します。
返信	メールを返信します。
全員へ返信	メールに同報されている全員に返信します。
転送	メールを転送します。
サーバーメール転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。
編集	メールを編集して送信します。
再送信	メールを再送信します。
タイトル名変更	テンプレートのタイトル名を変更します。
削除	メール／テンプレートを削除します。
移動	メールを移動します。 **移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。
保存	メールをmicroSDメモリカードへ保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→[OK]**
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
未開封／開封	メールを未開封／開封済みにします。
赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
IrSS送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
電話帳に登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」
アドレス詳細表示	▶P.91「アドレス詳細表示を利用する」
エラー詳細	エラーの詳細を表示します。
メールプロパティ／プロパティ	メール／テンプレートのプロパティを表示します。

memo

◎「フォルダシークレット登録」「フォルダ着信通知設定」で新着メールの受信を通知しないように設定しても、新着メールを受信した際は、iida Homeの「Mail」アプリケーションのパネルで新着メールを受信した旨のアニメーションが動作します。
なお、メールがシークレットフォルダに振り分けられた場合や「フォルダ未読通知設定」を「ホームに通知しない」に設定している場合は、アニメーションが動作しても未読メール件数は更新されません。

フォルダ一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 フォルダ一覧画面→MENU

2

フォルダシークレット利用	フォルダシークレットを一時解除します。
受信フォルダ作成	フォルダを作成します。 **フォルダ名を入力→[OK]**
送信フォルダ作成	

■ コンテキストメニューの場合

1 フォルダ一覧画面で受信／送信フォルダをロングタッチ

2

フォルダ名編集	フォルダ名を編集します。
フォルダ並べ替え	フォルダの表示位置を変更します。 • 移動先をタップしてください。
フォルダシークレット登録	フォルダをシークレットフォルダに設定します。設定したフォルダは表示されません。
フォルダシークレット解除	フォルダシークレットを解除します。 • フォルダシークレットを解除する場合は一時解除を行ってから操作してください。
フォルダ着信通知設定	振り分け登録でメールがフォルダ内に保存された場合に受信を通知するかどうかを設定します。
フォルダ未読通知設定	未読メールが保存されている場合に通知するかどうかを設定します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールを削除します。
開封	フォルダ内のすべてのメールを開封します。
振り分け登録	▶P.91「振り分け条件を登録／編集する」
再振り分け	現在、振り分け登録されている内容で、送受信したメールの再振り分けを行います。
検索	▶P.90「メールを検索する」
メール全件削除	フォルダ内のすべてのメールを削除します。

メールを検索する

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面→MENU→[検索]

検索(絞込み)画面が表示されます。

2

アドレス検索	電話帳引用	電話帳からメールアドレス／電話番号を選択して検索します。
	送受信履歴引用	▶P.92「送受信履歴のメニューを利用する」
	プロフィール引用	プロフィールからメールアドレス／電話番号を選択して検索します。
	電話番号直接入力	電話番号を直接入力します。
	アドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
	シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に一時解除します。
添付メール検索	添付ファイルのあるメールのみを一覧表示します。	
件名検索	件名、本文、または件名と本文に、入力した文字を含むメールのみを一覧表示します。 **検索する文字を入力→[OK]→[実行]**	
本文検索		
本文件名検索		

※ 検索条件を設定すると、検索(絞込み)条件表示画面が表示されます。

■ 検索条件を追加する場合

検索(絞込み)条件表示画面→MENU→[条件追加]と操作し、操作2を行います。

■ 検索条件を削除する場合

検索(絞込み)条件表示画面で検索条件を指定した項目をロングタッチし、「条件削除」を選択します。

■ 検索条件を編集する場合

検索(絞込み)条件表示画面で設定した検索条件を選択し、編集します。「添付ファイルあり」を選択した場合は検索条件が削除されます。

■ 検索条件を追加した項目の検索方法を指定する場合

検索(絞込み)条件表示画面→MENU→[検索方法]→[絞込み検索]/[キーワード検索]と操作します。

「絞込み検索」を選択した場合は「AND検索」、「キーワード検索」を選択した場合は「OR検索」に設定されます。

3 [検索対象]を選択

4

現在のフォルダ	選択したフォルダから検索します。
受信メールすべて	すべての受信メールから検索します。
送信メールすべて	すべての送信メールから検索します。
送受信メール	すべての送受信メールから検索します。

5 [実行]

アドレス詳細表示を利用する

メールのFrom、To、Cc、Bcc、Reply-Toのメールアドレスや電話番号の詳細を表示することもできます。

1 受信ボックス画面/送信ボックス画面で利用するメールをロングタッチ→[アドレス詳細表示]

アドレス詳細表示画面(一覧表示)が表示されます。

2 利用するメールアドレス/電話番号を選択

アドレス詳細表示画面(内容表示)が表示されます。

3

メール作成	選択したメールアドレス/電話番号を宛先としたメールを作成します。
電話帳に登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」
振り分け登録	選択したメールアドレス/電話番号を受信ボックス/送信ボックスのサブフォルダに振り分け登録します。 **[受信振り分け登録]/[送信振り分け登録]→フォルダを選択→[OK]** • 「新規」を選択すると新規フォルダを作成できます。

■ アドレス詳細表示画面(内容表示)のメニューを利用する

1 アドレス詳細表示画面(内容表示)→MENU

2

拒否リストへ登録	選択したメールアドレスを拒否リストへ登録します。電話番号の場合は受信フィルターへ登録します。 ▶P.98「迷惑メールフィルターを設定する」 ▶P.99「受信フィルターを設定する」
アドレスコピー	選択したメールアドレス/電話番号をコピーします。

振り分け条件を登録/編集する

サブフォルダには、「差出人/宛先」「ドメイン指定」「件名」「電話帳登録なし」の振り分け条件を登録できます。登録した振り分け条件に該当するメールを受信/送信すると、自動的に登録したサブフォルダにメールが振り分けられます。

1 フォルダ一覧画面でサブフォルダをロングタッチ →[振り分け登録]

振り分け条件画面が表示されます。

2 [新規登録]/登録済みの振り分け条件を選択

3

差出人/宛先	電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
	送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
	電話帳グループ引用	電話帳のグループを引用して登録します。
	メールグループ引用	メールグループを引用して登録します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して登録します。
	直接入力	メールアドレスを直接入力します。
ドメイン指定	電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
	送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して登録します。
	直接入力	ドメインを直接入力します。
件名	振り分け条件となる件名を登録します。	
電話帳登録なし	振り分け条件として、電話帳に登録されていないメールを指定します。	
1件削除	選択した振り分け条件を削除します。	
シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に一時解除します。	

■振り分け条件画面のメニューを利用する

1 振り分け条件画面→MENU

選択削除	振り分け条件を選択して削除します。
全件削除	振り分け条件をすべて削除します。

■送受信履歴のメニューを利用する

送受信したメールの差出人や宛先は、送受信履歴に記録されます。送受信履歴は、振り分け登録時やメールの検索時、メールグループの設定時、宛先入力時に利用できます。

例:「振り分け登録」から送受信履歴を表示する場合

1 振り分け条件画面→[新規登録]→[差出人/宛先] →[送受信履歴引用]

■オプションメニューの場合

2 MENU

3

全件削除	送信履歴/受信履歴をすべて削除します。
シークレット設定/シークレット解除	送受信履歴をシークレットに設定/解除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[OK]**

■コンテキストメニューの場合

2 送信履歴/受信履歴をロングタッチ

3

1件削除	送信履歴/受信履歴を削除します。

memo

◎シークレットを設定すると、宛先を選択するときなどに「送受信履歴引用」が表示されなくなります。送受信履歴のシークレットを一時的に解除するには、送受信履歴を利用できるメニューを表示して「シークレット」を選択し、ロックNo.を入力します。例えば、振り分け登録時の場合は、振り分け条件画面→[新規登録]→[シークレット]→ロックNo.を入力→[OK]と操作します。

メール内容表示画面でできること

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面／テンプレートプレビュー画面**

2

返信	メールを返信します。
全員へ返信	メールに同報されている全員に返信します。
転送	メールを転送します。
編集	メールを編集して送信します。
再送信	メールを再送信します。
削除	メールを削除します。
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
続きを受信	一部しか受信していないメールの続きを受信します。
エラー詳細	エラーの詳細を表示します。
前へ	前のテンプレートを表示します。
選択	表示しているテンプレートを本文としたメールを作成します。
次へ	次のテンプレートを表示します。

メール内のメールアドレス／電話番号を利用する

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面**
→メールアドレス／電話番号を選択

2

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
メール作成	選択したメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
Cメール作成	選択した電話番号を宛先としたCメールを作成します。
電話帳に登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」
振り分け登録	選択したメールアドレス／電話番号を受信ボックス／送信ボックスのサブフォルダに振り分け登録します。 **[受信振り分け登録]／[送信振り分け登録]→フォルダを選択→[OK]** • 「新規」を選択すると新規フォルダを作成できます。
拒否リストへ登録	選択したメールアドレスを拒否リストへ登録します。電話番号の場合は受信フィルターへ登録します。 ▶P.98「迷惑メールフィルターを設定する」 ▶P.99「受信フィルターを設定する」
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

Eメールの添付ファイルを再生／保存する

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面で添付ファイルをロングタッチ**

2

受信	添付ファイルを受信します。
表示／再生	添付ファイルを表示／再生します。
保存	添付ファイルを保存します。
登録	添付ファイルを登録します。
テレビで表示	DLNA対応のテレビなどで表示します。
プロパティ	添付ファイルのプロパティを表示します。

メール内容表示画面のメニューを利用する

1 **受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／送信失敗メール内容表示画面→MENU**

2

返信／転送	返信	▶P.89「メールのコンテキストメニューの場合」
	転送	
移動／保存	フォルダ移動	メールを移動します。 **移動先のフォルダを選択→[OK]** • [新規]→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、移動先のフォルダを作成することができます。
	ファイル保存	メールの本文に挿入された画像やデコレーション絵文字をmicroSDメモリカードへ保存します。
	テンプレート保存	メールをテンプレートとしてテンプレートボックスへ保存します。
	microSDへ保存	メールをmicroSDメモリカードへ保存します。 **[eml形式で保存]／[vmg形式で保存]→[OK]→[OK]**
テキストコピー	メール本文をコピーします。 **文字列をドラッグして、指を離す→選択した文字列をタップ** • 選択した文字列の開始／終了位置に表示される「◿」／「◺」をドラッグすると選択範囲を変更できます。	

メール操作	辞書検索	メール本文の単語を辞書で調べます。 **文字列をドラッグして、指を離す→選択した文字列をタップ→[ネット辞書]／[内蔵辞書]** • 選択した文字列の開始／終了位置に表示される「◿」／「◺」をドラッグすると選択範囲を変更できます。	
	保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。	
	スケジュールへ登録	メールの件名や本文の日時キーワードからスケジュールを登録します。 • 日時キーワードとは、日付や時刻のほか、「本日」「明日」「曜日」などです。 ▶P.174「予定を新規登録する」	
	データ送信	赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
		IrSS送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
		Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
		IC送信(FeliCa)	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
電話帳に登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」		
表示設定	文字サイズ設定	メールの文字サイズを設定します。	
	文字コード変換	メールの文字コードを設定します。	
メール情報表示	アドレス詳細表示	▶P.91「アドレス詳細表示を利用する」	
	メールプロパティ	メールのプロパティを表示します。	

memo

スケジュールへ登録について

◎ メールの内容や表現によっては、正しく自動入力されないことがあります。

メールの設定を行う

メールの各種設定やメールグループの管理、メール容量の確認は、メール設定画面から行います。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／フォルダ一覧画面→［設定］

メール設定画面が表示されます。

メールの共通設定を行う

1 メール設定画面→［共通設定］

2

受信／表示設定	画像拡大縮小表示	メールの本文に挿入された画像の表示サイズを設定します。
	アニメビュー	受信メール内容表示画面で特定の絵文字がある場合、対応したアニメーションを表示するかどうかを設定します。
	着信お知らせ表示	メール受信時の着信お知らせ表示の通知内容を設定します。
	音・バイブ・ランプ	メール受信時の音やバイブレータ、ランプ、鳴動時間について設定します。
	メール受信中画面	メール受信中の画像を選択して登録します。
	文字サイズ設定	メール内容表示画面の文字サイズを設定します。
送信／作成設定	自動再送	メール送信失敗時に自動で再送信するかどうかを設定します。
	送信先限定設定	メールアドレス／電話番号を指定し、送信先を限定します。 • ロックNo.を入力→［OK］→［送信先限定設定一覧］→［新規登録］と操作すると、限定送信する送信先を登録できます。登録済みの送信先を選択→［シークレット］→ロックNo.を入力→［OK］と操作すると、送受信履歴のシークレットを一時解除できます。 • 限定送信する送信先を登録した後、「送信先限定設定」を選択して送信先を限定するかどうかを設定します。 • 登録済みの送信先をロングタッチ→［変更］と操作すると、送信先を編集できます。 • 登録済みの送信先をロングタッチ→［削除］と操作すると、送信先を1件削除できます。 • MENU→［削除］→［選択削除］／［全件削除］と操作すると、メールアドレス／電話番号を選択削除／全件削除できます。 • 送信先は、最大20件まで登録できます。
	メール送信中画面	メール送信中の画像を選択して登録します。
初期表示画面	メール起動時の画面を設定します。	
メール機能制限	メール起動時にロックNo.の入力が必要になるように設定／解除します。 **ロックNo.を入力→［OK］**	

Eメールを設定する

1 **メール設定画面→[Eメール設定]**

Eメール設定画面が表示されます。

2

受信／表示設定	メール受信方法	受信方法	受信する項目を設定します。
		全受信対象登録	受信方法を「全受信(特定条件のみ)」に設定した場合の特定条件を変更します。
	添付自動受信サイズ	自動受信を行う添付データの受信サイズを設定します。	
	メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。	
送信／作成設定	署名	送信時の署名を設定します。 • 「ON」を選択した場合は、署名(全角125／半角256文字まで)を入力します。	
	差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 • 「ON」を選択した場合は、差出人名称(全角／半角20文字まで)を入力します。	
	返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に宛先に設定されるアドレスを設定します。 • 「ON」を選択した場合は、返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力します。	
	引用返信	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。	
その他の設定	▶P.97「アドレスの変更やその他の設定をする」		
設定更新	自分のメールアドレスを確認できます。		

memo

受信方法について

◎「全受信(特定条件のみ)」を選択した場合、設定した特定条件に合うメールのみ全受信します。設定した特定条件に合わないメールは、差出人・件名のみ受信します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定画面→[その他の設定]→[OK]

2 項目を選択→□（入力欄）を選択→暗証番号を入力→[送信]

項目	説明
Eメールアドレスの変更	Eメールアドレスは「Eメール設定」の「設定更新」を行うと自動的に決まりますが、初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できます。 **1. [承諾する]** **2. □（入力欄）を選択** **3. Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力** **4. [送信]→[OK]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	▶P.98「迷惑メールフィルターを設定する」
カンタン設定はこちら	
自動転送先	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. □（入力欄）を選択** **2. Eメールアドレスを入力** **3. [送信]→[終了]** • 自動転送先のEメールアドレスは、2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更･登録は、1日3回まで可能です。なお、設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール設定画面→[その他の設定]→[OK]

■ おすすめの設定にする場合

2 [カンタン設定はこちら]→[登録]

なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件で迷惑メールフィルターが設定されます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルター]→□（入力欄）を選択→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。「高」「中」「低」の3つの設定があります。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF（受信拒否）にしてください。
	指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）	「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかどうかを設定します。
設定確認／設定解除	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。	
PC設定用ワンタイムパスワード発行	▶P.99「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」	
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。	

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）＞ なりすまし規制 ＞ 指定拒否リスト設定 ＞ 指定受信リスト設定 ＞ HTMLメール規制 ＞ URLリンク規制 ＞ 一括指定受信
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
◎「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話･PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、INFOBAR A01の迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

Cメールを設定する

1 **メール設定画面→［Cメール設定］**

Cメール設定画面が表示されます。

2

自動蓄積する	相手の方にCメールが届かなかったとき、自動的にCメールセンターへ蓄積するかどうかを設定します。
受信フィルター	▶P.99「受信フィルターを設定する」

受信フィルターを設定する

Cメールを受信拒否する電話番号を登録します。電話帳に未登録の番号からのCメールを受信拒否するように設定することもできます。

1 **Cメール設定画面→［受信フィルター］→ロックNo.を入力→［OK］**

2

指定番号拒否	指定番号設定	指定番号拒否を有効にするかどうかを設定します。 「指定番号一覧」で受信拒否する番号を指定していない場合は、指定番号一覧画面が表示されます。「新規登録」を選択して登録を行ってください。
	指定番号一覧	受信拒否する電話番号を指定します。 • 「新規登録」を選択すると、受信拒否する電話番号を登録できます。登録済みの電話番号を選択→[シークレット]→ロックNo.を入力→[OK]と操作すると、送受信履歴のシークレットを一時解除できます。 • MENU→[削除]→[選択削除]／[全件削除]と操作すると、電話番号を選択削除／全件削除できます。 • 登録済みの電話番号をロングタッチ→[変更]と操作すると、電話番号を変更できます。 • 登録済みの電話番号をロングタッチ→[削除]と操作すると、電話番号を1件削除できます。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。 • 受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
電話帳登録以外	電話帳に登録されていない電話番号からのCメールを受信拒否するかどうかを設定します。	
Eメールお知らせ	Eメールお知らせを受信拒否するかどうかを設定します。	

メールグループを設定する

メールグループは最大20件まで登録でき、1件のメールグループには最大20件まで宛先を登録できます。

1 メール設定画面→[メールグループ設定]

メールグループ設定画面が表示されます。

2 [新規登録]→グループ名を入力→[OK]

メールグループ設定画面に登録したグループが表示されます。

3 登録したグループを選択

メンバー一覧画面が表示されます。

4 [新規登録]

5

電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
直接入力	宛先を直接入力します。
シークレット	送受信履歴をシークレット設定している場合に一時解除します。

memo

◎ メールグループ設定画面で登録済みのグループをロングタッチ→[グループ名の変更]と操作すると、グループ名を編集できます。

◎ メンバー一覧画面で登録済みのメンバーをロングタッチ→[変更]と操作すると、メンバーを編集できます。

メール容量を確認する

受信ボックス、送信ボックス、テンプレートの使用状況を確認します。

1 メール設定画面→[メール容量確認]

緊急地震速報を利用する

緊急地震速報とは、気象庁が配信する緊急地震速報を、震源地周辺のエリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

memo

◎緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
◎緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
◎地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎日本国内のみのサービスです。(海外ではご利用になれません。)
◎緊急地震速報は、情報料・通信料共に無料です。
◎当社は、本サービスに関して、通信障がいやシステム障がいによる情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/
◎緊急地震速報を受信しないように設定することはできません。
◎通話中は、緊急地震速報を受信できません。また、Cメール/Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中は、緊急地震速報を受信できない場合があります。
◎電源を切っていたり、サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急地震速報を受信できない場合があります。
◎受信に失敗した緊急地震速報を、再度受信することはできません。
◎テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎緊急地震速報受信時は、専用の警報音が最大音量で鳴動します。警報音や音量は変更できません。ただし、マナーモード設定中はマナーモードの設定でお知らせします。

Cメール安心ブロック機能を設定する

Cメール安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むCメールを受信拒否する機能です。

memo

◎Cメール安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ブロック対象のCメールは、通常のCメール(ぷりペイド送信含む)です。お留守番サービス(伝言お知らせ、着信お知らせ)は対象外です。

■Cメール安心ブロック機能の設定方法

Cメール安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にCメールを送信することで行います。

- 設定時のCメール送信は無料です。
- 設定完了の案内Cメールは、「09044440012」の番号通知で届きます。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にCメールを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にCメールを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にCメールを送信する。

■Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「09044440019」の番号通知でお届けできなかった旨のエラーCメールが返信されます。

- 送信したCメールが受信拒否された場合でも、通信料がかかります。

PCメールを利用する

au one メールなどのメールアカウントを設定したPCメールを利用できます。

- 「PC-mail」でau one メールをご利用になるには、事前にau one メールの設定を行う必要があります。

1 iida Home→[PC-mail]

受信トレイ画面が表示されます。
複数のメールアカウントを登録している場合は、PCメールメイン画面が表示されます。
初回利用時はメールアカウント登録画面が表示されますので、メールアカウントを登録してください。メールアカウントを登録する操作については、「PCメールのアカウントを追加する」(▶P.102)をご参照ください。

《受信トレイ画面》

《PCメールメイン画面》

PCメールのアカウントを追加する

1 受信トレイ画面→MENU→[アカウント]

PCメールメイン画面が表示されます。

2 MENU→[アカウントを追加]

メールアカウント登録画面が表示されます。
2件目以降のアカウントを登録する場合は、「いつもこのアカウントでメールを送信」を選択すると優先アカウントとして登録します。

3 [メールアドレス]→メールアドレスを入力

4 [パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

メールサーバを自動的に設定します。
メールサーバを手動で設定する場合は、[パスワード]→パスワードを入力→[手動セットアップ]と操作してください。メールサーバを手動で設定する操作については、「メールサーバの設定を行う」(▶P.102)をご参照ください。

5 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

6 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力→[完了]

■メールサーバの設定を行う

ご利用になるメールアカウントのメールサーバが自動設定されない場合や「手動セットアップ」を選択した場合は、メールサーバを手動で設定します。
あらかじめ、ご利用のプロバイダにお問い合わせになり、受信メールサーバと送信メールサーバの設定をご確認ください。

1 アカウントのタイプ(「POP3」/「IMAP」/「Exchange」)を選択

2

ユーザー名／ ドメイン¥ユーザー名	必要な項目を入力します。 • POP3サーバで設定を行う場合、ご利用のプロバイダによってはINFOBAR A01本体内に保存されたPCメールが消える場合があります。IMAP対応のメールサーバ（Gmail、au one メールなど）を利用する場合はIMAPサーバで設定を行ってください。
パスワード	
POP3サーバー／ IMAPサーバー／ サーバー	
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
サーバーからメールを削除	受信したPCメールをサーバに残すかどうかを設定します。
IMAPパスのプレフィックス	必要な場合に入力します。
安全な接続（SSL）を使用する	PCメール受信時にSSLを使用するかどうかを設定します。 すべてのSSL証明書を承認する場合は「すべてのSSL証明書を承認」も有効に設定します。

3 ［次へ］

4

SMTPサーバー	必要な項目を入力します。
ポート	
セキュリティの種類	必要な場合に設定します。
ログインが必要	必要な場合に設定します。 有効に設定した場合は「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

5 ［次へ］

6

受信トレイを確認する頻度	新着PCメールが届いているかどうかサーバに確認する間隔を設定します。
いつもこのアカウントでメールを送信	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
メールの着信を知らせる	ステータスバーにPCメールを受信したことを表示するかどうかを設定します。

7 ［次へ］

8 アカウント名入力欄を選択→アカウント名を入力

9 あなたの名前入力欄を選択→あなたの名前を入力→［完了］

memo

◎アカウントのタイプで「Exchange」を選択した場合、プロバイダによっては「ドメイン¥ユーザー名」の項目に「¥ユーザー名ドメイン」と入力する必要があります。詳しくはサーバ管理者にお問い合わせください。

アカウントの設定を変更する

1 受信トレイ画面→MENU→［アカウントの設定］

2

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前（差出人名）を変更します。
署名	PCメール送信時の署名を設定します。
受信トレイの確認頻度	自動受信する間隔を設定します。
優先アカウントにする	メールアカウントが複数設定されている場合に、PCメールを作成するときの優先アカウントに設定します。

メール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	PCメール受信時の音を設定します。 •「サイレント」以外の着信音を選択すると着信音が鳴ります。
バイブレーション	PCメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
受信設定	受信メールサーバと送信メールサーバを設定します。 ▶P. 102「メールサーバの設定を行う」
送信設定	

※アカウントの設定によっては、上記以外の項目が表示される場合があります。

PCメールを送る

1 受信トレイ画面→MENU→[作成]

PCメール作成画面が表示されます。

① 宛先入力欄
② 件名入力欄
③ 本文入力欄

《PCメール作成画面》

2 宛先入力欄を選択→宛先を入力

電話帳に登録している名前またはメールアドレスを入力すると、電話帳を検索して宛先入力欄の下に表示されます。表示された宛先を選択することができます。

3 件名入力欄を選択→件名を入力

4 本文入力欄を選択→本文を入力

5 [送信]

「下書き保存」を選択すると、PCメールを送信せずに下書きへ保存します。

「破棄」を選択すると、作成中のPCメールを破棄します。

■PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面→MENU

2

Cc/Bccを追加	Cc/Bcc入力欄を追加します。宛先と同じ方法で入力できます。
送信	作成しているPCメールを送信します。
下書き保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
破棄	作成中のPCメールを破棄します。
添付ファイルを追加	PCメールに添付するファイルを選択します。添付したファイルを削除する場合は「×」をタップします。

PCメールを受け取る

1 PCメールを受信すると

PCメールを受信するとステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーをタップ

3 PCメールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 受信したPCメールを選択

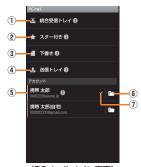
受信PCメール内容表示画面が表示されます。

PCメール画面でできること

PCメールメイン画面について

① **統合受信トレイ**
すべてのアカウントの未読受信PCメール件数を表示します。
選択すると統合受信トレイ画面を表示します。

② **スター付き**
すべてのアカウントのスター付きPCメール件数を表示します。
選択するとスター付き画面を表示します。

③ **下書き**
すべてのアカウントの下書きPCメール件数を表示します。
選択すると下書き画面を表示します。

《PCメールメイン画面》

④ **送信トレイ**
すべてのアカウントの未送信PCメール件数を表示します。
選択すると送信トレイ画面を表示します。

⑤ **アカウント**
アカウント設定したアカウントが一覧で表示されます。
各アカウントを選択すると選択したアカウントの受信トレイ画面を表示します。

⑥ **フォルダアイコン**
選択すると選択したアカウントのPCメールボックス画面を表示します。

⑦ **優先アカウントアイコン**
PCメール作成時、差出人に設定されるアカウントに表示されます。

PCメールメイン画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 PCメールメイン画面→MENU

2

作成	▶P.104「PCメールを送る」
アカウントを追加	▶P.102「PCメールのアカウントを追加する」

■ コンテキストメニューの場合

1 PCメールメイン画面で項目をロングタッチ

2

開く	選択した項目を開きます。
作成	▶P.104「PCメールを送る」
アカウントの設定	▶P.103「アカウントの設定を変更する」
アカウントを削除	選択したアカウントを削除します。

PCメールボックス画面について

① **受信トレイ**
未読受信PCメール件数を表示します。
選択すると受信トレイ画面を表示します。
② **下書き**
選択すると下書き画面を表示します。
③ **送信トレイ**
選択すると送信トレイ画面を表示します。
④ **送信済み**
選択すると送信済み画面を表示します。
⑤ **ゴミ箱**
選択するとゴミ箱画面を表示します。
⑥ **アカウント名**
複数のアカウントを設定している場合、選択するとPCメールメイン画面を表示します。

《PCメールボックス画面》

PCメールボックス画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 PCメールボックス画面→MENU

2

作成	▶P.104「PCメールを送る」
アカウント	PCメールメイン画面を表示します。
アカウントの設定	▶P.103「アカウントの設定を変更する」

■ コンテキストメニューの場合

1 PCメールボックス画面でフォルダをロングタッチ

2

開く	選択したフォルダを開きます。
更新	PCメールを更新します。

PCメール一覧画面について

PCメールメイン画面やPCメールボックス画面から表示する項目を選択すると各項目のPCメール一覧画面を表示します。

例：受信トレイ画面

① **PCメール**
選択するとPCメール内容表示画面を表示します。下書き画面の場合はPCメール作成画面を表示します。
② **アカウント名**
複数のアカウントを設定している場合、選択するとPCメールメイン画面を表示します。
③ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているPCメールに表示されます。
④ **チェックボックス**
選択するとチェックが入り、メニューが表示されます。
目的のPCメールにチェックを入れて、メニューを選択します。
⑤ **スターアイコン**
選択するとスター付きを設定／解除できます。

《PCメール一覧画面》

■PCメール一覧画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 PCメール一覧画面→MENU

2

更新	PCメールを更新します。
作成	▶P.104「PCメールを送る」
選択をすべて解除	PCメールのチェックをすべて解除します。
フォルダ	PCメールボックス画面を表示します。
アカウント	PCメールメイン画面を表示します。
アカウントの設定	▶P.103「アカウントの設定を変更する」

■コンテキストメニューの場合

1 PCメール一覧画面でPCメールをロングタッチ

2

開く	選択したPCメールを開きます。
削除	選択したPCメールを削除します。
破棄	選択したPCメールを破棄します。
転送	選択したPCメールを転送します。
全員に返信	PCメールに同報されている全員に返信します。
返信	選択したPCメールを返信します。
未読にする／既読にする	PCメールを未開封／開封済みにします。

PCメール内容表示画面について

PCメール一覧画面でPCメールを選択するとPCメール内容表示画面を表示します。

例：受信メール内容表示画面

① 差出人の名前／メールアドレス
② 宛先／Ccの名前／メールアドレス
③ 件名
④ 本文
⑤ 添付ファイル
⑥ スターアイコン
　タップするとスター付きを設定／解除できます。
⑦ 操作パネル
　「返信」をタップするとPCメールを返信します。「全員に返信」をタップするとPCメールに同報されている全員に返信します。「削除」をタップすると表示しているPCメールを削除します。

《PCメール内容表示画面》

■PCメール内容表示画面のメニューを利用する

1 PCメール内容表示画面→MENU

2

削除	PCメールを削除します。
転送	PCメールを転送します。
返信	PCメールを返信します。
全員に返信	PCメールに同報されている全員に返信します。
未読にする	PCメールを未開封にします。

■添付ファイルを再生／保存する

1 PCメール内容表示画面→添付ファイルの[開く]／[保存]

au one メールをブラウザで利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメールの自動保存を行ったりすることもできます。
また、「PC-mail」でau one メールを利用することができます。
利用する場合は以下の設定を事前に行う必要があります。

- au one メールの「設定」の「メール転送とPOP/IMAP設定」で必ず「IMAPを有効にする」に設定する
- メールパスワードを設定する

memo

◎POPダウンロードの設定を有効にして「PC-mail」でPOP3サーバでの設定を行うとINFOBAR A01本体内に保存されたメールが消える場合があります。
◎メールパスワードについては、iida Home→[Browser]→URL表示欄を選択→「http://auone.jp/」を入力→[ ]→[サポート]→[au one メールヘルプ]と操作し、ヘルプの内容をご確認のうえ、設定を行ってください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。

- 会員登録するにはau one-IDが必要です。詳しくは、「au one-IDの設定をする」(▶P.205)をご参照ください。

1 **iida Home→[Browser]→URL表示欄を選択→「http://auone.jp/」を入力→[ ]**

2 **[メール]→au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]**

3 **[今は保存しない]/[保存]/[保存しない]**

会員登録画面が表示されます。
「保存」/「保存しない」を選択した場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 **画面に従って必要項目を入力→[規約に同意して登録する]**

5 **[上記の内容で登録する]**

会員登録が完了します。

memo

◎会員登録後は、au one ホームページで「メール」を選択し、ログインするとau one メールの受信トレイが表示されます。
◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。INFOBAR A01からGmailの確認・送信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.35)をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、INFOBAR A01の電話帳と同期します。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 iida Home→[Gmail]

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

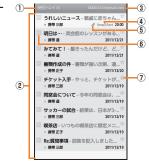
《受信トレイ画面》

① **トレイ／ラベル名、未読メール件数**

② **メール**
既読メッセージの背景色はグレーになります。

③ **アカウント名**

④ **ラベル**
ラベルが設定されているメールに表示されます。

⑤ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているメールに表示されます。

⑥ **チェックボックス**
タップするとチェックが入り、メニューが表示されます。目的のメールにチェックを入れて、メニューを選択します。

⑦ **スターアイコン**
タップするとスター付きを設定／解除できます。
スター付きを設定すると、受信トレイ画面→MENU→[ラベルを表示]→[スター付き]で設定したメールのみを表示することができます。

memo

◎受信トレイ画面→MENU→[設定]→[バッチ操作]でチェックボックスの表示／非表示を設定できます。

Gmailのアカウントを切り替える

1 受信トレイ画面→MENU→[アカウント]

2 アカウントを選択

Gmailを更新する

INFOBAR A01の「Gmail」アプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→MENU→[更新]

Gmailを送る

1 受信トレイ画面→MENU→[新規作成]

2 宛先入力欄を選択→宛先を入力

3 件名入力欄を選択→件名を入力

4 本文入力欄を選択→本文を入力

5 [ ]

送信済みGmailを表示する

1 受信トレイ画面→MENU→[ラベルを表示]→[送信済みメール]

Gmailを受け取る

1 Gmailを受信すると

Gmailを受信すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーをタップ

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、INFOBAR A01内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。検索の詳細についてはGmailサイトをご覧ください。

1 受信トレイ画面→MENU→[検索]

2 検索する文字列を入力→[ ]

Gmailを返信／転送する

1 受信メール内容表示画面→[ ]→[返信]／[全員に返信]／[転送]

新着Gmail通知を設定する

メールを受信したときに、お知らせアイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面→MENU→[設定]

2

メール着信通知	メール受信時にお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	メール受信時の音を設定します。
バイブレーション	メール受信時のバイブレータの動作を設定します。
一度に通知する	新しいメールを一度に通知するかどうかを設定します。

署名を設定する

送信時の署名を設定できます。

1 受信トレイ画面→MENU→[設定]→[署名]

2 署名を入力→[OK]

インターネット

インターネットに接続する

INFOBAR A01では、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信(IS NET、au.NET)(▶P.112「データ通信サービスを利用する」)
- Wi-Fi(▶P.210「Wi-Fiを利用する」)

memo

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料(利用月のみ月額525円)と別途通信料がかかります。

データ通信サービスを利用する

INFOBAR A01は、パケット通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスで、最大通信速度受信9.2Mbps/送信5.5Mbps(ご使用の環境によっては受信3.1Mbpsまたは2.4Mbps/送信1.8Mbpsまたは144kbps)でのパケット通信によるインターネット接続を行うことができます。

「IS NET(アイエスネット)」や「au.NET(エーユードットネット)」のご利用により、INFOBAR A01を手軽にインターネットに接続し、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。定額サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/(auお客さまサポート)

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料(ご利用月のみ発生)
通信料※	有料

※通信料については、最新のau総合カタログ/auホームページをご参照ください。

ブラウザを利用する

サイトを表示する

1 iida Home→[Browser]

ブラウザ画面が表示されます。
iida Home→[au one for iida]と操作すると、常にAndroid向けのiidaホームページが表示されます。

memo

◎非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ブラウザ画面でURL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／URL表示欄の[→]

memo

◎URL表示欄にキーワードを入力した場合、「検索エンジンの設定」で設定した検索エンジンで検索します。

ブラウザ画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 ブラウザ画面→MENU

2

ブックマーク	▶P.114「ブックマーク／履歴を利用する」
新しいウィンドウ（ウィンドウリスト）	新しいウィンドウで、別のサイトを表示します。 • ウィンドウを2枚以上開いている場合は、「ウィンドウリスト」と表示されます。 • ウィンドウリスト表示中に「×」をタップすると、ウィンドウを閉じます。
ブラウザ終了	ブラウザを終了します。
再読み込み	表示中のサイトの情報を再読み込みします。
停止	サイトの読み込みを中止します。
進む	サイトをBACKの操作で表示している場合に、操作前に表示していたサイトに進みます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ショートカットを作成	表示しているサイトに接続するショートカットを、iida Homeに作成します。
テキスト選択コピー	サイトに表示された文字列をコピーします。 **文字列をドラッグして、指を離す→選択した文字列をタップ** • 選択した文字列の開始／終了位置に表示される「◺」／「◹」をドラッグすると選択範囲を変更できます。
ページを共有	表示しているサイトのURLをメールやBluetooth®、赤外線などで送信できます。
閲覧履歴	▶P.114「ブックマーク／履歴を利用する」
ダウンロード履歴	▶P.157「ダウンロードを利用する」
ホームページへ移動	ホームページ設定で設定したサイトへ移動します。
設定	▶P.115「ブラウザを設定する」
ページ情報	表示しているサイトのページ情報を表示します。

■ コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したリンク先を新しいウィンドウで表示します。
リンクをブックマーク	選択したリンク先をブックマークに登録します。 • 登録時に名前や場所(URL)を編集できます。
リンクを保存	選択したリンク先をmicroSDメモリカードに保存します。
リンクを共有	選択したリンク先のURLをメールやBluetooth®、赤外線などで送信できます。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
画像を保存	選択した画像をmicroSDメモリカードに保存します。
画像を表示	選択した画像を表示します。
壁紙として設定	選択した画像を壁紙に設定します。
メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
発信…	選択した電話番号に電話をかけたり、Cメールを送信したりします。
連絡先を追加	選択した電話番号を電話帳に登録します。
地図	選択した位置情報の地図を表示します。
コピー	選択したメールアドレスや電話番号などの情報をコピーします。

memo

◎ 壁紙に設定した画像は保存はされないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を利用することもできません。

ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面→MENU→[ブックマーク]／[閲覧履歴]

ブックマーク画面／履歴画面が表示されます。

① **ブックマーク／履歴一覧**
ブックマーク／履歴の一覧を表示します。

② **「ブックマーク」タブ**
登録されているブックマークを表示します。

③ **「よく使用」タブ**
サイトの閲覧履歴を、閲覧回数の多い順に表示します。

④ **「履歴」タブ**
サイトの閲覧履歴を表示します。

《ブックマーク画面》

2 ブックマーク／履歴を選択

memo

◎ 履歴画面→[☆]／[★]と操作すると、選択した履歴をブックマークに登録／削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 ブックマーク画面→[追加]

ブックマーク登録画面が表示されます。
リスト表示のときは、「現在のページをブックマーク」を選択すると、ブックマーク登録画面が表示されます。

2 [OK]

ブックマーク画面/履歴画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ブックマーク画面/履歴画面→MENU

2

現在のページを登録	▶P.114「ブックマークに登録する」	
ブックマーク全送信	赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
	Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
	IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
ブックマーク全削除	ブックマークをすべて削除します。	
リスト表示/サムネイル表示	ブックマークの表示方法を切り替えます。	
履歴全削除	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。	

■ コンテキストメニューの場合

1 ブックマーク画面/履歴画面でブックマーク/履歴をロングタッチ

2

開く	選択したブックマーク/履歴のサイトを表示します。	
新しいウィンドウで開く	選択したブックマーク/履歴のサイトを新しいウィンドウで表示します。	
ブックマークを編集	選択したブックマークを編集します。	
ブックマークに追加	選択した履歴をブックマークに登録します。 • 登録時に名前や場所(URL)を編集できます。	
ブックマークから削除	選択した履歴をブックマークから削除します。	
ショートカットを作成	選択したブックマークのショートカットを、iida Homeに作成します。	
リンクを共有	選択したブックマーク/履歴のサイトのURLをメールやBluetooth®、赤外線などで送信できます。	
ブックマークを送信	赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
	Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
	IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
URLをコピー	選択したブックマーク/履歴のサイトのURLをコピーします。	
ブックマークを削除	選択したブックマークを削除します。	
履歴から削除	選択した履歴を削除します。	
ホームページとして設定	ブラウザを起動したときや新規ウィンドウを開いたときに表示するサイトに設定します。	

ブラウザを設定する

1 ブラウザ画面→MENU→[設定]

2

文字サイズ	ブラウザ画面に表示される文字サイズを設定します。
デフォルトの解像度	ブラウザ画面を表示したときのウェブページの解像度を設定します。
テキストエンコード	文字コードを変更します。

ポップアップをブロック	ポップアップをブロックするかどうかを設定します。
画像の読み込み	サイトの画像を表示するかどうかを設定します。
ページの自動調整	画面に合わせてサイトの表示やサイズを自動調整するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	サイトにJavaScriptが記載されているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定します。
プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。
ピンチ操作で速度を優先	ピンチ操作で画面を拡大／縮小する場合に、画面の表示品位より表示速度を優先するかどうかを設定します。
バックグラウンドで開く	リンクを新しいウィンドウで開くとき、現在表示しているウィンドウのバックグラウンドで開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ブラウザを起動したときや、新しいウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。 **URLを入力→[OK]**
キャッシュを削除	サイトの閲覧時に保存したページデータ（キャッシュ）を削除します。
履歴削除	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
Cookieを受け入れる	サイトによるCookieの保存と読み取りを許可するかどうかを設定します。
Cookieをすべて削除	保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータを保存	サイトの閲覧中に入力したフォームデータを保存するかどうかを設定します。
フォームデータを削除	保存されているフォームデータをすべて削除します。
パスワードを保存	サイトの閲覧中に入力したユーザー名とパスワードを保存するかどうかを設定します。
パスワードを削除	保存されているサイトのユーザー名とパスワードをすべて削除します。
セキュリティ警告を表示	サイトの安全性に問題があるときに警告を表示するかどうかを設定します。
ページを全体表示で開く	新しく開いたサイトを全体表示するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	サイトを常に横表示するかどうかを設定します。
位置情報を有効にする	位置情報のアクセスを許可するかどうかを設定します。
位置情報アクセスを削除	サイトからの位置情報アクセスをすべて削除します。
ウェブサイト設定	サイトごとに、位置情報アクセスやダウンロードしたデータの削除ができます。 • サイトを選択→[位置情報アクセスを削除]→[アクセスを削除]と操作すると、サイトからの位置情報アクセスを削除できます。 • サイトを選択→[保存したデータを削除]→[すべて削除]と操作すると、ダウンロードしたデータを削除できます。 • MENU→[すべて削除]→[全データを削除]と操作すると、ダウンロードしたすべてのデータを削除します。
検索エンジンの設定	URL表示欄にキーワードを入力して検索するときの検索エンジンを設定します。
ブックマークをリセット	登録したブックマークをすべて削除してお買い上げ時の状態に戻します。
初期設定にリセット	ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[はい]** • ブックマークや閲覧履歴、キャッシュなどの保存されたデータは削除されません。

マルチメディア

カメラを利用する

このカメラでできること

INFOBAR A01は有効画素数約805万画素のCMOSカメラを搭載し、フォトやムービーが撮影できます。
電池残量が▣(残量約10%)以下の場合は、カメラを起動できません。また、カメラを使用する前にmicroSDメモリカードをセットしてください。撮影したフォトまたはムービーはすべてmicroSDメモリカードに保存されます。

• 各カメラモード起動中はモバイルライトが赤色で点滅します。

■「Camera」で撮影できるフォトのサイズ

撮影サイズ:横×縦(ドット)	画質	容量(目安)
QVGA:240×320	ハイクオリティ	40KB程度
	ファイン	28KB程度
	ノーマル	14KB程度
VGA:480×640	ハイクオリティ	105KB程度
	ファイン	85KB程度
	ノーマル	65KB程度
QHD:540×960	ハイクオリティ	340KB程度
	ファイン	260KB程度
	ノーマル	150KB程度
2M:1,200×1,600	ハイクオリティ	700KB程度
	ファイン	480KB程度
	ノーマル	270KB程度
フルHD:1,080×1,920	ハイクオリティ	750KB程度
	ファイン	510KB程度
	ノーマル	290KB程度
3M:1,536×2,048	ハイクオリティ	1,140KB程度
	ファイン	770KB程度
	ノーマル	440KB程度
5M:1,944×2,592	ハイクオリティ	1,750KB程度
	ファイン	1,250KB程度
	ノーマル	930KB程度
8M:2,448×3,264	ハイクオリティ	2,770KB程度
	ファイン	1,980KB程度
	ノーマル	1,470KB程度

memo

◎撮影時の環境により、撮影できるサイズは異なります。

■「Video Camera」で録画できるムービーのサイズ

撮影サイズ:横×縦(ドット)	録画可能時間
QVGA:320×240	最大約90分
VGA:640×480	最大約90分
QHD:960×544	最大約45分
HD:1,280×720	最大約45分

memo

◎周囲の温度、録画条件(サイズ、画質など)や、microSDメモリカードの容量により録画可能時間が短くなることがあります。
◎撮影時の環境により、撮影できるサイズは異なります。

■撮影した画像のプリント

microSDメモリカードに保存した画像をプリンターやDPEショップでプリントできます。
INFOBAR A01で撮影した画像はExif Printに対応しています。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- INFOBAR A01を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影したり、保存したりすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「電球」に設定して撮影すると改善されます。
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- INFOBAR A01のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ムービー撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- 標準撮影／接写撮影の切り替えができます。接写固定を設定した場合は、約10cmまで被写体に近付いて撮影できます。また、接写固定を設定したまま通常の撮影は行わないでください。画像がぼやける場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。ムービー録

画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。

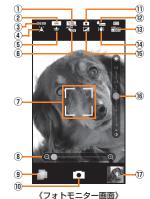
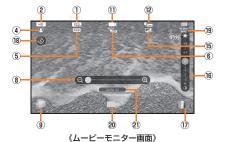
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついたフォトなどになる可能性があります。
- 不安定な場所にINFOBAR A01を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてINFOBAR A01が落下するおそれがあります。
- プレビュー画面の表示、カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様がINFOBAR A01のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- カメラ利用中はベールビューを使用できません。
- 他のアプリケーションを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

カメラ画面の見かた

画面上部をタップすると各種機能アイコンが表示されます。

《フォトモニター画面》

《ムービーモニター画面》

① **シーン設定**※1**：** STD（標準）　（人物（屋外））
（人物（屋内））　（夜景+人物）　（笑顔）　（寝顔）
（カラオケ）　（バースデー）　（スポーツ）
（赤ちゃん）（風景（自然））　（夜景）　（花）
（料理）　abc（テキスト）　（海）　（紅葉）　（雪）
（トワイライト）　（シルエット）　（逆光）
（打ち上げ花火）　（ペット）　SEPIA（セピア）
MONO（モノクロ）

② **撮影サイズ**※2**：** QVGA（QVGA）　VGA（VGA）　QHD（QHD）
HD（HD）　2M（2M）　FULL HD（フルHD）　3M（3M）
5M（5M）　8M（8M）

③ **撮影可能残り枚数／時間**

④ **フォーカス設定：** ※3（顔優先AF）　（標準（人物優先））
（センターAF）　（接写AF）　（接写固定）
AF OFF（AF OFF）

⑤ **ホワイトバランス：** 表示なし／AWB（オート）　（電球）
（蛍光灯）　（太陽光）　（曇り・日陰）

⑥ **自動保存設定：** AUTO ON（ON）　AUTO OFF（OFF）
位置情報（GPS情報）： （取得中）　OK（取得成功）
NG（取得失敗）

⑦ **オートフォーカス枠**

⑧ **ズームバー**
左右にスライドすると表示／設定できます。

⑨ **TapFlow起動**
TapFlow UIを表示します。

⑩ **撮影**

⑪ **カメラモード：** （カメラ）　AUTO（おまかせオートカメラ）
（連写カメラ）　（ビデオカメラ）　（魚眼カメラ）
（ミニチュアライズカメラ）　（自分撮りカメラ）

⑫ **セルフタイマー：** 表示なし（OFF）　10sec（10秒）　5sec（5秒）
2sec（2秒）
モバイルライト： ON（ON）　AUTO（自動）　（接写）
表示なし（OFF）

⑬ **ISO感度：** 表示なし（オート（～200））
ISO AUTO ～1600（オート（～1600））　ISO 100（100）　ISO 200（200）　ISO 400（400）
ISO 800（800）　ISO 1600（1600）　ISO 3200（3200）

⑭ **手ぶれ補正：** （オート）　表示なし（OFF）

⑮ **画質：** （ノーマル）　（ファイン）　HQ（ハイクオリティ）

⑯ **明るさ調整バー**
上下にスライドすると表示／設定できます。

⑰ **直前に撮影したデータ**※4
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとピクチャーでデータを確認できます。

⑱ **モバイルライトON／OFF**

⑲ **映像／音声形式：** H.264 AAC（H.264／AAC）　MPEG4 AMR（MPEG4／AMR）

⑳ **録画／停止**

㉑ **録画時間**

※1「シーン自動検出」に設定している場合は、被写体に合わせて検出したシーンのアイコンに「AUTO」が重なって表示されます。
※2 フォトの撮影サイズが8Mのときにズームを利用すると、ズーム倍率に応じて最適な撮影サイズに変更されます。その際の撮影サイズは 2M ZOOM のように表示されます。
※3「検出設定」が「人物優先」の場合に表示されます。「検出設定」が「ペット優先」の場合は 、「個人／ペット検出OFF」の場合は が表示されます。
※4 カメラを起動した直後、およびフォト撮影で「自動保存設定」が「OFF」の場合は表示されません。

フォトを撮影する

1 iida Home→[Camera]

フォトモニター画面が表示されます。

2 [📷]

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。
「自動保存設定」(▶P.126)を「OFF」に設定している場合は、撮影直後にフォトプレビュー画面が表示されます。撮影したデータの保存などができます。

memo

◎フォトモニター画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。
◎モバイルライトを「ON」に設定するとモバイルライトが点灯し、約3分間経過すると自動的に消灯します。

オートフォーカスロックについて

◎フォトモニター画面でピントを合わせたい場所をタップすると、タップした場所にピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が表示されロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。
◎「チェイスフォーカス」(▶P.125)を「ON」に設定している場合は、オートフォーカス枠を移動して被写体を検出すると、被写体が動いてもオートフォーカス枠が追跡します。
◎「フォーカス設定」が「接写固定」または「AF OFF」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。
◎オートフォーカス枠をタップすると撮影することができます。

フォトプレビュー画面について

① **TapFlow起動**
TapFlow UIを表示します。
② **保存**
撮影したデータを保存します。
③ **キャンセル**
撮影したデータを削除します。

《フォトプレビュー画面》

■フォトプレビュー画面のメニューを利用する

1 フォトプレビュー画面→MENU

2

写真を送る	撮影したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などでの送信や、mixiなどにアップロードができます。
画像を登録	撮影したデータを保存した後、壁紙や電話帳に登録します。
編集	▶P.132「ピクチャーのメニューを利用する」
削除	撮影したデータを削除します。

マルチメディア

ムービーを録画する

1 iida Home→[Video Camera]

ムービーモニター画面が表示されます。

2 [ ]

録画が開始されます。

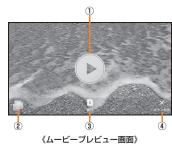
3 [ ]

録画したデータが自動的に保存されます。
「自動保存設定」(▶P. 126)を「OFF」に設定している場合は、録画停止直後にムービープレビュー画面が表示されます。撮影したデータの再生や保存などができます。

memo

◎ ムービーは横表示でのみ録画できます。
◎ 電池残量が (残量約10%)以下になった場合は、自動的に録画が停止・保存します。
◎ 録画中に着信があった場合は、録画を停止・保存して着信画面が表示されます。「自動保存設定」を「OFF」に設定している場合は、録画を停止して着信画面が表示されます。着信終了後または通話終了後は、ムービープレビュー画面が表示されます。
◎ ムービーモニター画面で約3分間何も操作しないと、ビデオカメラが終了します。
◎ モバイルライトを「ON」に設定するとモバイルライトが点灯し、約3分間経過すると自動的に消灯します。

ムービープレビュー画面について

① **撮影したデータを再生します。**
② **TapFlow起動**
TapFlow UIを表示します。
③ **保存**
撮影したデータを保存します。
④ **キャンセル**
撮影したデータを削除します。

《ムービープレビュー画面》

■ムービープレビュー画面のメニューを利用する

1 ムービープレビュー画面→MENU

2

動画を送る	録画したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などでの送信や、YouTubeにアップロードができます。
削除	録画したデータを削除します。

カメラモードを切り替えて撮影する

1 フォトモニター画面／ムービーモニター画面→MENU→[カメラ切り替え]

カメラ切替画面が表示されます。

マルチメディア

2

カメラ	▶P.122「フォトを撮影する」
おまかせオートカメラ※	撮影シーンに応じて最適な設定でフォトを撮影できます。
連写カメラ	▶P.124「連続してフォトを撮影する」
ビデオカメラ	▶P.123「ムービーを録画する」
魚眼カメラ※	画像を半球の形に曲げて、魚眼レンズで撮影したかのようなフォトを撮影します。
ミニチュアライズカメラ※	画像の一部をぼかして、実際の風景をミニチュアで再現したかのようなフォトを撮影します。
自分撮りカメラ	人物の顔を検出すると、自動的にセルフタイマーのカウントダウンが開始され、フォトを撮影できます。

※撮影方法については、「フォトを撮影する」(▶P.122)をご参照ください。

連続してフォトを撮影する

1回の撮影で連続したフォトを撮影できます。

1 カメラ切替画面→[連写カメラ]

連写カメラが起動します。

2 [ ]

「連写種類」の設定に従って撮影が開始されます。
設定した枚数の撮影が完了した後、連続撮影したすべてのフォトのサムネイル表示画面が表示されます。
「連写種類」で「マニュアル」を選択した場合は、設定した枚数に合わせて「 」を連続でタップしてください。
連写中にBACKを押すと撮影を中止します。「連写種類」で「普通」／「マニュアル」を選択した場合は、撮影済みのすべてのフォトのサムネイル表示画面が表示されます。

3 フォトを選択→[保存]

選択したフォトが保存され、まだ保存されていないフォトのサムネイル表示画面に戻ります。
その他の操作については、「フォトプレビュー画面について」(▶P.122)をご参照ください。

連続撮影のサムネイル表示画面でできること

◎「全保存」を選択すると、すべてのフォトが保存されます。MENU→[全件削除]と操作すると、すべてのフォトを削除できます。

モニター画面のメニューを利用する

1 フォトモニター画面／ムービーモニター画面→MENU

2

<table>
<tr><td>カメラ切り替え</td><td colspan="3">▶P.123「カメラモードを切り替えて撮影する」</td></tr>
<tr><td rowspan="5">個人／ペット検出</td><td>顔登録</td><td colspan="2" rowspan="2">▶P.126「人物の顔を登録して活用する」</td></tr>
<tr><td>登録情報編集</td></tr>
<tr><td rowspan="3">検出設定</td><td>人物優先</td><td rowspan="2">優先して検出する対象を設定します。</td></tr>
<tr><td>ペット優先</td></tr>
<tr><td>個人／ペット検出OFF</td><td>個人／ペット検出をOFFにします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">連写種類</td><td>高速</td><td colspan="2" rowspan="2">自動的にフォトを連続して撮影できます。</td></tr>
<tr><td>普通</td></tr>
<tr><td>マニュアル</td><td colspan="2">自分のシャッター操作でフォトを連続して撮影できます。</td></tr>
<tr><td>ベストセレクトフォト</td><td colspan="2">シャッター操作をする直前から連続して撮影できます。</td></tr>
<tr><td>ミニチュア設定</td><td colspan="3">ミニチュアライズカメラで画像のぼかさない部分を設定します。</td></tr>
<tr><td>セルフタイマー</td><td colspan="3">セルフタイマーを設定します。撮影時に設定した秒数が経過した後、撮影を開始します。
• カウントダウン中はモバイルライトが点滅します。
• カウントダウンを中止する場合は、BACKを押します。</td></tr>
</table>

項目		説明
撮影サイズ		撮影サイズを設定します。
撮影サイズ設定		• 撮影できるサイズについては、「このカメラでできること」(▶P.118)をご参照ください。
フォーカス設定	顔優先AF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で、顔を自動的に検出するオートフォーカスに設定します。 • 複数の顔(最大5人)を検出した場合は、オートフォーカス枠をタップして移動できます。 • 顔がフォトモニター画面の端にある場合や撮影状況などにより、顔を検出できない場合があります。
	標準(人物優先)	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	センターAF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写AF	被写体との距離が約10cm～30cmの範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写固定	被写体との距離を約10cmに固定します。
	AF OFF	被写体との距離を無限遠に固定します。
	コンティニュアスAF	常にオートフォーカス枠内にピントを合わせます。
	チェイスフォーカス	被写体をタップすると、被写体が移動してもオートフォーカス枠が自動的に追跡します。
	フォーカスマーク	オートフォーカス枠のデザインを設定します。

項目			説明
シャッター設定	ワンタッチシャッター		モニター画面をタップすることで撮影できるようにするかどうかを設定します。
	笑顔レベル		笑顔フォーカスでシャッターを切るレベルを設定します。 • 笑顔が検出されにくい場合は、笑顔レベルを「レベル3」→「レベル2」→「レベル1(微笑)」に変更してください。
	シャッターモード	ノーマル	シャッター操作をしたときにシャッターを切ります。
		笑顔フォーカス	笑顔を検出すると、自動的にシャッターを切ります(笑顔フォーカスシャッター)。
		振り向き	被写体が振り向いた瞬間を検出すると、自動的にシャッターを切ります(振り向きシャッター)。
	シャッター音		シャッター音を設定します。
ISO感度			フォトの感度を設定します。

各種設定	画質		画質を設定します。
	画質設定		
	ホワイトバランス		被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にした色の調整ができます。
	明るさ調整		明るさを設定します。
	明るさ調整(+2 to -2)		
	手ぶれ補正		手ブレを防いで撮影するかどうかを設定します。
	マイク設定		音声を録音するかどうかを設定します。
	個人検出ON／OFF		個人検出を行うかどうかを設定します。
	映像／音声形式		映像／音声形式を設定します。
ピクチャー	▶P.130「ピクチャーを利用する」		
ダイナミックレンジ補正	撮影したフォトの黒つぶれや白とびを解消します。		
保存設定	自動保存設定		撮影した後に、撮影データを自動的に保存するかどうかを設定します。
	位置情報	位置情報付加	位置情報を画像に記録します。付加の方法を選択できます。
		自動付加設定	撮影時に位置情報を自動的に付加するかどうかを設定します。
シーン設定	選択したシーンに最適なホワイトバランス、明るさなどが設定されます。		
モバイルライト	モバイルライトの動作を設定します。		
ヘルプ	ヘルプを表示します。		
使用履歴リセット	TapFlow UIをお買い上げ時の状態に戻します。		

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

検出設定／笑顔フォーカス／振り向きについて

◎「フォーカス設定」が「顔優先AF」の場合のみ設定できます。

チェイスフォーカスについて

◎被写体の色が薄い場合や背景と被写体が同系色の場合は、正しく検出できないことがあります。

◎被写体の動きが速い場合、追跡できない場合があります。

ワンタッチシャッターについて

◎オートフォーカス枠が表示されているときは、タップした位置にピントを合わせて撮影します。

ISO感度について

◎ISO設定を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

位置情報について

◎位置情報を付加した画像をインターネットにアップロードした場合、撮影した位置が公開されますのでご注意ください。

人物の顔を登録して活用する

あらかじめ人物の顔を登録しておくと、撮影時に顔を検出して情報を表示できます。また、ピクチャーで自動的に分類できるようになります。

■人物の顔を登録する

1 フォトモニター画面→MENU→[個人／ペット検出]→[顔登録]

2 ガイドに被写体の顔を合わせる

顔を検出すると、ガイドが青色に切り替わります。

3 [ ]

4 登録する場所を選択

■ 情報を新規入力して登録する場合

5 [新規に入力]→各項目を入力→[保存]

名前、メモ、顔を検出した場合に表示される文字の色を設定できます。

■ 電話帳の情報を流用して登録する場合

5 [電話帳の情報を参照]→連絡先を選択→[保存]

■ 登録した情報を編集する

1 フォトモニター画面→MENU→[個人／ペット検出]→[登録情報編集]

2 登録した情報を選択

3

優先順位変更	登録した情報の優先順位を変更します。 **変更する情報を移動する位置へドラッグして、指を離す**
編集	選択した情報の登録内容を変更します。 **項目を選択して編集→[保存]**
削除	選択した情報を削除します。

読取カメラを利用する

バーコードリーダーや名刺リーダー、ラクラク瞬漢／瞬英ルーペ、テキストリーダー、お店情報リーダーに切り替えて利用することができます。

1 iida Home→[読取カメラ]

モニター画面が表示されます。

2 ディスプレイを左右にスライドして利用する読取カメラモードに切り替える

[切替]→利用する読取カメラモードを選択と操作しても切り替えることができます。

memo

◎ モニター画面を上下にスライドして明るさを調整することができます。
◎ モニター画面をタップしてフォーカスをロックすることができます。
◎ バーコードが汚れている、かすれている、薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。
◎ 文字列によっては、正しく読み取れない場合があります。

バーコードリーダーでバーコードを読み取る

バーコードを撮影すると、バーコード化された文字などを読み取ることができます。読み取った内容は、ウェブサイト表示や電話帳・メールの作成に利用できます。JANコードとQRコードの読み取りに対応しています。

1 モニター画面で「バーコードリーダー」に切り替える

2 バーコードをディスプレイに表示

カメラをバーコードにかざすと、バーコードを自動的に読み取り、読取結果画面が表示されます。

■ 読取結果画面の操作

読取結果に電話番号やメールアドレスなど、リンクが含まれる文字列を選択すると、内容に応じた処理を行うことができます。

電話帳一括登録	電話帳一括登録機能付きのQRコードを読み取った場合、読み取られた情報を一括して電話帳に登録します。
メール作成	メール作成機能付きのQRコードを読み取った場合、宛先、本文、件名が自動的に入力されたメール作成画面を表示します。
ブックマークに登録	ブックマーク登録機能付きのQRコードを読み取った場合、ブックマークに登録できます。
検索	読取結果からウェブサイトの情報を検索します。

■ リンクを利用する場合

1 読取結果画面→リンクを選択

URLを選択した場合はブラウザを起動して、選択したURLのサイトを表示します。

2

電話発信	電話番号入力画面を表示します。
メール作成	メールアドレスにメールを送信します。
電話帳に登録	電話番号/メールアドレスを電話帳に登録します。

名刺リーダーで名刺を読み取る

読み取った名刺を、電話帳に登録、あるいはコピーしてメモ帳などで利用することができます。

1 モニター画面で「名刺リーダー」に切り替える

2 名刺をディスプレイに表示→[読取]→[認識]

読取結果画面が表示されます。
読み取った文字を自動的に判別し、項目ごとに整理して表示します。

3 [登録]

読み取った名刺画像がmicroSDメモリカードに保存されます。
アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

4 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大/縮小できます。

5 [保存]

読み取った項目とトリミングされた画像が入力された電話帳登録画面が表示されます。

ラクラク瞬漢/瞬英ルーペで漢字や英単語の読みかたや意味を調べる

漢字や英単語を読み取り、読みかたや意味をディスプレイに表示します。また、読み取った文字を辞書で検索することもできます。

- ラクラク瞬漢/瞬英ルーペで表示される読みかたや意味は「明鏡国語辞典MX」©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009「ジーニアス英和辞典MX」©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009をもとに表示しています。

1 モニター画面で「ラクラク瞬漢/瞬英ルーペ」に切り替える

2 漢字や英単語をルーペ枠内に表示

読取結果と読みかたや意味が吹き出しで表示されます。
読みかたや意味は2個まで表示されます。3個以上ある場合は [その他etc] が表示されます。
読取結果は保存できません。

3 [選択]

4

検索	読取結果からウェブサイトの情報を検索します。
辞書	読み取った文字を辞書で検索して、検索結果が表示されます。

テキストリーダーで文字を読み取る

紙などに印刷されている文字列を読み取って、メモ帳に登録します。最大256文字まで読み取ることができます。

1 モニター画面で「テキストリーダー」に切り替える

2 文字列をディスプレイに表示→[撮影]

3 読み取る行を[▼]／[▲]で選択→[読取]

枠で囲まれた行が読み取られ、読取結果(モード種別)画面が表示されます。

4 [決定]

読取結果画面が表示されます。

5 [メモ帳登録]

読取モードによっては、読み取った文字列をタップすると、文字列の種類に応じてアプリケーションが起動します。

6 [登録]

「文字コード」を選択すると文字コードを変更できます。

■読取モードを切り替える

読み取る文字列の種類に応じてモードを切り替えることができます。

1 読取結果(モード種別)画面→MENU →[単語]／[URL]／[メールアドレス]／[電話番号]

読み取った文字列を、選択した種類の情報として取り込みます。

memo

◎一部の文字列は読取結果表示の際に除去される場合があります。

お店情報リーダーで情報を読み取る

雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録、あるいはコピーしてメモ帳などで利用することができます。

1 モニター画面で「お店情報リーダー」に切り替える

2 情報をディスプレイに表示→[読取]→[認識]

読取結果画面が表示されます。
読み取った文字を自動的に判別し、項目ごとに整理して表示します。

3 [登録]

読み取った画像がmicroSDメモリカードに保存されます。
アカウントを設定している場合、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

4 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大／縮小できます。

5 [保存]

読み取った項目とトリミングされた画像が入力された電話帳登録画面が表示されます。

読取カメラのメニューを利用する

■ モニター画面の場合

1 モニター画面→MENU

2

明るさ調整	明るさを設定します。	
モバイルライト	モバイルライトの点灯/消灯を切り替えます。	
フォーカス設定	標準AF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写AF	被写体との距離が約10cm～30cmの範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
読取データ確認	「読取データ登録」で登録した読取結果を確認できます。	
ヘルプ	ヘルプを表示します。	

■ 読取結果画面の場合

1 読取結果画面→MENU

2

読取データ登録	読取結果を登録します。 • 読取データは、最大10件まで登録できます。 • 登録したデータは「読取データ確認」で確認できます。
続き読取	文字列を再度読み取り、すでに読み取った文字列の続きに追加します。
追加読取	文字列を再度読み取り、すでに読み取った文字列の下に改行して追加します。
辞書検索	読み取った文字列を辞書で検索できます。
編集	文字列を編集します。
全コピー	読取結果をコピーします。
メモ帳登録	読取結果をメモ帳に登録します。

ピクチャーを利用する

画像や動画を人物ごと、イベントごと、場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 iida Home→[ピクチャー]

ピクチャー画面が表示されます。

① **カテゴリ区分**

② **フォルダ/カテゴリ一覧**

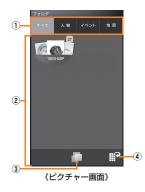
③ **TapFlow起動**

TapFlow UIを表示します。

④ **表示切替**

カテゴリ区分が「すべて」の場合にフォルダ一覧表示とサムネイル表示を切り替えます。

サムネイル表示の場合は、画像/動画をサムネイル表示します。

《ピクチャー画面》

2 カテゴリ区分を選択

■ カテゴリ区分が「すべて」の場合

3 フォルダを選択

フォルダ内の画像/動画をサムネイル表示します。

4 画像/動画を選択

画像/動画が表示されます。

マルチメディア

■ カテゴリ区分が「人物」/「イベント」/「地図」の場合

3 カテゴリを選択

各カテゴリの画像/動画をサムネイル表示します。

4 画像/動画を選択

画像/動画が表示されます。

memo

◎ 画像/動画がサムネイル表示されている場合、「 」をタップするとスライドショーで再生できます。

■ ファイル表示時のご注意

ファイルが表示されない場合は、ピクチャーのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。microSDメモリカードをセットしたINFOBAR A01とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続して、microSDメモリカード内の「¥PRIVATE¥SHARP¥PM」の「DATABASE」フォルダを削除してからご使用ください。

memo

◎ データベースファイルを削除した場合、作成された人物などの情報も削除されます。十分にご確認のうえ、操作してください。

データを振り分ける

人物ごとに振り分ける

画像や動画を人物ごとに分類して整理できます。

1 ピクチャー画面→[人物]

2 [新規作成]→カテゴリにするデータを選択

3 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動→[決定]

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大/縮小できます。

4 [人物名を入力する]→人物名を入力→[OK]

「電話帳から名前を設定する」をタップすると、電話帳に登録されている連絡先の名前を選択して設定できます。

5 分類するデータをロングタッチ→登録するカテゴリにドラッグして、指を離す

6 [人物登録を終了する]

イベントごとに振り分ける

画像や動画をイベントごとに分類して整理できます。

1 ピクチャー画面→[イベント]

2 MENU→[イベント新規作成]→カテゴリにするデータを選択

3 [イベント名を入力する]→イベント名を入力→[OK]

「日付を入力する」をタップすると、日付をイベント名として設定できます。

4 分類するデータをロングタッチ→登録するカテゴリにドラッグして、指を離す

5 [イベント登録の設定を終了する]

場所ごとに振り分ける

画像や動画を場所ごとに分類して整理できます。
位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 **ピクチャー画面→[地図]**

2 MENU→**[場所未設定一覧]**

位置情報の付加されていないデータの一覧が表示されます。

3 MENU→**[場所設定]**

地図が表示されます。

4 **分類するデータをロングタッチ→登録する位置にドラッグして、指を離す→[OK]**

地図上にタグが追加されます。
設定済みのタグの吹き出しにドラッグすると同じ場所に振り分けることができます。

5 **[場所の設定を終了する]**

ピクチャーのメニューを利用する

1 **ピクチャー画面／1件表示画面→**MENU

2

スライドショー	スライドショーで再生します。 • 再生中に画面をタップすると、スライドショーが停止します。	
スライドショー設定	表示間隔設定	スライドショーの画像切替時間の間隔を設定します。
	表示効果設定	スライドショーの画像切替時の動作を設定します。
	リピート設定	スライドショー表示を繰り返すかどうかを設定します。
	シャッフル設定	スライドショーをランダムで表示するかどうかを設定します。
検索	フォルダ検索	検索条件を選択して画像／動画を検索します。 • 撮影シーン検索では、「シーン設定」を「シーン自動検出」に設定して撮影した際に、検出されたシーンで検索します。 • 撮影モード検索では、「シーン設定」で設定したシーンで検索します。 • 一度検索を実行すると、検索条件の一番上に前回の検索条件が★付きで表示されるようになります。選択すると前回の検索条件で画像／動画を検索します。
	人物検索	
	イベント検索	
	日付検索	
	撮影シーン検索	
	撮影モード検索	
	撮影カメラ検索	
	場所検索	
サムネイル表示	サムネイル表示の方法を設定します。	
人物振り分け	人物ごとに振り分けることができます。 • 振り分け方法は、「人物ごとに振り分ける」(▶P.131)をご参照ください。	
人物名変更	登録済みの人物名を変更できます。 **人物名を入力→[OK]**	
顔写真変更	登録済みの人物の画像を変更できます。 **画像を選択→[決定]**	
イベント新規作成	▶P.131「イベントごとに振り分ける」	
イベント振り分け	イベントごとに振り分けることができます。 • 振り分け方法は、「イベントごとに振り分ける」(▶P.131)をご参照ください。	
イベント名変更	登録済みのイベント名を変更できます。 **イベント名を入力→[OK]**	

項目		説明
場所未設定一覧	▶P.132「場所ごとに振り分ける」	
場所設定		
画像編集※	顔かくし	画像に写っている顔をプライバシー保護加工します。
	プチエステ	画像に写っている顔を加工します。
	落書き	画像にフリーハンドで描画できます。
	スタンプ	画像スタンプを貼り付けます。
	日付スタンプ	日付スタンプを付加します。
	ショットメモ	ホワイトボードなどを斜めから撮影した画像を、正面から撮影したように補正します。
	文字スタンプ	文字をスタンプ入力します。
	画像補正	色合いを補正します。
	画像エフェクト	特殊効果を適用します。 • 「フレーム」を選択するとフレームを選択できます。 **フレームを選択**：画像をタップ
	回転	画像を回転します。
	リサイズ	画像をリサイズします。
テレビで表示	DLNA対応のテレビなどで表示します。	
テレビで再生	DLNA対応のテレビなどで再生します。	
写真を送る	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などでの送信や、mixiなどにアップロードができます。	
動画を送る		
画像を登録	選択したデータを壁紙や電話帳に登録します。	
並べ替え	データの表示位置を変更します。	
カメラ起動	▶P.122「フォトを撮影する」	
ビデオカメラ起動	▶P.123「ムービーを録画する」	
プロパティ	データのプロパティを表示します。	

項目			説明
選択削除	フォルダ／データを削除します。		
削除			
ネットワーク画像の同期	アカウント設定	アカウント設定	同期するアカウントを設定します。
		Picasa画像表示	Picasaにアップロードしている画像を表示するかどうかを設定します。 • 画像のサムネイルに が表示されます。
		mixi画像表示	mixiにアップロードしている画像を表示するかどうかを設定します。 • 画像のサムネイルに が表示されます。
	Picasa画像を同期	Picasaにアップロードしている画像と同期します。	
	mixi画像を同期	mixiにアップロードしている画像と同期します。	
以前の端末データから再作成	以前使用していたau電話などのピクチャーのデータベースを再作成して、INFOBAR A01で利用できるようにします。		
メモリ使用状況	microSDと端末容量の設定画面が表示されます。 ▶P.201「microSDメモリカードと端末容量の設定をする」		
使用履歴リセット	TapFlow UIをお買い上げ時の状態に戻します。		

※画像サイズによっては、選択できない項目があります。

Photoを利用する

PhotoではmicroSDメモリカードに保存した画像の一覧表示や編集などの操作ができます。

1 iida Home→[Photo]

アルバム選択画面が表示されます。
「📷」をタップするとカメラが起動します。

2 アルバムを選択

サムネイル表示画面が表示されます。
「◈」をタップすると、アルバム選択画面に戻ります。
「⊂⊃」をタップすると、画像の日付表示／サムネイル表示を切り替えることができます。
「◁ ▷」を左右にスライドすると、サムネイルがスライドします。

3 画像を選択

画像を選択した場合は、画像1件表示画面が表示されます。

■ 画像1件表示画面の操作

画像をタップ：拡大／縮小アイコン、「ホームに貼り付け」「メニュー」を表示／非表示

データをiida Homeに貼り付ける

画像をiida Homeに貼り付けることができます。

1 画像1件表示画面→[ホームに貼り付け]

サイズと位置調整画面が表示されます。

2 表示サイズをタップ→表示サイズを選択

3 表示する位置を調整→[OK]

画像をスライドすると、位置を調整できます。

Photoのメニューを利用する

アルバム選択画面／サムネイル表示画面のメニューを利用する

1 アルバム選択画面／サムネイル表示画面でデータをロングタッチ

「全件選択」をタップするとすべてのデータを選択します。「全件解除」をタップすると選択しているデータをすべて解除します。

2

削除	データを削除します。	
その他	詳細情報	データの詳細情報を表示します。
	地図に表示	付加されている位置情報を地図上に表示します。
	登録	画像を電話帳や壁紙に登録します。
	トリミング	画像をトリミングします。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。

画像1件表示画面のメニューを利用する

1 画像1件表示画面→MENU

2

共有	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などでの送信や、mixiなどにアップロードができます。	
削除	データを削除します。	
その他	詳細情報	データの詳細情報を表示します。
	地図に表示	付加されている位置情報を地図上に表示します。
	登録	画像を電話帳や壁紙に登録します。
	トリミング	画像をトリミングします。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。

コンテンツマネージャーを利用する

コンテンツマネージャーは、microSDメモリカード内のデータを分類して一覧表示し、再生／表示、確認、管理を行うことができます。

コンテンツマネージャーを起動する

1 iida Home→[コンテンツマネージャー]

コンテンツ表示画面が表示されます。

① **タイトルエリア**
選択中のカテゴリ名や、保存場所を表示します。

② **コンテンツ表示エリア**
データの一覧を表示します。

③ **カテゴリ**
タップすると、選択したカテゴリのデータをコンテンツ表示エリアに表示します。

④ **検索アイコン**
データの検索条件を設定します。

⑤ **サムネイル**
データのサムネイルを表示します。サムネイルが表示できない場合はデータ種別のアイコンを表示します。

⑥ **ファイル名**
タイトル情報を持つデータの場合は、タイトル名を表示します。テレビ番組の録画データの場合は番組名を表示します。

《コンテンツ表示画面（グリッド表示）》

データを検索する

カテゴリキーと検索条件を指定して検索します。

■カテゴリで探す

カテゴリキーでデータを分類･表示できます。

カテゴリ	表示データ
Photo	内蔵のカメラで撮影したフォト、デコレーション絵文字、その他の画像を表示します。
Movie	内蔵のビデオカメラで録画したデータ、その他の動画を表示します。
Music	内蔵のボイスレコーダーで録音したボイスデータ、音楽、効果音（サウンド）を表示します。
TV／SD-Video	ワンセグ録画データやレコーダー連携のデータなどの録画データを表示します。
Doc.	Officeのデータおよびテキストデータを表示します。
Others	上記以外のデータを表示します。

memo

◎コンテンツマネージャーで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。

■検索条件で探す

カテゴリを選択してから🔍を押すと、次の検索条件で目的のデータを検索します。

検索条件	検索内容
絞り込み表示しない	カテゴリ内のすべてのデータを表示します。
タイトルで絞り込む	タイトル名／アーティスト名などで検索する場合に利用します。検索文字列は、文字入力欄をタップして、全角／半角50文字まで入力できます。 • 検索文字列に「絵文字」「デコレーション絵文字」「改行」は入力できません。
最近1週間のファイル	最近1週間以内に作成されたデータを表示します。
保存時期で絞り込む	検索する範囲を開始年月日と終了年月日で指定できます。 **開始年月日／終了年月日を指定→[設定]**
デジタルカメラ画像	拡張子が「.jpg」「.jpeg」でExif形式のデータ
D絵文字	拡張子が「.jpg」「.jpeg」「.gif」で画像サイズが20×20（縦×横）のデータ

データを再生／表示する

1 コンテンツ表示画面でデータを選択

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが再生／表示されます。
コンテンツ表示画面からの再生／表示にかかわらず、再生／表示するアプリケーションが複数存在する場合、アプリケーション選択画面が表示される場合があります。アプリケーションを選択すると再生／表示されます。

memo

◎ が表示されているデータは、再生できません。

再生するアプリケーションを変更する

1 コンテンツ表示画面でデータをロングタッチ→[再生プレーヤー変更]→アプリケーションを選択→[OK]

コンテンツ表示画面のメニューを利用する

コンテンツマネージャー上で、データの送信やアップロード、編集や削除などさまざまな操作ができます。

■オプションメニューの場合

1 コンテンツ表示画面→MENU

2

選択削除	データを削除します。 **データを選択→[決定]→[はい]** •「全件チェック」／「全件解除」をタップすると、全件選択／解除することができます。
再生プレーヤー一覧表示	ファイル形式と関連付けされているアプリケーションの種類を表示します。
グリッド／リスト切り替え	コンテンツ表示エリアの表示方法を切り替えます。
ソート	保存されているデータの並び順を変更します。
スライドショー	▶P.132「ピクチャーのメニューを利用する」
microSDと端末容量	▶P.201「microSDメモリカードと端末容量の設定をする」
アプリケーション設定	▶P.137「コンテンツマネージャーを設定する」
スライドショー設定	▶P.132「ピクチャーのメニューを利用する」

■ コンテキストメニューの場合

1 コンテンツ表示画面でデータをロングタッチ

2

メールへ添付	選択したデータを添付してメール作成します。
共有	選択したデータをBluetooth®や赤外線、メール添付などでの送信や、mixiなどにアップロードができます。
画像編集	▶P.132「ピクチャーのメニューを利用する」
削除	選択したデータを削除します。
登録	▶P.137「データを他のアプリケーションに登録する」
再生プレーヤー変更	▶P.136「再生するアプリケーションを変更する」
テレビで表示	DLNA対応のテレビなどで表示します。
テレビで再生	DLNA対応のテレビなどで再生します。
再生	選択したデータを再生します。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

データを他のアプリケーションに登録する

コンテンツマネージャーからフォトデータやミュージックデータを着信画像や着信音に登録できます。

■ フォトを登録する場合

1 コンテンツ表示画面でフォトデータをロングタッチ

2 ［登録］

3

通話中背景画像	選択したフォトを通話中背景画像に設定します。
メール送信中画像	選択したフォトをメール送信中画像に設定します。
メール受信中画像	選択したフォトをメール受信中画像に設定します。

■ ミュージックを登録する場合

1 コンテンツ表示画面でミュージックデータをロングタッチ

2 ［登録］

3

音声着信音	選択したミュージックを音声着信音に設定します。
メール受信音	選択したミュージックをメール受信音に設定します。
通知音	選択したミュージックを通知音に設定します。

memo

◎ 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

コンテンツマネージャーを設定する

あらかじめコンテンツ表示画面での検索条件の有効範囲などを設定することができます。

1 コンテンツ表示画面→MENU→［アプリケーション設定］

2

検索条件設定	検索条件の対象範囲設定	各検索条件での検索対象範囲を設定します。
	ソートの対象範囲設定	
	検索条件の保存設定	検索条件を保存するかどうかを設定します。
設定を初期値に戻す	設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。	
情報更新	microSDメモリカードの情報を更新します。	

LISMOを利用する

LISMOのメニューから、LISMOでダウンロードした曲や音楽CDから読み込んだデータなどの楽曲を再生して楽しむことができます。
INFOBAR A01にあらかじめ用意されているLISMOは、au one MarketからLISMOをダウンロードするためのショートカットアプリです。LISMOを利用するには、アプリケーションのダウンロードが必要です。

memo

◎ LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDの曲などを転送することができます。
LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。

1 iida Home→[LISMO]

LISMOメニューが表示されます。
初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「閉じる」を選択してください。
サービス利用確認設定画面が表示されます。「はい」／「いいえ」を選択してください。

2

LISMO Player	microSDメモリカード内に保存されている曲を再生します。
うたとも®	新しい音楽や仲間との出会いが広がる音楽コミュニティです。レビューの公開やユーザー同士のコミュニケーションも楽しめます。 • 別途アプリケーションのダウンロードが必要です。
検索&音楽情報	最新の楽曲の詳細情報やアーティストのインタビューの閲覧や目的の楽曲を検索、試聴、購入ができます。

memo

◎ 楽曲情報を持っていない曲がある場合、LISMOメニューを起動したときに楽曲情報を取得します。楽曲情報取得機能には音楽認識サービスを利用しています。
◎ 通信できない環境・設定においては楽曲情報取得機能は利用できません。また、曲によっては楽曲情報取得ができないものもあります。

ワンセグ

ワンセグでできること

■テレビ(ワンセグ)を見る

日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスを見ることができます。

■データ放送を見る

テレビ(ワンセグ)では、放送番組に関連した情報などをお知らせするデータ放送を見ることができます。

■テレビ番組を録画・再生する

視聴中のテレビ番組を録画できます。また、時間と放送局などを指定して予約録画することができます。録画データは、録画番組一覧画面(▶P.148)またはコンテンツマネージャーで、microSDメモリカードから検索して再生できます。

ワンセグをご利用になる前に

■テレビ(ワンセグ)利用時のご注意

- テレビ(ワンセグ)の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- テレビ(ワンセグ)は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送、BSアナログ放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、INFOBAR A01が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスについて

「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

■電池残量による動作

- ワンセグ起動中に電池残量が ▣ (残量約10%)以下になると、自動的にワンセグが終了します。テレビ番組を録画中の場合は、それまでに録画した内容を保存し、ワンセグが終了します。

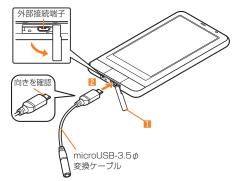
■連続視聴可能時間について

テレビ(ワンセグ)	約4時間40分

※使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

テレビアンテナについて

INFOBAR A01にはテレビアンテナが内蔵されていません。ワンセグを起動して視聴エリアを設定する場合やワンセグを視聴／録画する場合は、テレビアンテナを兼用したmicroUSB-3.5φ変換ケーブルを接続してください。
microUSB-3.5φ変換ケーブルは、なるべくまっすぐ伸ばしてご利用ください。また、INFOBAR A01を受信感度の良い方向に向けてお使いください。
なお、充電用機器とは併用できませんので、ワンセグを視聴／録画する際は十分充電したうえでご利用ください。

1 INFOBAR A01の外部接続端子カバーを開ける

2 INFOBAR A01にmicroUSB-3.5φ変換ケーブルを接続

3 視聴が終わったら、INFOBAR A01からmicroUSB-3.5φ変換ケーブルをまっすぐ引き抜く

4 INFOBAR A01の外部接続端子カバーを閉じる

memo

◎イヤホンを接続していない場合、microUSB-3.5φ変換ケーブル接続中も音声はスピーカーから出力されます。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車･車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビ（ワンセグ）を見ることができます。

1 iida Home→[ワンセグ]→[OK]→[はい]

2 エリアを選択

3 都道府県を選択

4 地域を選択

放送局の検索が開始されます。

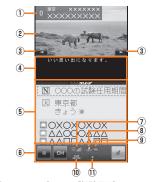
5 [OK]

ワンセグメニュー画面が表示されます。

テレビ(ワンセグ)を見る

1 ワンセグメニュー画面→[ワンセグテレビ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。
microUSB-3.5φ変換ケーブルについての確認画面が表示された場合は、「OK」を選択するとワンセグ視聴画面が表示されます。

① **番組情報**
② **映像**
③ **操作キー**
④ **字幕**
⑤ **データ放送**
⑥ **ワンセグ操作パネル／データ放送操作パネル**
⑦ **電波強度**
⑧ **データ放送ロック表示**
データ放送で、データ放送ロックコンテンツを表示していることを示します。
⑨ **SSL表示**
データ放送で、高度なセキュリティで保護されているページを表示していることを示します。
⑩ **複数サービス表示**
受信中のチャンネル内に別のサービス(番組)が放送されている場合に表示されます。
⑪ **音声言語**

《ワンセグ視聴画面》

memo

◎ワンセグを起動したときやチャンネルを切り替えたときに、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎ワンセグ起動中はカメラを使用できません。

ワンセグ視聴画面の操作

■縦表示時の操作

映像を左右にスライド／フリック：チャンネルの切り替え
映像をタップ：番組情報、操作キーを表示／非表示
映像をダブルタップ：画面サイズの切り替え
映像をロングタッチ：チャンネル一覧を表示
番組情報をタップ：番組名を表示

操作キー

CH◀／CH▶：チャンネルの切り替え、ロングタッチでチャンネル検索

ワンセグ操作パネル

●／■：録画を開始／停止
CH：チャンネル一覧を表示
d：データ放送操作パネルを表示

データ放送操作パネル

△／▽：カーソル移動
✓：項目の選択
←：前ページに戻る
TV：ワンセグ操作パネルを表示

ワンセグ

■ 横表示時の操作

映像を左右にスライド／フリック：チャンネルの切り替え
映像をタップ：番組情報、操作パネルを表示／非表示
映像をロングタッチ：チャンネル一覧を表示
番組情報をタップ：番組名を表示

ワンセグ操作パネル

CH◀／CH▶：チャンネルの切り替え、ロングタッチでチャンネル検索
●／■：録画を開始／停止
▦：番組表を表示
CH：チャンネル一覧を表示

■ チャンネル一覧表示時の操作

放送局名を選択：選択した放送局に切り替え
放送局をロングタッチ→［チャンネル上書き登録］→［はい］：選択したリモコン番号に視聴中の放送局を設定
放送局をロングタッチ→［チャンネル削除］→［はい］：選択したリモコン番号から放送局の設定を削除
未設定のリモコン番号をロングタッチ：選択したリモコン番号に視聴中の放送局を設定

■ ワンセグ視聴画面のメニューを利用する

1 ワンセグ視聴画面→MENU

2

番組操作	番組表	▶P.145「番組表を利用する」
	番組情報	番組情報を確認できます。 • 番組を選択すると番組情報詳細を表示します。 • 番組をロングタッチ→［録画予約］／［視聴予約］と操作すると、テレビ番組の録画予約／視聴予約ができます。 • MENU→［予約リスト］と操作すると、録画／視聴予約の内容を確認できます。 • MENU→［microSD残量］と操作すると、microSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。
録画操作	録画／視聴予約	▶P.146「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
	録画開始／録画停止	▶P.147「テレビ番組を録画する」
テレビ終了	テレビ（ワンセグ）を終了します。	
Bluetoothオーディオ接続／Bluetoothオーディオ切断	Bluetooth®機器と接続／切断します。	
字幕／音声設定	字幕表示	字幕の表示方法を設定します。
	字幕位置	字幕の表示位置を設定します。
	字幕言語	字幕の言語を設定します。
	音声切替	音声の出力種別を設定します。
	音声言語	音声の言語を設定します。

チャンネル設定	エリア切替	▶P.150「エリアを設定する」
	チャンネル切替	チャンネルを切り替えます。
	チャンネル保存	視聴中のチャンネルを任意のリモコン番号に登録できます。
	サービス選局	受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。
AV設定	▶P.144「画面サイズや映像・サウンドを設定する」	
データ放送設定	データ放送全画面表示	データ放送を全画面で表示します。
	データ放送トップに戻る	データ放送のトップページに戻ります。
	通信接続時確認設定	▶P.150「ワンセグの設定をする」
	位置情報利用設定	
	製造番号利用設定	
	放送局メモリ削除	
テレビリンク	▶P.145「テレビリンクを利用する」	

■画面サイズや映像・サウンドを設定する

1 ワンセグ視聴画面→MENU→[AV設定]

2

AVポジション	映像・音質を設定します。	
映像設定	明るさ	画面の明るさを設定します。 • 「自動」に設定すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
	シーン別明るさコントロール	映像(シーン)に応じて画面の明るさを自動的に調整するかどうかを設定します。
	コントラスト	コントラストを設定します。
	黒レベル	画面の見やすい明るさを設定します。
	色の濃さ	色の鮮やかさを設定します。
	色あい	肌色の見栄えを設定します。
	シャープネス	輪郭の強弱を設定します。
	リセット	映像設定をお買い上げ時の状態に戻します。
サウンド設定	音質を設定します。	
画面サイズ設定	画面サイズを設定します。	
なめらかフレーム補間	なめらかフレーム補間を利用するかどうかを設定します。	

BGM再生する

ワンセグ起動中にHOMEを押して別の機能を起動すると、テレビ(ワンセグ)の音声をBGMとして聴くことができます。BGM再生中は、ステータスバーにが表示されたままとなります。ステータスバーをタップし、「通知を消去」を選択するとは消えますが、BGM再生は継続します。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

■データ放送のメニューを利用する

1 データ放送をロングタッチ

2

データ放送全画面表示／テレビ画面表示	データ放送の表示方法を切り替えます。
データ放送トップに戻る	データ放送のトップページを表示します。

memo

◎データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクをINFOBAR A01に登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 ワンセグ視聴画面で登録するテレビリンクを選択

テレビリンクを表示する

1 ワンセグメニュー画面→[テレビリンク]

テレビリンクリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクを選択

■リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合

3 [はい]

登録されたサイトに接続します。

テレビリンクリスト画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 テレビリンクリスト画面→MENU

2

全件削除	テレビリンクをすべて削除します。

■コンテキストメニューの場合

1 テレビリンクリスト画面→テレビリンクをロングタッチ

2

削除	テレビリンクを削除します。
プロパティ	選択したテレビリンクのプロパティを表示します。

番組表を利用する

Gガイド番組表を利用できます。番組表からワンセグ視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。

- 視聴や予約ができるのは地上デジタル放送の番組のみです。

1 ワンセグメニュー画面→[番組表]

番組表画面が表示されます。

iida Home→[Gガイド番組表]でも同様に操作できます。

番組表を初めて起動したときは、視聴する地域を設定する画面が表示されます。画面に従って操作してください。

2 番組を選択

番組詳細画面が表示されます。

3

ワンセグ起動	選択した番組のチャンネルでワンセグ視聴画面が表示されます。 ▶P.142「テレビ(ワンセグ)を見る」
ワンセグ視聴予約	▶P.146「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
ワンセグ録画予約	

番組表のメニューを利用する

1 番組表画面／番組詳細画面→MENU

2

日付変更	番組表を表示する日付を変更します。	
エリア設定	番組表を表示する地域を設定します。	
手動更新	番組表を更新します。	
検索	設定した地域の番組表から番組を検索します。	
予約一覧	録画／視聴予約画面が表示されます。 ▶P.146「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」	
設定	視聴チャンネル設定	番組表に表示するチャンネルを設定します。
	番組詳細情報を表示する	番組表に番組詳細情報を表示させるかどうかを設定します。
	ヘルプ	番組表のヘルプが掲載されているサイトへ接続します。

◎番組表のメニューでは、上記以外にバージョン情報の確認ができます。

テレビ番組を視聴予約／録画予約する

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 ワンセグメニュー画面→[録画／視聴予約]

録画／視聴予約画面が表示されます。

2 MENU→[新規予約]→[手動で設定]→[視聴予約]／[録画予約]

3

予約種別	予約種別を設定します。
チャンネル	チャンネルを設定します。
開始日時	開始時刻を設定します。
終了日時	終了時刻を設定します。
番組名	番組名を登録します。
リピート	予約の繰り返しを設定します。

4 [保存]

設定した予約が表示されます。
予約をタップすると、予約内容を確認できます。

■視聴予約した時刻になると

「アラーム 通知時間」(▶P.150)で設定したタイミングになると、ワンセグが自動的に起動し、予約した番組を視聴できます。

■録画予約した時刻になると

「アラーム 通知時間」(▶P.150)で設定したタイミングになると、ステータスバーにお知らせが表示されます。設定した時刻になると録画を開始します。

◎終了日時になると、ワンセグは自動的に終了します。

録画／視聴予約画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 録画／視聴予約画面→

2

新規予約	番組表から	▶P.145「番組表を利用する」
	手動で設定	▶P.146「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」
予約お知らせ設定	▶P.150「ワンセグの設定をする」	
microSD残量	microSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。	
予約結果	予約結果確認画面が表示され、すでに終了した予約内容を確認できます。 • 予約結果を選択すると予約結果詳細を表示します。 • 予約結果をロングタッチ→［削除］／［再生］で予約結果の削除や録画したファイルの再生ができます。	

■ コンテキストメニューの場合

1 録画／視聴予約画面→予約をロングタッチ

2

編集	選択した予約内容を編集します。
削除	選択した予約を削除します。

テレビ番組を録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送をmicroSDメモリカードに録画します。

1 ワンセグ視聴画面→［ ］

画面左上に「●」が表示され、録画が開始されます。

2 ［ ］

録画が停止します。

memo

◎ 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。

◎ 録画保存できる最大ファイルサイズは約2GB、連続録画可能時間は約10時間です。
録画予約は23時間59分まで可能ですが、ファイルサイズが約2GBもしくは連続録画時間が約10時間になると録画は停止します。
なお、電波状態の変化によって録画と一時停止が繰り返された結果、録画開始日時から約10時間が経過しても録画が継続される場合があります。このとき、ファイルサイズが約2GBに満たない状態であっても、録画開始日時の約24時間後には録画が停止します。

◎ 保存できる件数は、ブルーレイディスクレコーダーから転送されたデータと合わせて99件までです。

◎ 録画中に、他の機能からmicroSDメモリカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。

◎ 録画中は、チャンネルの切り替えはできません。

◎ 録画中に別の機能を利用したり、ワンセグを終了したりしても録画は継続されます（バックグラウンド録画）。

◎ ワンセグのバックグラウンド録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。

◎ 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

◎ INFOBAR A01で保存された動画は、他の機器で再生できない場合や、ファイル名などの情報が異なって表示される場合があります。

◎ ダビング10に対応していません。

コピー制御について

デジタル放送で視聴・録画できる番組には、次のコピー制御信号が含まれています。

「コピー可能」「ダビング10」「1回だけコピー可能」の番組	録画できます。
「コピー禁止」の番組	録画はできません。視聴のみ可能です。

memo

◎録画中にコピー制御信号が変更される場合があります。「コピー禁止」の番組に変更された場合は、それまでに録画したデータを保存して、録画を中止します。

録画したテレビ番組を再生する

1 ワンセグメニュー画面→[ワンセグ録画再生]

録画番組一覧画面が表示されます。

2 番組を選択

ワンセグ録画再生画面が表示され、再生が開始されます。

① 番組情報
② 映像
③ 操作キー
④ 字幕
⑤ データ放送
⑥ 再生位置
⑦ ワンセグ録画再生画面操作パネル／データ放送操作パネル
⑧ 現在の再生時間
⑨ 総再生時間
⑩ データ放送ロック表示
データ放送で、データ放送ロックコンテンツを表示していることを示します。
⑪ 音声言語
⑫ SSL表示
データ放送で、高度なセキュリティで保護されているページを表示していることを示します。

《ワンセグ録画再生画面》

■ 録画番組一覧画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 録画番組一覧画面→MENU

2

再生モード	再生方法を切り替えます。
microSD残量	microSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。
削除	録画ファイルを削除します。
全件削除	

■ コンテキストメニューの場合

1 録画番組一覧画面で録画番組をロングタッチ

2

ファイル名変更	録画ファイル名を変更します。
プロパティ	選択した録画ファイルのプロパティを表示します。
削除	録画ファイルを削除します。

ワンセグ

ワンセグ録画再生画面の操作

■縦表示時の操作

映像をタップ：番組情報、操作キーを表示／非表示
映像をダブルタップ：画面サイズの切り替え

操作キー

※1／※1：巻き戻し／早送り
※2／※2：コマ戻し／コマ送り

※1 タップするたびに、巻き戻し／早送りの速度が速くなります。
※2 一時停止時に表示されます。

ワンセグ録画再生操作パネル

：一時停止
：停止
：データ放送操作パネルを表示
：再生

データ放送操作パネル

／：カーソル移動
：項目の選択
：前ページに戻る
：ワンセグ録画再生操作パネルを表示

■横表示時の操作

映像をタップ：番組情報、操作キー、操作パネルを表示／非表示

操作キー

／：前後にスキップ

ワンセグ録画再生操作パネル

：一時停止
：停止
※1／※1：巻き戻し／早送り
：再生
※2／※2：コマ戻し／コマ送り

※1 タップするたびに、巻き戻し／早送りの速度が速くなります。
※2 一時停止時に表示されます。

■ワンセグ録画再生画面のメニューを利用する

1 **ワンセグ録画再生画面→MENU**

2

再生操作	再生停止	ワンセグを終了します。
	先頭から再生	録画ファイルの先頭から再生します。
	スキップ（進む）	約30秒先の映像から再生します。
	スキップ（戻る）	約15秒前の映像から再生します。
Bluetoothオーディオ接続／Bluetoothオーディオ切断	Bluetooth®機器と接続／切断します。	
字幕／音声設定	▶P.143「ワンセグ視聴画面のメニューを利用する」	
AV設定	▶P.144「画面サイズや映像・サウンドを設定する」	
データ放送設定	▶P.150「ワンセグの設定をする」	
再生モード	再生方法を切り替えます。	
プロパティ	再生中の録画ファイルのプロパティを表示します。	

ワンセグの設定をする

1 ワンセグメニュー画面→[設定]

2

予約お知らせ設定	アラーム音	予約時間お知らせ時にアラーム音でお知らせするかどうかを設定します。
	バイブ	予約時間お知らせ時にバイブレータでお知らせするかどうかを設定します。
	アラーム通知時間	予約時間お知らせ時にアラームを起動するタイミングを設定します。
データ放送設定	通信接続時確認設定	通信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
	位置情報利用設定	位置情報を利用するかどうかを設定します。
	製造番号利用設定	製造番号を利用するかどうかを設定します。
	放送局メモリ削除	放送局からの情報やデータ放送で登録した情報などを削除します。
縦画面サイズ設定	縦画面のサイズを設定します。	
オートオフ時間設定	オートオフの時間を設定します。	
なめらかフレーム補間	なめらかフレーム補間を利用するかどうかを設定します。	

エリアを設定する

お使いの地域(放送エリア)によって受信チャンネルは異なります。放送エリアは10件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面→MENU→[チャンネル設定]→[エリア切替]

2 エリアを選択

エリアが設定されます。

■エリア切替画面のメニューを利用する

1 エリア切替画面でエリアをロングタッチ

2

表示	選択したエリアの詳細情報を表示します。
エリア情報設定	選択したエリアの設定を行います。 **エリアを選択→都道府県を選択→地域を選択→[OK]**
チャンネル更新	放送局を再検索します。
エリア名変更	選択したエリアの名前を変更します。
設定リセット	選択したエリアを削除します。

アプリケーション

Googleマップを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleマップ」を利用し、現在地の確認や目的地までの経路の検索ができます。また、航空写真や渋滞状況(データ提供エリアのみ)を地図に重ねて表示できます。

- Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」/「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Googleマップ画面→MENU→[ヘルプ]と操作してGoogleマップのヘルプをご参照ください。

1 iida Home→[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」を選択するとGoogleマップ画面が表示されます。
現在地を素早く検出するために、推奨される機能を有効にするかどうかの確認画面が表示される場合があります。「設定」または「スキップ」を選択してください。「設定」を選択すると、各機能の設定画面が表示されます。

Google Latitudeを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleマップ」を利用し、友人と位置を確認できます。また、友人の位置までの移動経路を検索できます。

- Google Latitudeの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.35)をご参照ください。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 iida Home→[Latitude]

Latitude画面が表示されます。
現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、通知をタップして共有リクエスト画面を表示させ、項目を選択します。
以降、Latitude起動時にGoogleマップ画面が表示された場合は、MENU→[Latitude]と操作するとLatitude画面を表示することができます。

友人を招待する

Latitudeに参加したときに位置情報を共有する友人を招待します。自分が招待した友人、または自分を招待した友人とだけ、位置情報を共有することができます。

1 Latitude画面→MENU→[友だちを追加]

■連絡先から選択して追加する場合

2 [連絡先から選択]→連絡先を選択→[はい]

■メールアドレスを入力して追加する場合

2 [メールアドレスから追加]→メールアドレスを入力→[送信]→[はい]

招待に応じる

友人からLatitudeで現在地を共有する招待を受けたときは、共有方法を設定できます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を地図上に表示して確認できるように設定します。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分の位置情報は共有せず、友人の位置情報のみ確認できるように設定します。
承認しない	招待を辞退し、お互いの位置情報を共有しません。
拒否	招待を辞退し、以降リクエスト通知が拒否されます。

チェックインをする

現在地周辺の店舗やビルなどを指定してチェックインすることで、具体的な現在地を表示することができます。

1. **Latitude画面→自分の情報を選択**

   詳細情報画面が表示されます。

2. **[チェックイン]→チェックインする場所を選択**

   選択した場所が表示されたチェックイン画面が表示されます。
   チェックインの共有設定や選択した場所に自動的にチェックインするかどうかなどを設定できます。

3. **[ここにチェックイン]**

チェックアウトをする

1. **詳細情報画面でチェックイン情報を選択**
2. **[チェックアウトする]→[チェックアウトする]**

◎自動的にチェックインするように設定すると、その場所に行くだけで自動的にチェックインできます。

友人の位置情報を確認する

1. **Latitude画面→友人の情報を選択**

   友人の詳細情報画面が表示されます。

2. **MENU→[地図を表示]**

   友人の現在地を地図上で確認できます。
   - 地図上での友人の位置情報は、おおよその位置に友人の名前と写真アイコンで示されます。

◎友人の詳細情報画面では、次の項目が表示/設定できます。
- 選択した友人の位置までの移動経路の検索
- 位置のストリートビューの表示
- チェックイン情報の表示/チェックインのリクエスト
- リアルタイム更新の設定
- 選択した友人との共有設定
- 選択した友人の削除

Google Latitudeを設定する

1 **Latitude画面→MENU→[設定]**

2

現在地を検出	自分の位置情報を自動検出するように設定します。
現在地を設定	自分の位置情報を地図上の任意の場所に指定するように設定します。
現在地を検出しない	自分の位置情報を表示しないように設定します。
ロケーション履歴を有効にする	検出した位置情報を保存するかどうかを設定します。
自動チェックインを有効にする	自動的にチェックインするかどうかを設定します。
チェックイン通知を有効にする	チェックインできる候補を自動的に通知するかどうかを設定します。
場所の管理	自動チェックインや非通知設定の場所を確認／変更します。
Latitudeからログアウト	Latitudeを終了して、Googleマップ画面を表示します。

Googleトークを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleトーク」を利用して、メンバーに追加した相手の方とチャットをすることができます。

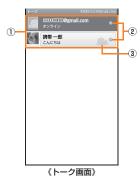
- Googleトークの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.35)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

1 **iida Home→[トーク]**

トーク画面が表示されます。

① **ステータス**
画像や名前、ステータスメッセージなどが表示されます。相手の方の画像をタップすると、登録内容によってアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、対応したアプリケーションが起動します。

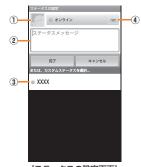
② **ステータスアイコン**

③ **モバイルインジケーター**
Android搭載端末からログインしている場合に表示されます。

《トーク画面》

ステータスを編集する

1 トーク画面で自分のステータスをタップ

ステータスの設定画面が表示されます。

① 画像
② ステータスメッセージ欄
③ カスタムステータス
④ ステータス欄

《ステータスの設定画面》

2 項目を選択して編集

画像	削除	自分の画像を削除します。
	変更	自分の画像に表示するデータを選択して登録します。
ステータスメッセージ欄	カスタムメッセージを作成できます。 **メッセージを入力→[完了]**	
ステータス欄	ステータスを変更できます。	

■ステータスの設定画面のメニューを利用する

1 ステータスの設定画面→MENU

2

カスタムメッセージを削除	カスタムメッセージをすべて削除します。
ログアウト	Googleトークを終了します。

チャットをする

1 トーク画面でチャットするメンバーを選択

チャット画面が表示されます。

2 メッセージを入力→[送信]

■チャット画面のメニューを利用する

1 チャット画面→MENU

2

オフレコにする／オフレコをやめる	チャット内容の非公開／公開を設定します。
チャット相手の切替	2人以上とチャットをしているとき、会話する相手の方を切り替えます。
友だちリスト	トーク画面を表示します。
グループチャット	チャットにメンバーを追加します。
チャット終了	チャットを終了します。
チャットの履歴を消去	チャットの履歴を消去します。
絵文字を挿入	絵文字を挿入します。
連絡先を表示	電話帳を表示します。

友だちを管理する

■新しいメンバーを追加する

Googleアカウントを持っている相手の方を追加できます。

1 トーク画面→MENU→[友だちを追加]

2 追加するメンバーのGoogleアカウントを入力→[招待状を送信]

■招待状を表示・承認する

招待状を受信すると、ステータスバーにお知らせアイコンが表示され、トーク画面に招待状が届いた旨のメッセージが表示されます。

1 トーク画面で招待状のメッセージを選択

2 [承諾]/[キャンセル]/[ブロック]

「ブロック」を選択すると、招待状を送信した相手の方をブロックします。

■ メンバーをブロックする

1 トーク画面でメンバーをロングタッチ→[ユーザーをブロック]

Googleトークの設定を変更する

1 トーク画面→MENU→[設定]

2

項目	説明
自動ログイン	INFOBAR A01の電源を入れたとき、Googleトークに自動でログインするかどうかを設定します。
モバイルインジケーター	相手の方にAndroid搭載端末で送信していることを通知するかどうかを設定します。
不在への自動切り替え	画面が消灯している場合、ステータスを不在にするかどうかを設定します。
検索履歴を消去	検索履歴が表示されている場合、検索履歴を消去します。
チャットの通知	メッセージ受信時、ステータスバーにお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	メッセージ受信時の音を設定します。
バイブレーション	メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。
招待通知	招待状受信時に、ステータスバーにお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
利用規約とプライバシー	Google利用規約を表示します。

Google トークを終了する

1 トーク画面→MENU→[ログアウト]

Googleプレイスを利用する

Googleが提供する「Googleプレイス」を利用して、現在地周辺の施設を、レストランやATMなどのジャンルから選び検索することができます。また、キーワードを入力して検索することもできます。

- Googleプレイスを利用するには、あらかじめ「無線ネットワークを使用」/「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。

1 iida Home→[プレイス]

検索画面が表示されます。

■ ジャンルから周辺の施設を検索する場合

2 ジャンルを選択

「追加」を選択すると検索画面にジャンルを追加できます。

3 検索候補を選択

■ キーワードから検索する場合

2 [場所を検索]

3 キーワードを入力→[ ]

Googleナビを利用する

Googleが提供する「Googleマップ」を利用して、現在地から目的地までのルートを検索し、ナビゲーションします。

- Googleナビを利用するには、あらかじめ「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。

1 iida Home→[ナビ]

2 [同意する]

■ 音声で検索する場合

3 [目的地を音声入力]
→送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

■ 入力して検索する場合

3 [目的地を入力]→キーワードを入力→[ ]

■ 電話帳に登録されている住所から検索する場合

3 [連絡先]→目的地を選択

■ スター付きの場所から検索する場合

3 [スター付きの場所]→目的地を選択

YouTubeを利用する

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の検索や視聴などができます。また、撮影した動画をアップロードすることもできます。

1 iida Home→[YouTube]

利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 動画を選択

ダウンロードを利用する

ブラウザからダウンロードしたデータの一覧を表示し、データの管理を行うことができます。

1 iida Home→[ダウンロード]

ダウンロードしたデータの一覧が表示されます。

2 データを選択

mixiSHを利用する

mixiSHを利用して、マイミクシィのボイスや日記、フォトの更新情報を確認できます。また、ボイスの発言や日記の投稿をすることもできます。

- mixiSHを利用するには、あらかじめmixiの登録が必要になります。mixiの登録や利用方法などの詳細については、mixiのホームページをご参照ください。
  http://mixi.jp/

1 iida Home→[mixiSH]

mixiホームページが表示されます。以前にログイン済みの場合は、mixiSH画面が表示されます。

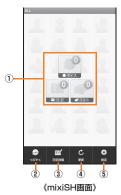
① **ボイス／日記／フォト**
各機能の画面を表示します。

② **つぶやく**
ボイスを投稿することができます。

③ **日記投稿**
日記の書き込みや画像のアップロードができます。

④ **更新**
ボイス、日記、フォトなどを更新します。

⑤ **設定**
設定メニューを表示します。

《mixiSH画面》

2 ログインメールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]→[同意する]

Twitterを利用する

Twitterを利用して、「つぶやき（ツイート）」の投稿や他人のツイートの閲覧ができます。また、特定の人をフォローすることもできます。

- Twitterを利用するには、あらかじめTwitterのアカウントを作成しておく必要があります。アカウントの作成や利用方法などの詳細については、Twitterのホームページをご参照ください。
  http://twitter.com/

1 iida Home→[Twitter]

iida Home→[TwiCheck]でも同様に操作できます。
以前にログイン済みの場合は、Twitterメニュー画面が表示されます。

2 [ログイン]

3 ユーザー名／メールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]

memo

TwiCheckについて

◎iida Home→MENU→[パネルを追加／編集]→[アプリケーション]→[TwiCheck]→[アプリケーション設定]→[Twitterアカウント]→[Twitterへ接続]と操作すると、ブラウザが起動し、Twitterのアプリ認証用サイトへ接続します。画面に従って設定を行うと、iida HomeのTwiCheckのパネルで、Twitterの情報を確認できるようになります。

Facebookを利用する

Facebookを利用して、メッセージの投稿や閲覧などができます。

- Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
  http://www.facebook.com/

1 iida Home→[Facebook]

初回起動時にはエンドユーザーライセンス契約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意します」を選択してください。

2 メールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]→[完了]

アカウントをお持ちではない場合は「登録」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

jibeを利用する

jibeを利用して、複数のSNS、ブログ、ニュース、グルメ情報などをまとめて1つの画面で管理／表示できます。INFOBAR A01の電話帳とjibeソーシャル電話帳に登録している友人やレストランなどをまとめて管理でき、友人の複数のSNSへの投稿コメントを時系列やカテゴリごとに閲覧できます。

また、複数のSNSやブログにまとめて投稿することもできます。

- jibeを利用するには、au one-IDもしくはメールアドレスが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.205)をご参照ください。

1 iida Home→[jibeアドレス帳]

初回起動時には許可画面と利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する]→[同意する]と操作してください。

■ au one-IDを利用する場合

2 [au one-IDでログイン]

3 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

4 [今は保存しない]／[保存]／[保存しない]

5 [同意する]

■ au one-ID以外のメールアドレスを利用する場合

2 [新規登録はこちら]

3 各項目を入力

4 [新規登録]

Skype™ | auを利用する

Skype™を利用して、通話することができます。インスタントメッセージでチャットを行うこともできます。

• 利用方法などの詳細については、Skype™のホームページや、Skype™メイン画面→MENU→[ヘルプ]と操作してSkype™のヘルプをご参照ください。

1 iida Home→[Skype]

初回起動時にはSkype™についての説明画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意する]→[続行]と操作してください。

2 Skype™のアカウントを入力

Skype™のアカウントをすでにお持ちの場合は、Skype名とパスワードを入力して「サインイン」を選択します。

Skype™のアカウントをお持ちではない場合は「アカウントの作成」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

初めてサインインしたときは、利用規約や同期設定、操作選択画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

Skype™メイン画面が表示されます。

《Skype™メイン画面》

① **ムードメッセージ欄**
相手の方に自分の今の状況や気分を知らせるためのムードメッセージを表示します。変更する場合は、入力した後、「共有」を選択します。

② **コンタクト**
コンタクトリストを登録／表示します。

③ **ダイヤルパッド**
電話をかけます。

④ **最近**
履歴を表示します。

⑤ **プロフィール**
クレジット&サービスの確認／購入や自分のプロフィールを表示／編集します。

◎ 海外の一般電話に発信する場合は、別途Skype™クレジットが必要となります。

◎ 国内の一般電話に発信する場合は、通常のau電話として発信／課金されます。

RSSを利用する

RSSを利用することで、登録したRSSの更新情報を確認できます。

1 iida Home→[RSS]

フィード管理画面が表示されます。
新着記事がある場合は、新着記事画面が表示されます。記事を選択すると、ブラウザが起動して記事の内容を確認できます。

2 MENU→[新規]

3 フィードの取得先URLを入力→[設定]

フィード管理画面に追加されます。

RSSのメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 フィード管理画面／新着記事画面→MENU

2

新規	URLを入力してフィードを作成します。
フィード管理	フィード管理画面を表示します。
更新	新着記事を手動で更新します。
新着記事	新着記事画面を表示します。
削除	選択したフィードを削除します。
設定	記事の取得周期／表示周期を設定します。 • 「アプリリセット」を選択すると取得した記事とフィードを一括で削除することができます。
並べ替え	表示位置を変更します。 **移動するフィードの右端の「☰」を移動する位置にドラッグして、指を離す→[完了]**
OPMLインポート	OPMLファイルをインポートします。
OPML エクスポート	OPMLファイルデータをエクスポートします。

■ コンテキストメニューの場合

1 フィード管理画面でフィードをロングタッチ

2

削除	選択したフィードを削除します。
編集	選択したフィードのURLを編集します。

ニュースと天気を利用する

1 iida Home→[ニュースと天気]

ニュースと天気TOP画面が表示されます。
天気情報をタップすると、当日の気温、降水確率などを確認できます。また、インターネットに接続して詳細情報を確認することもできます。
ニュースをタップすると、インターネットに接続して詳細情報を閲覧できます。

■ニュースと天気のメニューを利用する

1 ニュースと天気TOP画面→MENU

2

更新	ニュースと天気を更新します。		
設定	天気予報の設定	現在地情報を使用	位置情報を自動的に特定するかどうかを設定します。
		位置情報の設定	現在地情報を指定して、天気予報が表示される場所を設定します。 **都市名または郵便番号を入力→[🔍]** • 日本国内の郵便番号には対応していません。 • 日本国内の都市名はローマ字で入力してください。
		メートル法を使用	メートル法・摂氏温度とヤードポンド法・華氏温度を切り替えます。

設定	ニュースの設定	ニューストピックの選択	アプリケーションで表示するトピックを設定します。 • [カスタムトピック]→カスタムトピック名を入力→[OK]と操作すると、カスタムトピックを追加できます。 • 「×」をタップするとカスタムトピックを削除できます。 • ニューストピックではカテゴリを選択します。
		記事のプリフェッチ	短時間でアクセスするために記事を事前に読み込むかどうかを設定します。
		画像のプリフェッチ	短時間でアクセスするために画像を事前に読み込むかどうかを設定します。
		ニュース利用規約	利用規約が掲載されているサイトへ接続します。
		モバイル版プライバシーポリシー	モバイル版プライバシーポリシーが掲載されているサイトへ接続します。
	更新の設定	自動更新	ニュースと天気を自動更新するかどうかを設定します。
		更新間隔	自動更新の間隔を設定します。
		ステータスの更新	前回の更新日時を表示します。
	アプリケーションのバージョン	ニュースと天気のバージョン情報を表示します。	

au one ニュースEXを利用する

au one ニュースEXでは、ニュース･天気･占いなどの最新情報を確認することができます。

- 一部のコンテンツを利用するには、au one-IDが必要になります。
  au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」（▶P.205）をご参照ください。
- au one ニュースEXのすべてのコンテンツをご利用になるには別途お申し込み（情報料有料）が必要です。

1 iida Home→[ニュースEX]

au one ニュースEX画面が表示されます。
初回起動時には、インストールや利用規約、各種設定を行う画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行い、BACKを押すと、au one ニュースEX画面が表示されます。

■au one ニュースEX画面のメニューを利用する

1 au one ニュースEX画面→MENU

2

更新	au one ニュースEXを更新します。		
設定	天気の設定	表示したい地域を設定します。	
	占いの設定	表示したい星座を設定します。	
	アプリケーション設定	データ取得間隔の選択	データ取得間隔を設定します。 • 間隔が短いほど最新の情報を取得できますが、電池消費が早まります。
		カラーの選択	アプリケーションの色を設定します。

アプリケーション

設定	ウィジェット設定	データ取得間隔の選択	データ取得間隔を設定します。 • 間隔が短いほど最新の情報を取得できますが、電池消費が早まります。
		カラーの選択	ウィジェットの色を設定します。
	鳴動設定	深夜帯は鳴動しない	超速報がある場合に深夜帯（23:00～07:00）に鳴動を行うかどうかを設定します。
		バイブレーションする	超速報がある場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
		音の選択	超速報がある場合にお知らせする音を設定します。
	キャッシュを削除する	サイト閲覧時に保存したページデータ（キャッシュ）を削除します。	
利用規約	au one ニュースEXの利用規約を表示します。		
ヘルプ	ヘルプを表示します。		

Weatherを利用する

1 iida Home→［Weather］

au one 天気画面が表示されます。当日の気温、降水確率などを確認できます。
初回起動時には、地域／更新時間設定を行ってください。

メーカーアプリを利用する

アプリケーションのダウンロードや閲覧などのさまざまなサービスを利用することができます。

1 iida Home→［メーカーアプリ］

初回起動時には利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

2 サービスを選択

Documents To Goを利用する

Microsoft Word（.doc／.docx）やExcel（.xls／.xlsx）、PowerPoint（.ppt／.pptx）などのドキュメントを表示することができます。

- ドキュメントの編集や新規作成、PDFの表示機能などを利用するには、完全版の購入が必要になります。ここでは、お買い上げ時に利用できる機能について説明しています。

Documents To Goが対応しているドキュメントの種類とバージョンは次の通りです。

種類		バージョン
Microsoft Word	Windows	Word 2003、2007、2010
	Macintosh	Word 2004、2008
Microsoft Excel	Windows	Excel 2003、2007、2010
	Macintosh	Excel 2004、2008
Microsoft PowerPoint	Windows	PowerPoint 2003、2007、2010
	Macintosh	PowerPoint 2004、2008

memo

◎ 機能利用時に完全版の購入が必要な場合は、その旨が表示されます。

ドキュメントを表示する

1 iida Home→[Documents To Go]

Documents To Goのメイン画面が表示されます。
初回起動時には、使用許諾や登録操作の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 ファイルの種類を選択

ファイル一覧画面が表示されます。
：上の階層を表示
：削除／プロパティ表示するファイルを選択
：新規ファイル作成メニューを表示
：選択したファイルを削除
：選択したファイルのプロパティ

3 ファイルを選択

ドキュメントのメニューを利用する

1 ドキュメント表示中にMENU

2

ファイル	保存されているファイルを表示／非表示にします。
編集	ファイルの種類によっては編集機能の一部が利用できます。
表示	ドキュメント内の目次やワークシートなどを表示します。
行	行の選択や表示／非表示を設定します。
列	列の選択や表示／非表示を設定します。
環境設定	Documents To Goの利用環境を設定します。
ファイルプロパティ	ファイルのプロパティを表示します。

ヘルプ	更新チェック	バージョンアップの更新の有無を確認できます。
	登録	利用者情報を登録します。 • 利用者情報の登録が完了していない場合に表示されます。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認できます。

Documents To Goを設定する

1 Documents To Goのメイン画面→MENU→[設定]

2

バージョン情報	利用中のバージョンを確認できます。	
登録	利用者情報を登録します。 • 利用者情報の登録が完了していない場合に表示されます。	
更新チェック	バージョンアップの更新の有無を確認できます。	
ご意見をお聞かせください	アプリケーションの作成元に意見や感想などを送信できます。	
詳細オプション	最後の場所を記憶する	「ローカルファイル」を開くときに、最後に開いたフォルダの階層が表示されます。

Q&Aを利用する

Q&Aをカテゴリやフリーワードから検索できます。また、検索したQ&Aをお気に入りとして登録することもできます。

1 iida Home→[Q&A]

初回起動時には許可画面と利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、[許可する]→[同意する]と操作してください。
使いかたを確認するかどうかの確認画面が表示されます。確認する場合は、「はい」を選択してください。

2 確認するQ&Aを検索

Androidマーケットを利用する

Googleが提供するAndroidマーケットから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード･インストールして利用できます。

- Androidマーケットの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.35)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Androidマーケット画面→MENU→[ヘルプ]と操作してAndroidマーケットヘルプをご参照ください。

1 iida Home→[マーケット]

Androidマーケット画面が表示されます。
初回起動時には利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」を選択してください。

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎アプリケーションによっては、動作中スリープモードに移行しなくなる場合やバックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。

アプリケーションを検索する

Androidマーケット画面には、注目のアプリケーション一覧、「アプリケーション」「ゲーム」「au」カテゴリへのリンクが表示されます。
注目のアプリケーションは、縦方向にスクロールしてアプリケーションの一覧を確認できます。「アプリケーション」または「ゲーム」カテゴリを選択した後ジャンルを選択すると、「有料アプリケーション」「無料アプリケーション」「新着」に分類して表示できます。

無料のアプリケーションをインストールする

1 Androidマーケット画面でダウンロードするアプリケーションを選択→[無料]→[OK]

アプリケーションのダウンロード･インストールが開始されます。

memo

◎インストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

有料のアプリケーションをインストールする

有料のアプリケーションをダウンロードするには、Googleチェックアウトアカウントを作成する必要があります。

1 Androidマーケット画面で購入するアプリケーションを選択→価格をタップ→[OK]

アプリケーションの初回購入時は、Googleチェックアウト支払い請求サービスにログインする必要があります。画面の指示に従って操作してください。

- 選択したアプリケーションによって操作方法が異なる場合があります。

memo

◎ アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後にアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。

◎ Googleチェックアウトパスワードが記憶されます。「画面ロック」(▶P.196)を設定し、セキュリティを確保してください。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションはアンインストールされます。

- 詳細については、Androidマーケット画面→→[ヘルプ]と操作してAndroidマーケットヘルプをご参照ください。

memo

◎ 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au one Marketを利用する

au one Marketからアプリケーションをダウンロード・インストールできます。目的のアプリをカテゴリやキーワード、ランキングから検索できます。

- 一部の機能を利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.205)をご参照ください。

1 iida Home→[au one Market]

au one Market画面が表示されます。
初回起動時には利用規約と、ご利用にあたっての注意点が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意]→[OK]と操作してください。

memo

◎ au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法はau one Marketの配信元によって異なります。

◎ アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

GREEマーケットを利用する

GREEマーケットではau one GREEの無料ゲームなどを簡単に探すことができます。

1 iida Home→[GREEマーケット]

GREEマーケット画面が表示されます。
画面内のコーナーから利用したいゲームなどを探すことができます。

memo

◎ GREEマーケットで探したゲームを利用するには、au one GREEの会員登録が必要となる場合があります。

便利な機能

スクリーンショットを撮影する

表示中の画面を撮影できます。

1 ⏻＋HOME

シャッター音が鳴り、撮影したデータがmicroSDメモリカードに保存されます。

memo

◎アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

おサイフケータイ®を利用する

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。INFOBAR A01をリーダー／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。

おサイフケータイ®をご利用になるには、利用したいサービスプロバイダのおサイフケータイ®に対応したアプリのダウンロードが必要となる場合があります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- INFOBAR A01本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「おサイフケータイ ロック設定」をおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「おサイフケータイ ロック設定」をされている場合はロックを解除したうえで電源を切ってください。
- おサイフケータイ®対応のアプリは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- 「オールリセット」を行うとおサイフケータイ®対応のアプリは削除されますが、FeliCaチップ内のデータは削除されません。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。

- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応のアプリからのFeliCaチップへのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータが破棄されます。
- 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応のアプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 電波OFFモード設定中は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 充電中やイヤホンなどのケーブル類を接続した状態で、au ICカードが挿入されていない、一度も電波を受けていない場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 海外利用時に、充電中やイヤホンなどのケーブル類を接続した状態では、おサイフケータイ®をご利用いただけません。

おサイフケータイ®のメニューを利用する

1 iida Home→[おサイフケータイ]

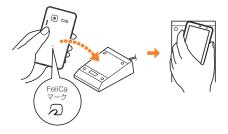
サービス一覧画面が表示されます。
サービスによっては、各プロバイダに接続して、画面の指示に従って登録および初期設定を行います。初期設定が完了すると、対応したサービスがご利用になれます。

2 MENU

3

おサイフケータイロック設定	▶P.170「おサイフケータイ®の機能をロックする」	
表示形式切替	表示モードを切り替えます。	
サービス一覧更新	サービス一覧画面を最新の状態に更新します。	
メモリ使用状況	おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。 最大999ブロックまで保存可能です。	
サポートメニュー	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	設定リセット	サービス一覧画面の表示設定をリセットします。 **[はい]→[閉じる]** • おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

リーダー／ライターとやりとりする

FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。

- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、INFOBAR A01を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

◎おサイフケータイ®対応のアプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。

◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中はご利用いただけません。

◎電池パックカバー裏のシールをはがさないでください。リーダー／ライターとのデータの読み書きができなくなる場合があります。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCaデータ受信の利用を制限できます。

1 サービス一覧画面→MENU
→[おサイフケータイ ロック設定]→[次へ]
→ロックNo.を入力→[OK]→[次へ]

おサイフケータイ®の機能がロックされ、サービス一覧は表示されません。

◎「おサイフケータイ ロック設定」ご利用中に電池が切れると、「おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「おサイフケータイ ロック設定」を解除してください。

◎「おサイフケータイ ロック設定」を解除するには、サービス一覧画面から設定時と同様の操作を行ってください。

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音できます。
microSDメモリカードがセットされていない場合、ボイスレコーダーを起動できません。

1 **iida Home→[ボイスレコーダー]**

ボイスレコーダー画面が表示されます。

① **現在の録音時間／最大録音時間**
② **録音／停止**
録音を開始／停止します。
③ **再生**
ボイスデータを再生します。
④ **モード**
録音時間モードを切り替えます。
メール添付モード：メールに添付可能な最大サイズを上限とした時間まで録音ができます。
長時間モード：最大6時間の録音ができます。

《ボイスレコーダー画面》

録音する

1 **ボイスレコーダー画面→[●]**

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。
録音中は充電／着信ランプが点滅します。

2 **[■]**

録音停止音が鳴り、録音が停止します。録音したボイスデータは自動的に保存されます。

memo

◎録音中に着信があった場合は、録音を停止してデータを保存します。

再生する

1 **ボイスレコーダー画面→[再生]**

録音を行った直後では、録音したボイスデータが再生されます。

2 **ボイスデータを選択**

ボイスプレイヤーで再生されます。

① **再生位置**
② **現在の再生時間／全再生時間**
③ **基本操作**
[›]／[॥]：再生／一時停止
[«]：1秒戻し、ロングタッチで巻き戻し
[»]：1秒送り、ロングタッチで早送り
④ **録音**
ボイスレコーダー画面に切り替わります。
⑤ **ファイル**
コンテンツマネージャー画面に切り替わります。

《ボイスプレイヤー画面》

■ボイスプレイヤー画面のメニューを利用する

1 ボイスプレイヤー画面→MENU

メールへ添付	選択したデータを添付してメールを作成します。
削除	選択したデータを削除します。
赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。

memo

◎コンテンツマネージャー画面でボイスデータをロングタッチすると、ボイスプレイヤー以外のアプリでのデータ再生や詳細情報の確認ができます。

メモ帳を利用する

1 iida Home→[メモ帳]

メモ帳一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]→メモを入力→[保存]

メモ帳のメニューを利用する

1 メモ帳一覧画面→メモ帳を選択→MENU

2

赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
メールへ添付	メモ帳をvNoteデータとして添付してメールを作成します。
メール本文へ挿入	メモ帳の内容をメールの本文に挿入してメールを作成します。
全件削除※	一覧表示中のメモ帳をすべて削除します。**[はい]→ロックNo.を入力→[OK]**
メモ検索※	キーワードを入力してメモ帳を検索します。• 全角/半角50文字まで入力できます。
.txtに変換	メモ帳の内容をテキストデータとしてmicroSDメモリカードに保存します。
文字サイズ設定	文字サイズを変更します。

※メモ帳一覧画面のオプションメニューに表示されます。

memo

◎メモ帳一覧画面でメモ帳を選択→[編集]と操作すると、登録済みのメモ帳を編集できます。

Memoを利用する

1 iida Home→[Memo]

メモ一覧画面が表示されます。

2 MENU→[新規作成]→メモを入力→[完了]

Memoのメニューを利用する

1 **メモ一覧画面→メモを選択→MENU**

2

新規作成※	▶P.172「Memoを利用する」
並べ替え※	メモの表示位置を変更します。 **移動するメモの右端の「☰」を移動する位置にドラッグして、指を離す→[OK]**
削除	メモを削除します。
メールで送信	メモの内容をメールの本文に挿入してメールを作成します。
ホームに貼り付け／ホームから削除	選択したメモをiida Homeに貼り付けるかどうかを設定します。

※ メモ一覧画面のオプションメニューに表示されます。

◎ 表示しているメモをタップすると、登録済みのメモを編集できます。

カレンダーを利用する

カレンダーを1ヶ月、1週間、1日で表示することができます。

- カレンダーの利用にはExchangeアカウントまたはGoogleアカウントが必要です。初回利用時に表示されるアカウント追加画面でExchangeアカウントの場合は「Microsoft Exchange ActiveSync」、Googleアカウントの場合は「Google」を選択します。
  Exchangeアカウントの設定については、画面に従って操作してください。
  Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.35)をご参照ください。
- 「アカウントと同期」を利用して、サーバに保存されたカレンダーとINFOBAR A01のカレンダーを同期できます。

1 **iida Home→[Calendar]**

① **選択されている日付**
背景色が青色で表示されます。

② **今日の日付**
背景色がグレー、日付が白で表示されます。

③ **予定**
登録されている予定がある場合、青色で表示されます。
登録した予定の期間や時間帯によって表示が異なります。

《1ヶ月表示画面》

カレンダーのメニューを利用する

1 **カレンダー画面→MENU**

2

日	カレンダーの表示を1日表示に切り替えます。
週	カレンダーの表示を1週間表示に切り替えます。
月	カレンダーの表示を1ヶ月表示に切り替えます。
予定リスト	登録されている予定リストを表示します。
今日	今日の日付を選択します。 • 1日表示／1週間表示では、今日の日付の現在の時刻を選択します。
予定を作成	▶P.174「予定を新規登録する」
カレンダー	登録されている内容をタップすると、カレンダーへの表示や同期の設定を変更できます。
設定	▶P.174「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→MENU→[予定を作成]

予定編集画面が表示されます。

2 各項目を選択して編集

タイトル	予定のタイトルを入力します。
開始	開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。 • 予定を終日に設定するには「終日」を選択します。
終了	
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の内容を入力します。
カレンダー	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーを選択します。
ゲスト	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力できます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。 • 「⊕」/「⊗」をタップすると、通知設定を追加/削除できます。通知しない場合は通知設定を削除してください。

3 [完了]

◎ 予定編集画面→MENU→[通知を追加]/[詳細項目を表示]と操作すると、通知の追加や詳細項目(外部向け表示・公開設定)を設定できます。

カレンダーを設定する

通知方法や、通知音の変更などの詳細を設定することができます。

1 カレンダー画面→MENU→[設定]

2

辞退した予定を非表示	辞退した予定を非表示にします。
自宅タイムゾーン(上)	渡航先でも自宅のタイムゾーンでカレンダーと予定時刻を表示するかどうかを設定します。
自宅タイムゾーン(下)	自宅のタイムゾーンを設定します。
通知方法	登録した予定を通知するときの方法を設定します。
着信音を選択	予定通知時の音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレータの動作を設定します。
デフォルトの通知時間	予定入力項目の「通知」にあらかじめ入力される時間を設定します。

◎ 設定画面では、上記以外にソフトウェアのバージョンが確認できます。

予定を確認/編集する

1 1ヶ月表示画面で予定の入っている日付を選択

2 予定を選択

予定詳細画面が表示されます。

3 MENU

4

通知を追加	通知を追加します。 • 「⊕」/「⊗」をタップすると、通知設定を追加/削除できます。
予定を編集	登録した予定を編集します。

予定を削除	予定を削除します。

memo

◎表示されている予定をロングタッチすると、予定を表示／編集／削除／作成などの操作ができます。

世界時計／アラーム／タイマー／ストップウォッチを利用する

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を20都市まで表示できます。

1 iida Home→[Clock]→[世界時計]

世界時計画面が表示されます。

2 MENU→[新規作成]→都市名を入力→確認する都市を選択

世界時計画面に選択した都市が表示されます。

■世界時計のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 世界時計画面→MENU

2

新規作成	▶P.175「世界各地の都市の時刻を確認する」
並べ替え	表示している都市の表示位置を変更します。 **並べ替える都市の右端の「≡」を移動する位置にドラッグして、指を離す→[OK]**
削除	表示している都市を選択して削除します。
ホームに貼り付け	選択した都市の時計をiida Homeに貼り付けます。

■コンテキストメニューの場合

1 世界時計画面で都市をロングタッチ

2

ホームに貼り付け／ホームから削除	選択した都市の時計をiida Homeに貼り付けるかどうかを設定します。
削除	選択した都市を削除します。

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。20件まで登録できます。

1 iida Home→[Clock]→[アラーム]

アラーム画面が表示されます。
アラーム画面には「ON／OFF」「時刻」「繰り返し」「ラベル」が表示されます。

2 MENU→[新規作成]

登録済みのアラームを選択すると、各項目を編集できます。

3 各項目を編集→[OK]

編集内容を保存して、アラーム画面に戻ります。

アラームを設定した時刻になると

◎アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。
[Alarm Stop]→[Alarm Stop]と操作するとアラームは停止します。
◎電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。
◎アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、アラーム音は鳴りません。

スヌーズモードを設定すると

◎スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中に[Alarm Stop]→[Alarm Stop]と操作します。

◎ アラーム鳴動中に「Snooze」をタップすると、アラームを停止します(スヌーズは解除されません)。アラームを停止せずにスヌーズが5回動作すると、スヌーズが自動で解除されます。

■ アラームの入力項目について

項目	説明
ラベル	全角／半角32文字まで入力できます。
ON／OFF	アラームのON／OFFを設定します。
時刻	お知らせする時刻を設定します。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 • 毎日アラームを鳴動させたい場合は、すべての曜日を選択します。
スヌーズ	スヌーズを有効にするかどうかを設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブ設定	バイブレータを有効にするかどうかを設定します。

■ アラームのメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 アラーム画面→MENU

2

新規作成		▶P.175「アラームで指定した時刻をお知らせする」
並べ替え		表示しているアラームの表示位置を変更します。 **並べ替えるアラームの右端の「☰」を移動する位置にドラッグして、指を離す→[OK]**
削除		表示しているアラームを選択して削除します。
ホームに貼り付け		選択したアラームをiida Homeに貼り付けます。
共通設定	マナーモード優先	マナーモード設定中にアラームを設定した時刻をマナーモードの設定でお知らせできます。
	スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
	サイドボタンの動作	／を押したときの動作を設定します。
	アラーム音量	音量を設定します。 • タイマーのアラーム音量も同様に設定されます。

■ コンテキストメニューの場合

1 アラーム画面でアラームをロングタッチ

2

ホームに貼り付け／ホームから削除	選択したアラームをiida Homeに貼り付けるかどうかを設定します。
編集	選択したアラームを編集します。
削除	選択したアラームを削除します。

タイマーで時間を計る

最大23時間59分までタイマーを設定できます。

1 iida Home→[Clock]→[タイマー]

タイマー画面が表示されます。

2 時間を選択→[スタート]

カウントダウンを開始します。
「キャンセル」でカウントダウンをやり直すことができます。

◎ アラーム鳴動中にタイマー終了時刻になった場合は、アラームの鳴動が終了してからタイマーが鳴動します。

■ タイマー終了時の動作を設定する

1 **タイマー画面→[終了時の動作]**

2

マナーモード優先	マナーモード設定中にタイマーが終了した時刻をマナーモードの設定でお知らせできます。
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	音量を設定します。 • アラームのアラーム音量も同様に設定されます。
バイブ設定	バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
サイドボタンの動作	／を押したときの動作を設定します。

ストップウォッチで時間を計る

1/100秒単位で60分00秒00まで計測できます。最大100件のラップタイム（各区間ごとの経過時間）／スプリットタイム（合計経過時間）を記録できます。

1 **iida Home→[Clock]→[ストップウォッチ]**

2 **[スタート]**

「ラップ」を選択するたびに、区間ごとのラップタイム／スプリットタイムを記録し、一覧表示します。
計測中に「ストップ」／「スタート」で計測を一時停止／再開できます。
また、「リセット」で計測中の記録をすべて破棄します。

memo

◎計測したラップタイム／スプリットタイムが100件を超えると、最も古いラップタイム／スプリットタイムから自動的に削除されます。

歩数計を利用する

本体に内蔵された加速度センサーで歩数をカウントし、歩行距離、エクササイズ量（身体活動量）、消費カロリーを表示します。また、歩数の履歴をグラフで表示して、時間別や日別、週別で比較することもできます。

1 **iida Home→[歩数計]**

歩数計画面が表示されます。
「歩数計設定」で「歩数計ON」が無効の場合は、利用確認画面が表示されます。「はい」を選択して「ユーザー情報」を入力後、BACK→[歩数計ON]→BACKと操作してください。

《歩数計画面》

① **今日の目標**

② **今週のエクササイズ**
1週間のエクササイズ量が表示されます。

③ **今日の歩数情報**
エクササイズ／歩数※1／カロリー※2について表示されます。

④ **タブ**
タップすると、今日の歩数情報の表示内容が切り替わります。

⑤ **履歴**
タップすると履歴画面が表示されます。

⑥ **ヘルプ**
タップすると歩数計ヘルプ一覧が表示されます。

※1 歩き方や路面の状態によって歩数や歩行距離と誤差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。

※2 一般的にカロリーは個人の年齢や性別によって、差が見られます。また、基礎代謝や食事など歩行以外の要因による消費・摂取カロリーや脂肪量の変動要因が存在するために、ここで表示する数値はあくまでも歩行のみによる参考値です。脂肪燃焼量が実際の体重変動に影響するとは限りません。

memo

◎ 歩数計画面の計測項目について詳しくは「ヘルプ」をご参照ください。
◎ 履歴のデータは、約2年分保存され、2年分を超えた場合は、最も古いデータから自動的に削除されます。
◎ 履歴画面で時間別／日別／週別／カレンダータブをタップすると、表示モードを切り替えることができます。
◎ 歩き始めは、誤カウントを防ぐため歩行を始めたかどうかを判断しています。4秒以上の歩行があると、そこまでの歩数を一度に表示します。（そのため、歩き始め約4秒間は表示が変わらず、その後歩数がまとめて表示されます。）

歩数計のメニューを利用する

1 **歩数計画面→MENU**

2

歩数計設定	▶P.178「歩数計を設定する」
目標設定	歩数計画面に表示する項目とその目標値を設定します。 **項目を選択→目標値を入力→[設定]**
データリセット	履歴や累積データをリセットします。
累積データ	歩数や距離、消費カロリーなどのカウントしたデータの合計を、各項目ごとに表示します。

■ 歩数計を設定する

「歩数計ON」を有効に設定すると、本体に内蔵された加速度センサーで、万歩計のように歩行歩数や走行歩数をカウントして、距離や消費カロリーの目安を算出することができます。

1 **歩数計画面→MENU→[歩数計設定]**

2

歩数計ON	歩数計を有効にするかどうかを設定します。
ユーザー情報	身長や体重、歩幅を登録します。 **ロックNo.を入力→[OK]→各項目を選択して入力→[設定]** • 身長を登録した後、「はい」を選択すると、身長をもとに計算した「歩幅」が自動的に入力されます。
歩数計リセット時刻設定	1日に一度歩数計をリセットする時刻を設定します。

memo

◎「ユーザー情報」を入力しないと、「歩数計ON」を有効に設定することができません。
◎ 歩数計の表示は、1日に一度「歩数計リセット時刻設定」で設定した時刻にリセットされます。
◎ 歩行／ランニングに伴う微小な振動を検出し、それを歩数と見立ててカロリーをカウントしています。歩数を正常に検出できない場合や、歩行／ランニング以外の振動を検出すると、カウントの誤差が大きくなります。
◎ 次のような不規則な歩行／ランニングをすると、歩数を正確にカウントできない場合があります。
- すり足のような歩き方（雪道など）
- サンダル、下駄、ぞうりなどの履物での歩行
- 混雑した街中を歩くときなどの歩行の乱れ
- より高速で走ったとき
- 極端にゆっくり歩いたとき

◎ 次のように上下運動や振動が多い場合は、歩数を正確にカウントできない場合があります。
- 歩行やランニング以外のスポーツ
- 乗り物に乗車中の上下運動または横ブレがあるとき
- 階段や急斜面での昇り降り
- INFOBAR A01を操作しているとき
- 立ったり、座ったりする動作
- スピーカーから音が出ているとき
- バイブレータが振動しているとき

◎ 同時に利用しているアプリケーションによっては、歩数のカウントを停止する場合があります。

◎ 加速度センサーに異常が発生すると、「歩数計設定」の「歩数計ON」が自動的に無効になります。

方位計を利用する

方位計や地図を表示して、INFOBAR A01の向いている方位や現在地を確認できます。

- microUSB-3.5φ変換ケーブルや共通ACアダプタ03（別売）、microUSBケーブル01（別売）などを接続した場合、接続機器の磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類を外してご使用ください。
- 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障がいになったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
  - ・建物（特に鉄筋コンクリート造り）、大きな金属の物体（電車、自動車）、高圧線、架線など
  - ・金属（鉄製の机、ロッカーなど）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）、永久磁気（磁気ネックレスなど）
- 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
- 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますので、「精度補正」を行ってください。また、定期的に「精度補正」を行うことをおすすめします。
  - ・方位計の起動直後や、INFOBAR A01を強い磁力に近付けた場合
  - ・急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
  - ・INFOBAR A01が磁気を帯びた場合
- 「精度補正」を行うときは、本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
- 「精度補正」を行う環境や起動しているアプリケーションによっては補正に失敗する場合があります。その場合は、「精度補正」を行う場所を変えるか、起動しているアプリケーションを終了させるなどしてからやり直してください。
- 地図を表示する場合、インターネット接続が必要です。
- 周辺の地図を表示するには、あらかじめ「GPS機能を使用」を有効にする必要があります。

1 iida Home→[方位計]

地図表示エリアや方位計表示エリアをタップすると、表示モードを切り替えることができます。

地図表示エリア

《方位計モード》

方位計表示エリア

《地図モード》

memo

◎ 方位が正しく表示されない場合は、「精度補正」でセンサーの感度を補正してください。

便利な機能

方位計のメニューを利用する

1 方位計モード／地図モード→MENU

2

拡大･縮小	地図を拡大･縮小するためのコントローラを表示します。	
地図モード変更	標準地図	地図画像に現在地を表示します。
	航空写真	航空写真上に現在地を表示します。
	ストリートビュー	ストリートビュー情報のある道路をロングタッチすると、ストリートビュー表示します。
表示切替	表示モードを切り替えます。	
精度補正	方位計に使用するセンサーを調整します。	
更新	現在地を更新します。	

電卓で計算する

最大12桁の計算を行うことができます。

1 iida Home→[電卓]

「00」「0」～「9」：数字を入力
「.」：小数点を入力　「+/−」：+／−の切り替え
「DEL」：入力数値下一桁をクリア
「CA」：数値／エラーをすべてクリア
「C/CE」：計算前の数値のみをクリア／表示数値をクリア
エラー表示時はエラーのクリア
「CM」：メモリをクリア　「RM」：メモリを呼び出し
「M−」：メモリから−　「M+」：メモリに+
「√」：ルート計算　「÷」：÷
「%」：%　「×」：×
「+」：+　「−」：−
「=」：=

memo

◎数値表示欄をロングタッチ→[コピー]と操作すると、表示されている数値をコピーできます。
◎計算がエラーとなった場合は、「E」と表示されます。

%を付加した計算について

例題	入力	計算結果
100の10%増しを計算	100+10%	110
100の10%引きを計算	100−10%	90
100は80の何%かを計算	100÷80%	125
100の10%を計算	100×10%	10

◎電卓がバックグラウンドで起動しているとき、OSの状態により電卓の計算結果や計算履歴情報がクリアされる場合があります。

辞書を利用する

「内蔵辞書」と「ネット辞書」の2種類の辞書を利用して、単語の意味などを検索することができます。

1 iida Home→[辞書]

辞書画面が表示されます。

■ **内蔵辞書で検索する場合**

2 [辞書切替]→[明鏡国語辞典MX]／[ジーニアス英和MX]／[ジーニアス和英MX]

- 「明鏡国語辞典MX」
  ©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009
- 「ジーニアス英和辞典MX」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「ジーニアス和英辞典MX」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009

3 検索したい単語を入力

1文字入力するごとに、それに一致する検索結果一覧画面が表示されます。

4 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

■ ネット辞書で検索する場合

2 [辞書切替]→検索する辞書を選択

お買い上げ時に使用できるネット辞書は「百科事典」のみです。
初回起動時には利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「はい」を選択してください。

3 検索したい単語を入力→[検索]

検索結果一覧画面が表示されます。

4 検索候補を選択

詳細画面が表示されます。

memo

◎ネット辞書を利用する場合はインターネット接続が必要です。

辞書画面/検索結果一覧画面/詳細画面の操作

ひきなおす	単語やキーワードを入力し直します。
辞書切替	利用する辞書を切り替えます。
履歴	選択中の辞書の検索履歴を新しい順に表示します。 • 内蔵辞書は最大100件まで、ネット辞書は最大20件まで表示します。 • 「全件削除」を選択すると、履歴をすべて削除できます。
単語テスト	▶P.181「単語テストをする」
単語カード追加	内蔵辞書の検索結果詳細を単語カードに追加します。最大1,000件まで登録できます。
辞書管理	使用できるネット辞書のリストを管理します。 • 「更新」を選択すると、サーバに接続して最新の辞書リストに更新できます。

■ 単語テストをする

「単語カード追加」で登録した単語の意味をテストします。

1 辞書画面→[辞書切替]→内蔵辞書を選択

2 [単語テスト]→件数を選択

単語テストが開始されます。
単語カードに登録されている中からランダムに出題されます。

3 答えが分かったら[解答へ]→[次へ]

「解答へ」をタップしなくても、問題表示後5秒経過すると自動的に解答が表示されます。
「次へ」をタップしなくても、解答表示後5秒経過すると自動的に次の問題が表示されます。
途中で単語テストをやめる場合は、「終了」を選択してください。

4 [終了する]

「もう一度」を選択すると、件数選択画面に戻ります。

■ 辞書画面/検索結果一覧画面/詳細画面のメニューを利用する

1 辞書画面/検索結果一覧画面/詳細画面→MENU

2

単語カード一覧	選択中の内蔵辞書で登録された単語カードを確認します。
見出し語コピー	選択されている検索結果の見出し語をコピーします。
範囲指定コピー	内蔵辞書の詳細画面に表示される内容を、最大128文字までコピーできます。 • ドラッグした範囲がコピーされます。

ヘルプ	ブラウザを起動しネット辞書のヘルプを表示します。
利用規約	ネット辞書の利用規約を表示します。
検索方法設定	選択されているネット辞書の見出し語の検索方法を設定します。
検索範囲設定	選択されているネット辞書の検索範囲を設定します。
画像取得設定	ネット辞書の詳細画面に画像がある場合、取得するかどうかを設定します。 •「取得する」に設定した場合は、画像取得時に通信料がかかります。また、電波状態や取得した画像によっては表示できないことがあります。
出典について	ブラウザを起動し、ネット辞書の出典の出展を表示します。

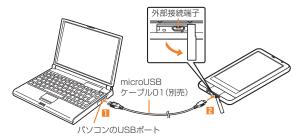
パソコンと接続する

microSDメモリカードをセットしたINFOBAR A01とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続して、INFOBAR A01にセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、WMAデータなどの音楽／動画データの転送も可能です。

「USB充電」を有効にすると、パソコンの充電可能なUSBポートに接続してINFOBAR A01を充電できます。

- microSDメモリカードが挿入されていない場合、パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。
- 高速転送モードを使用する場合は、パソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、シャープケータイdaSHサポートページをご参照ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 INFOBAR A01が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をINFOBAR A01に接続

3 iida Home→[設定]→[USB接続]→[USB接続モード]

4

カードリーダーモード	▶P.183「メモリカードリーダー／ライターとして使う」
高速転送モード	INFOBAR A01とパソコン間の高速データ転送を可能にします。
MTPモード	▶P.183「MTPモードでパソコンからデータを転送する」

memo

◎INFOBAR A01をパソコンに接続すると、自動的に次のUSB接続モードが設定されます。
- microSDメモリカード挿入時：カードリーダーモード
- microSDメモリカード未挿入時：高速転送モード

◎高速転送モードを使用するとモデムデバイスとして認識されますが、パソコンのモデムとして使用できませんのでご注意ください。

◎Windows XP／Windows Vista／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。

◎USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◎パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01(別売)を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
◎通信中に電池パックやmicroSDメモリカードを取り外さないでください。
◎カードリーダーモードでメモリカードリーダー/ライターとして利用中およびMTPモード中は電波OFFモードになります。また、高速転送モードでデータ転送中にも電波OFFモードになる場合があります。各モード利用後に電波OFFモードが解除されない場合は、手動で解除してください。
◎USB充電を有効にして、パソコンの充電可能なUSBポートに接続した場合は、INFOBAR A01の充電/着信ランプが赤色に点灯し、充電されます。充電が完了すると、充電/着信ランプが消灯します。

■メモリカードリーダー/ライターとして使う

INFOBAR A01をメモリカードリーダー/ライターとして利用することができます。
あらかじめパソコンとINFOBAR A01を接続し、「USB接続モード」を「カードリーダーモード」に設定してください。

1 [USBストレージをONにする]→[OK]

INFOBAR A01にセットしたmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識され、パソコンを操作することで、メモリカードリーダー/ライターとして利用できるようになります。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、INFOBAR A01を停止

4 [USBストレージをOFFにする]

5 microUSBケーブル01(別売)をINFOBAR A01から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎マウント中は、INFOBAR A01のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作するとmicroSDメモリカードが挿入されていない旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は、カードリーダーモードを解除してから再度操作してください。
◎マウント中は、microSDメモリカードにインストールしたアプリケーションを起動することはできません。
◎マウントを実行すると電波OFFモードになります。利用後に電波OFFモードが解除されない場合は、手動で解除してください。

■MTPモードでパソコンからデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データをINFOBAR A01のmicroSDメモリカードに保存します。
あらかじめパソコンとINFOBAR A01を接続し、「USB接続モード」を「MTPモード」に設定してください。

1 パソコンのWindows Media Playerを起動

Windows Media Player 11/12をご使用ください。

2 Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行

登録したデータが自動的にINFOBAR A01に転送されます。

3 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、INFOBAR A01を停止

4 microUSBケーブル01(別売)をINFOBAR A01から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
◎データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
◎著作権保護されていないデータでも、INFOBAR A01以外で保存したデータは再生できない場合があります。
◎INFOBAR A01以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードをINFOBAR A01で初期化することをおすすめします。なお、microSDメモリカードを初期化すると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

◎拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
◎著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する

microSDメモリカードの内容をパソコンで確認する方法は、次の2つがあります。

- INFOBAR A01にmicroSDメモリカードをセットしたまま、INFOBAR A01とパソコンを接続する方法（▶P.182「パソコンと接続する」）
- microSDメモリカードをINFOBAR A01から外し、パソコンのmicroSDメモリカードリーダーにセットする方法

パソコンでmicroSDメモリカードを確認すると、次のように表示されます。

リムーバブルディスク
- .android_secure ― アプリケーションを保存
- Android ― 各種アプリケーションのデータを保存
- DCIM ― INFOBAR A01で撮影したフォトデータやムービーデータを保存
- documents ― Documents To Goで表示できるOffice文書
- download ― INFOBAR A01でダウンロードしたデータ（壁紙／音楽など）
- PRIVATE
  - AU
    - BU ― バックアップデータを保存
      電話帳／ブックマーク／スケジュールのバックアップデータを保存します。
  - PV ― 著作権保護機能対応データを保存
  - SHARP
    - BACKUP ― 電話帳／受信メール／送信メール／未送信メール／ブックマーク／スケジュール／メモ帳／ユーザー辞書／学習辞書（iWnn IME - SH edition）／おすすめ・コミュニケーション（操作使用履歴）のバックアップデータを保存
    - CM ― コンテンツマネージャーが扱うファイルを保存
      - DOC ― ドキュメント
      - ETC ― その他
      - MOVIE ― ムービー
      - MUSIC ― ミュージック
      - PICTURE ― フォト
      - SOUND ― 音声
    - MTP ― パソコンからMTP転送したデータを保存
    - PM ― ピクチャーが扱うファイルを保存
      - .PICTURE ― 振り分けられたデータ
      - DATABASE ― データベースファイル
- screen shot ― INFOBAR A01で撮影したスクリーンショットを保存
- SD_VIDEO ― ワンセグ録画データおよびブルーレイディスクレコーダーから転送されたデータを保存
- DEVPROF ― ブルーレイディスクレコーダーからの外部録画データの転送に必要なファイルを保存

memo

.android_secureフォルダについて
◎アプリケーションが保存されているフォルダです。これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。アプリケーションを起動できなくなる可能性があります。
BU／PV／BACKUP／SD_VIDEOフォルダについて
◎INFOBAR A01から操作するためのフォルダです。これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。データを正常に表示できなくなる可能性があります。
DEVPROFフォルダについて
◎ブルーレイディスクレコーダーからの外部録画データの転送時に必要なフォルダです。このフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。microSDメモリカードに外部録画データを転送できなくなる可能性があります。

ブルーレイディスクレコーダーと接続する

INFOBAR A01とブルーレイディスクレコーダーをmicroUSBケーブル01（別売）で接続すると、ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組をmicroSDメモリカードに転送できます。

1 **microUSBケーブル01（別売）をブルーレイディスクレコーダーに接続**

2 **microUSBケーブル01（別売）をINFOBAR A01に接続**

3 **［USBストレージをONにする］→［OK］**
ブルーレイディスクレコーダーを操作することで、microSDメモリカードに録画番組データを転送できるようになります。

4 **ブルーレイディスクレコーダーを操作して番組データを転送**

5 **［USBストレージをOFFにする］**

memo

◎対応機種については、以下のホームページをご参照ください。
- シャープケータイdaSHブルーレイディスクレコーダー連携ガイド
http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/bluray/a/index.html

◎ブルーレイディスクレコーダーの詳しい操作方法は、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください。
◎マウント中は、INFOBAR A01のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作するとmicroSDメモリカードが挿入されていない旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は、カードリーダーモードを解除してから再度操作してください。
◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウントできません。
◎番組データを転送すると、microSDメモリカードに保存できるデータの件数は少なくなります。
転送された番組データの再生について
◎コンテンツマネージャーで［TV／SD-Video］→データを選択と操作すると再生できます。
◎録画時間の長い番組データは転送してもリストに表示されない場合があります。
◎ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組データは、字幕は表示されません。

Smart Familinkを利用する

Wi-Fiを利用して、DLNA対応機器で公開されているデータをINFOBAR A01で再生できます。また、microSDメモリカードに保存されているデータを、DLNA対応のテレビで視聴することができます。
- DLNA対応のテレビからINFOBAR A01に接続する操作方法は、DLNA対応のテレビの取扱説明書をご参照ください。

1 **iida Home→［Smart Familink］**
Smart Familink画面が表示されます。
初回起動時には設定ガイダンスが表示されます。画面に従って操作してください。

INFOBAR A01のデータをDLNA対応機器で再生する

1 Smart Familink画面→[AQUOSで楽しむ]

INFOBAR A01に保存されている画像や動画、音楽を「表示機器設定」で選択したDLNA対応のテレビで視聴することができます。

- あらかじめINFOBAR A01で「ホームネットワーク設定」の設定が必要になります。

2 データを選択→表示しているデータを上にスライド

memo

◎Smart Familink画面→[もっとつながる機能とアプリ]と操作すると、表示中のWebページや、メールに添付された写真や動画をDLNA対応のテレビで再生することができます。

◎本製品のデータをDLNA対応機器で再生する場合は、あらかじめmicroSDメモリカード内の下記のフォルダに格納しておいてください。

- 静止画：「¥DCIM」／「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥PICTURE」
- 動画：「¥DCIM」／「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MOVIE」
- 音楽：「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MUSIC」／「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥SOUND」

◎microSDメモリカードの内容を確認するには、「microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する」（▶P.184）をご参照ください。

DLNA対応機器のデータをINFOBAR A01で再生する

1 Smart Familink画面→[AQUOS PHONEで楽しむ]

DLNA対応機器で公開されているデータをINFOBAR A01で再生できます。

- あらかじめDLNA対応機器で設定が必要になります。詳しくはDLNA対応機器の取扱説明書をご参照ください。

2 データを選択

ホームネットワークサーバの設定をする

1 Smart Familink画面→[設定]

2

Wi-Fi設定	▶P.210「Wi-Fiを利用する」	
ホームネットワーク設定	ホームネットワークサーバー	公開ネットワークで設定したサーバを稼動させるかどうかを設定します。
	公開ネットワーク	公開するネットワークを選択します。
	サーバー名	DLNA対応機器に表示されるサーバ名を設定します。
サーバー設定	接続するサーバを設定します。	
表示機器設定	データを表示させる機器を設定します。	
AQUOS IP連携設定	AQUOS IP連携	「連携機器設定」で設定した機器と連携するかどうかを設定します。
	AQUOS IP通知	メールの着信通知などを、連携している機器で表示するかどうかを設定します。
	連携機器設定	連携する機器を設定します。
キャッシュファイルの消去	キャッシュファイルを消去します。	

memo

◎Smart Familink画面→[楽しみ方]と操作すると、ガイダンスに沿ってDLNA対応機器との接続設定ができます。

端末設定

INFOBAR A01について設定する

1 **iida Home→[設定]**

設定メニュー画面が表示されます。

プロフィールを確認する

あらかじめ登録されている電話番号などのほかに、名前や住所などの情報を追加登録して、メールへの添付などに利用できます。

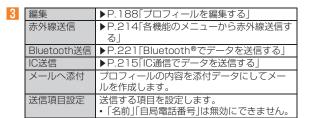
1 **設定メニュー画面→[プロフィール]**

プロフィール画面が表示されます。

《プロフィール画面》

2

3

編集	▶P.188「プロフィールを編集する」
赤外線送信	▶P.214「各機能のメニューから赤外線送信する」
Bluetooth送信	▶P.221「Bluetooth®でデータを送信する」
IC送信	▶P.215「IC通信でデータを送信する」
メールへ添付	プロフィールの内容を添付データにしてメールを作成します。
送信項目設定	送信する項目を設定します。 • 「名前」「自局電話番号」は無効にできません。

memo

◎au ICカードが挿入されていない場合、またはお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合にプロフィール確認操作を行うと、au ICカード(UIM)エラーと表示されます。「OK」を選択するとプロフィール画面が表示されます。ただし、自局電話番号、自局メールアドレス、ICCIDなどの情報は表示されません。また、プロフィール内容のメールへの添付など一部操作できない項目もあります。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。

プロフィールを編集する

1 **プロフィール画面→MENU→[編集]**

プロフィール編集画面が表示されます。

2 **項目を選択して編集**

(NO IMAGE)	カメラ	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	保存済みの写真	画像を選択して登録します。
	OFF	画像をOFFに設定します。
姓		名前を登録します。 • 姓/名を入力すると「よみ」が自動的に入力されます。
名		
姓(よみ)		
名(よみ)		

端末設定

自局電話番号※	お使いのINFOBAR A01の電話番号が表示されます。
自局メールアドレス※	お使いのINFOBAR A01のEメールアドレスが表示されます。
ICCID※	au ICカード番号が表示されます。
電話番号	電話番号を登録します。
メール	メールアドレスを登録します。
mixi※	電話帳からログインしているmixiやTwitterのアカウント名が表示されます。
Twitter※	
チャット	チャットアドレスを登録します。
住所	住所を登録します。
GPS情報	GPS情報を登録します。
所属	会社／部署／役職を登録します。
メモ	メモを登録します。
誕生日	誕生日を登録します。

※プロフィール編集画面に表示されますが、編集できません。

3 MENU→[保存]→[はい]

memo

◎ プロフィール編集画面→[⊕]／[⊗]と操作すると、項目を追加／削除できます。
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 項目によっては種別アイコンを登録できる場合があります。項目の左側に表示されているアイコンをタップして種別を選択してください。
◎ 種別アイコン登録時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列をアイコンとして登録できます。

省エネ設定をする

Wi-FiやBluetooth®接続、操作音や画面などの設定を無効、または最小値に設定し、電池の消耗を抑えます。

1 **設定メニュー画面→[省エネ設定]**

2

とにかく省エネ	「省エネ設定」のすべての項目が一括で無効、または最小値に設定されます。設定後は一括で元に戻すことはできません。戻す場合は各設定ごとに行ってください。	
おやすみ省エネ	おやすみ省エネ	「省エネレベル」の項目を指定時刻に自動で変更するかどうかを設定します。
	設定OFF時刻	「省エネレベル」の項目がOFFになる時刻を設定します。
	設定ON時刻	「省エネレベル」の項目がONになる時刻を設定します。
	省エネレベル	おやすみ省エネの対象となる項目を設定します。
Wi-Fi	▶P.210「Wi-Fiを起動する」	
Bluetooth	▶P.218「Bluetooth®を起動する」	
タッチ操作音	▶P.194「音・バイブレータ・ランプの設定をする」	
選択時の操作音		
画面ロックの音		
光を点滅させて通知		
画面の自動回転	▶P.195「画面の設定をする」	
画面の明るさ		
バックライト点灯時間		
GPS機能を使用	▶P.196「位置情報とセキュリティの設定をする」	
バックグラウンドデータ	▶P.200「アカウントと同期の設定をする」	

無線とネットワークの設定をする

Wi-FiやBluetooth®接続、ホームネットワークの設定、サイト閲覧時のフィルタリングなど、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]

2

項目			説明
電波OFFモード			通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。
Wi-Fi			▶P.210「Wi-Fiを利用する」
Wi-Fi設定			
ホームネットワーク設定			▶P.186「ホームネットワークサーバの設定をする」
Bluetooth			▶P.216「Bluetooth®機能を利用する」
Bluetooth設定			
VPN設定			VPNの設定や管理を行います。 • VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。 **VPNを追加する場合** **1. [VPNの追加]→VPNの種類を選択** **2. 必要な項目を設定/入力** **3. MENU→[保存]** **VPNに接続する場合** **1. VPNを選択** **2. ユーザー名とパスワードを入力→[接続]**
モバイルネットワーク	データ通信		データ通信を使用するかどうかを設定します。 • 無効にすると、Eメールの送受信やCメールの送信などができなくなります。
	データローミング		▶P.240「データローミングを設定する」
	ローミング設定	エリア設定	▶P.240「エリアを設定する」
		PRL設定	▶P.239「PRL(ローミングエリア情報)を取得する」
		ネットワークオペレーター	▶P.240「ネットワークを設定する」
	auネットワーク設定	高度な設定	高度な設定をします。
		au フェムトセルを探す	auフェムトセルを手動で検索します。
フィルタリング設定			青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断するかどうかを設定します。

memo

電波OFFモードについて

◎携帯電話の使用が禁止されている場所(航空機内、医療機器や電子機器のそばなど)では、電源を切ってください。

◎ ⏻ (2秒以上長押し)→[電波OFFモード]でも同様に操作できます。

◎電波OFFモードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。

◎電波OFFモードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN、Bluetooth®機能による通信などもご利用になれません。

auネットワーク設定について

◎通常は「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にすると、データ通信が行えなくなる場合があります。

◎「高度な設定」を利用する場合はIDとパスワードが必要です。

◎ GSMネットワークを利用している場合は、「au フェムトセルを探す」をご利用になれません。

フィルタリング設定について

◎ フィルタリング機能は、Wi-Fi接続時は無効です。

◎ フィルタリング設定を有効にするときに入力したパスワードは、無効にするときに必要です。お忘れにならないようご注意ください。

通話に関する設定をする

通話時間の確認や留守番電話の設定など、通話に関する設定を行います。

1 **設定メニュー画面→[通話設定]**

2

通話時間	通話時間 通話時間(海外)	前回通話・累積の通話時間の目安、前回リセットした日時を表示します。 • MENU→[リセット]→ロックNo.を入力→[OK]と操作すると、表示されている時間をリセットできます。
着信時キー動作設定	着信時にHOMEを押したときの動作を設定できます。 • 「クイックサイレント」に設定した場合は、着信音が消音になり、バイブレータや着信ランプが停止して、着信表示のみになります。	
オートアンサー	オートアンサー	イヤホン接続中に着信があった場合、自動で応答するかどうかを設定します。
	着信時間	オートアンサーで応答するまでの時間を設定します。
通話中表示設定	背景画像の選択	発信中/着信中/通話中の画像を選択して登録します。
	電話帳写真表示	電話帳に登録されている相手の方の場合、発信中/着信中/通話中に電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。
	吹き出し表示	電話帳に登録されている相手の方の場合、発信中/着信中/通話中にメール着信などのメッセージがあるときに、吹き出しアイコンを表示するかどうかを設定します。
発信者番号通知	自分の電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。	
音声・伝言メモ	伝言メモリスト	▶P. 192「伝言メモを再生する」
	音声メモリスト	▶P. 193「音声メモを再生する」
	伝言メモ設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。
	応答メッセージ設定	伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。 • 項目をロングタッチ→[再生]と操作すると、メッセージを確認できます。
	応答時間設定	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
国際発信設定	国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。 **リストを編集する** **1. 項目を選択→[全リストから変更]** **2. 項目を選択→[登録]** **リストを直接入力して編集する** **1. 項目を選択→[直接入力して変更]** **2. 国名/国番号を入力→[OK]**	

留守番電話	▶P.224「お留守番サービスを利用する（標準サービス）」	
転送電話	▶P.229「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」	
着信拒否	▶P.193「着信を拒否する」	
アカウント	着信を受ける	インターネット通話の着信を受けるかどうかを設定します。
インターネット通話使用	インターネット通話の使用方法について設定します。	

memo

通話時間について

◎表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。

◎通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

発信者番号通知について

◎電話をかける場合、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力したときは、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。

◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。

◎海外でのローミング中は、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

伝言メモについて

◎伝言メモとオートアンサーの応答時間を同じ時間に設定した場合は、伝言メモが優先されます。

◎録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。

国際発信設定について

◎項目を選択→［リストから削除］と操作すると、国番号のリストを削除できます。

アカウントについて

◎「アカウントを追加」を選択すると、インターネット通話で使用するアカウントを作成できます。

伝言メモを再生する

1 設定メニュー画面→［通話設定］→［音声・伝言メモ］→［伝言メモリスト］

伝言メモリスト画面が表示されます。

① **伝言メモの再生状態を示すアイコン**

：未再生の伝言メモ（赤色）

：再生済みの伝言メモ（緑色）

：保護された伝言メモ

② **相手の方の名前／電話番号／非通知着信の理由**

③ **伝言メモが録音された日時**

《伝言メモリスト画面》

2 再生する伝言メモを選択

伝言メモが再生されます。

停止	伝言メモの再生を停止します。
保護／解除	伝言メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の伝言メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で伝言メモを聞くことができます。

memo

◎ 伝言メモが複数ある場合、再生中に「◀◀」／「▶▶」をタップすると前／次の伝言メモを再生できます。

音声メモを再生する

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[音声・伝言メモ]→[音声メモリスト]

2 再生する音声メモを選択

音声メモが再生されます。

停止	音声メモの再生を停止します。
保護／解除	音声メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の音声メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で音声メモを聞くことができます。

memo

◎ 音声メモが複数ある場合、再生中に「◀◀」／「▶▶」をタップすると前／次の音声メモを再生できます。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[着信拒否]

2 ロックNo.を入力→[OK]

3

指定番号	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信を拒否します。 **電話帳から登録する場合** **1. MENU→[編集]→[新規登録]→[電話帳引用]** **2. 連絡先を選択→電話番号を選択** **電話番号を入力して登録する場合** **1. MENU→[編集]→[新規登録]→[直接入力]** **2. 電話番号を入力→[↵]**
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

memo

◎ メッセージ項目をロングタッチし「再生」を選択すると、メッセージを確認できます。

◎ お留守番サービスもしくは着信転送サービスの無応答転送／フル転送を設定している場合は、「無応答切断」に設定してもお留守番サービスもしくは着信転送サービスに転送されます。

◎ 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

音・バイブレータ・ランプの設定をする

マナーモードの設定や音声着信音など、音やバイブレータ、ランプに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面→[サウンド設定]

2

マナーモード	▶P.194「マナーモードを設定する」	
バイブ	着信時のバイブレータを有効にするかどうかを設定します。	
音量	着信音や音楽、動画再生時などの音量を設定します。	
イヤホンの種類	接続するイヤホンの種類を設定します。	
着信音	音声着信音に設定するデータを選択して登録します。	
バイブのパターン	バイブレータの振動パターンを設定します。	
着信ランプ	点滅パターン	ランプの点滅パターンを設定します。
	点滅カラー	ランプの点滅色を設定します。
通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。	
鳴動時間	鳴動時間を設定します。 • 「時間設定」を選択した場合は、鳴動時間を設定します。	
光を点滅させて通知	新着通知受信時、スリープモード中に通知を確認するまで充電/着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。	
タッチ操作音	ダイヤルキーで電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。	
選択時の操作音	メニュー選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。	
画面ロックの音	画面のロック/ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。	
入力時バイブ	MENU/HOME/🔍などを長押ししたときにバイブレータが動作するかどうかを設定します。	

memo

イヤホンの種類について

◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。また、運転中に着信音やバイブレータをOFFにできます。

1 設定メニュー画面→[サウンド設定]→[マナーモード]

2 マナーモードを選択

	各着信音/受信音の音量	各着信/受信時のバイブレータ	各操作音の音量
通常マナー	OFF	ON	OFF
ドライブマナー※	OFF	OFF	OFF
サイレントマナー	OFF	OFF	OFF

※ 応答メッセージが「ドライブ」、応答時間が「3秒」、伝言メモが「ON」に固定されます。

memo

◎ 自動車または原動機付自転車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードを「ドライブマナー」に設定してください。

端末設定

◎ [⏻]（2秒以上長押し）→[マナーモード]と操作するか、ロック解除画面で[ ]を長押しすると、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。
◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音、ボイスレコーダーの録音開始／停止音は鳴動します。
◎ マナーモード設定中にコンテンツマネージャーのデータを再生したときや、機能設定の内容を再生して確認したときは、消音の状態でデータが再生されます。機能によっては、再生中に[ ]／[ ]を押すと音量を調節できます。

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面→[画面設定]

2

画面の明るさ		画面の明るさを設定します。 • [明るさを自動調整]→[ダイナミック]／[ノーマル]と操作すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
画面の自動回転		INFOBAR A01の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
アニメーション表示		画面が切り替わるときのアニメーション表示を設定します。
バックライト点灯時間		バックライトの点灯時間を設定します。
ベールビュー	表示パターン	ベールビュー表示時のパターンを設定します。
	濃度設定	ベールビュー表示時の濃度を設定します。
	見栄え補正	ベールビュー表示時の正面からの見栄えを設定します。
	ベールビュー	ベールビューを有効にするかどうかを設定します。 • ベールビューを設定すると、隣の人から表示内容をのぞかれにくくすることができます。
文字フォント切替		画面に表示される文字フォントを変更します。
壁紙		壁紙として表示する画像を選択して登録します。

USB接続の設定をする

INFOBAR A01をmicroUSBケーブル01（別売）でパソコンと接続したときの接続モードを設定します。

1 設定メニュー画面→[USB接続]

2

USB充電	パソコンと接続したときに、同時に充電するかどうかを設定します。
USB接続モード	パソコンと接続した状態で、目的に応じた接続モードを設定します。 ▶P.182「パソコンと接続する」

memo

◎ USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて時間が長くかかる場合があります。

位置情報とセキュリティの設定をする

GPS情報の使用やINFOBAR A01使用時のセキュリティ方法について設定します。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]

2

項目		説明
無線ネットワークを使用		Wi-Fiまたはモバイルネットワークを利用して位置情報を取得するかどうかを設定します。
GPS機能を使用		高精度な位置情報を取得するかどうかを設定します。
ロック設定	画面ロック	スリープモードになったときに、ロックするかどうかを設定します。
	遠隔ロック	▶P.197「遠隔ロックを設定する」
	音声発信制限	電話の発信を制限するかどうかを設定します。 • 音声発信制限中でも、緊急通報番号や157(お客さまセンター)への発信は可能です。緊急通報番号へはローミング中でも発信が可能です。
	電話帳制限	電話帳を利用した操作を制限するかどうかを設定します。
ロック解除方法	指リスト ロックNo. パスワード	ロック解除方法を変更します。 **1. 設定されているロック解除方法で入力** **2. 新しいロック解除方法で入力→[OK]/[次へ]** **3. 確認のためもう一度新しいロック解除方法で入力→[OK]/[確認]**
ロック解除パターン変更	指リスト ロックNo. パスワード	設定しているロック解除方法のパターンを変更します。 **1. 設定されているパターンを入力** **2. 新しいパターンを入力→[OK]/[次へ]** **3. 確認のためもう一度新しいパターンを入力→[OK]/[確認]**
指の軌跡を線で表示		「ロック解除方法」が「指リスト」のとき、指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。
入力時バイブ		ロックを解除するときにバイブレータが動作するかどうかを設定します。
UIMカードロック設定	UIMカードをロック	起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力→[OK]**
	UIM PINの変更	PINコードを変更します。UIM PINを変更する場合は、「UIMカードをロック」を有効に設定してください。 **1. 古いPINコードを入力→[OK]** **2. 新しいPINコードを入力→[OK]** **3. 確認のためもう一度新しいPINコードを入力→[OK]**
パスワードを表示		ロック解除時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択		デバイス管理者が認証済みのときに、デバイス管理者を設定します。
安全な認証情報の使用		安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。 **認証情報ストレージパスワードを入力→[OK]** • あらかじめ「パスワードの設定」から認証情報ストレージパスワードを設定しておいてください。

microSD から インストール	暗号化された証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。 **1. 認証情報のパスワードを入力→[OK]** **2. 証明書の名前を指定→[OK]** • 認証情報ストレージパスワードを設定していない場合は、設定画面が表示されます。認証情報ストレージパスワードを設定してください。
パスワードの 設定	認証情報ストレージパスワードを設定します。 **1. 新しい認証情報ストレージパスワードを入力** **2. 確認のためもう一度新しい認証情報ストレージパスワードを入力→[OK]**
ストレージの 消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

memo

GPS機能を使用について

◎電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
◎電波が良好な場所でご利用ください。

ロック設定について

◎画面ロックを解除するには、ロックNo.の入力が必要です。
◎画面ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）への電話はかけられます。
◎ロック解除方法を指リストパターンに設定している場合、画面ロック解除時に入力に5回失敗すると、「忘れた場合」が表示されます。「忘れた場合」をタップし、Googleアカウントでログインしてロックを解除すると、新しい指リストパターンを設定できます。ただし、Googleアカウントを設定していない場合、「忘れた場合」は表示されません。
◎各機能の利用制限中は、ロックNo.を入力することで、一時的に続きの操作を行うことができます。

ロック解除方法について

◎ロックNo.（お買い上げ時は「1234」）は、4～16桁のお好みの数字に設定できます。
◎パスワードは、4～16桁のお好みの英数字・記号に設定できます。

UIMカードロック設定について

◎PINコードについては、「PINコードについて」（▶P.25）をご参照ください。

遠隔ロックを設定する

INFOBAR A01を紛失した場合などに、特定の電話からINFOBAR A01へ電話をかけて着信を繰り返すことにより、遠隔操作でINFOBAR A01を他人が使えない状態にすることができます。

1 設定メニュー画面→[位置情報とセキュリティ]→[ロック設定]→[遠隔ロック]

2 ロックNo.を入力→[OK]

3

有効番号 リスト	電話番号を3件まで登録できます。 **1. [新規登録]** **2. [直接入力]→電話番号を入力→[ ]** 「電話帳引用」「プロフィール引用」から電話番号を選択します。「公衆電話」を選択することもできます。
指定時間	最初の着信から、「着信回数」で設定した回数分の着信があるまでの制限時間を指定します。
着信回数	遠隔ロックが起動するまでの着信の回数を設定します。
本体ロック 解除	本体の操作で、遠隔ロックを解除できるように設定します。 • 有効に設定すると、本体の操作または遠隔操作でロックを解除できます。 • 無効に設定すると、遠隔操作のみでロックを解除できます。

■登録した電話から遠隔ロックをかけるには

有効番号リストに登録した電話から、設定した条件（指定時間･着信回数）でINFOBAR A01へ電話をかけます。

memo

◎遠隔ロックを起動させるときは、発信者番号を通知して電話をかけてください。
◎INFOBAR A01の電源が入っていない場合や、INFOBAR A01がサービスエリア外にある場合、「電波OFFモード」に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にINFOBAR A01がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。
◎遠隔ロックを解除するには、有効番号リストに登録した電話から、設定した条件（指定時間･着信回数）でINFOBAR A01へ電話をかけます。
◎au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。
◎着信回数のカウント中に次の操作を行うと、それまでにカウントした着信の回数がリセットされます。
- 「遠隔ロック」の設定を行った場合
- 「オールリセット」した場合

◎次の場合は、着信回数はカウントされません。
- 非通知または通知不可能により発信者番号が通知されない場合
- 通話中の割込着信の場合

◎着信回数は、登録してある電話番号ごとにカウントされます。
◎遠隔ロック操作中にINFOBAR A01で電話に出たり、着信拒否したり、伝言メモで応答したりしても、その着信はカウントされます。また、「着信拒否」で着信拒否を設定した電話番号からの着信もカウントされます。

■遠隔ロックによる制限内容

遠隔ロック中は、次のようにINFOBAR A01の使用が制限されます。
- iida Homeは表示されず、「遠隔ロック中」と表示されます。
- アラームは起動しません。
- ワンセグの視聴／録画は開始されません。
- 電話帳に登録された着信相手の名前は表示されません。

memo

◎遠隔ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）への電話はかけられます。

■安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには

あらかじめ遠隔ロックの設定をしていない場合でも、お客さまセンターへの電話や、パソコンからのお手続きで、遠隔操作で「遠隔ロック」をかけることができます。
安心ロックサービスは、無料で利用できます。

■お客さまセンターに電話して遠隔ロックをかける／解除する

【au電話から】局番なし**113**（無料）
【au以外の携帯電話、一般電話から】**0077-7-113**（無料）
- 受付時間は、24時間です。
- 音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■auお客さまサポートで遠隔ロックをかける／解除する

auお客さまサポート（**https://cs.kddi.com/**）にログインして、画面の指示に従ってお手続きをしてください。

memo

◎安心ロックサービスを初めてご利用になる際には、お申し込みが必要です。（紛失後のお申し込みでもご利用になれます。）

■安心ロックサービスご利用にあたっての注意

- 安心ロックサービスは、ご契約者からのお申し出があった場合に遠隔ロックをかけます。
- INFOBAR A01の電源が入っていない場合や、INFOBAR A01がサービスエリア外にある場合、「電波OFFモード」に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にINFOBAR A01がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。
- au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。
- INFOBAR A01を紛失した場合は、遠隔ロックに加えて紛失時の手続きを行うことをおすすめします。紛失時の手続きについては、「アフターサービスについて」(▶P.248)をご参照ください。

アプリケーションの設定をする

1 設定メニュー画面→[アプリケーション]

2

提供元不明のアプリ	ブラウザでダウンロードしたアプリケーションなど、提供元が不明な場合でもインストールを許可するかどうかを設定します。	
優先インストール先	新しいアプリケーションの優先インストール先を設定します。	
ファイル送信メールソフト	ファイルを添付してメール送信するときに使用するメールソフトを設定します。 **[メールソフトを指定]→アプリケーションを選択**	
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えることができます。	
アプリケーションの管理	インストールされているアプリケーションに関して、アンインストールやキャッシュの消去、強制停止などができます。	
実行中のサービス	実行中のサービスを表示します。 • サービスを選択→[停止]→[OK]と操作すると、実行中のサービスを停止することができます。	
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。	
電池使用量	利用中の機能の電池使用量を項目ごとに表示します。 • 項目を選択すると、電池使用量の詳細が表示されます。 • 電池使用量を調整できる項目の場合、詳細画面に表示される機能名をタップして、調整する画面を表示できます。	
開発	USBデバッグ	USB接続時にデバッグモードにするかどうかを設定します。
	スリープモードにしない	充電中やパソコンとカードリーダーモード／高速転送モードで接続中に、スリープモードにならないようにするかどうかを設定します。
	擬似ロケーションを許可	擬似位置情報データの利用を許可するかどうかを設定します。

memo

ホーム切替について

◎お買い上げ時は切り替えることができるホームアプリがインストールされていません。ホーム切替を利用する場合は、あらかじめホームアプリをAndroidマーケットなどからダウンロードしてインストールする必要があります。

アプリケーションの管理について

◎Androidマーケットなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。

開発について

◎開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

アカウントと同期の設定をする

アカウントの追加や、データの自動同期について設定します。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2

バックグラウンドデータ	アプリケーションが、いつでも自動的にデータ通信できるようにするかどうかを設定します。
自動同期	自動的にデータを同期するかどうかを設定します。 •「アカウントを管理」の一覧に登録されたアカウント内の有効に設定された項目が自動同期されます。

memo

◎Exchangeサーバと同期する場合、グループが設定されている連絡先は同期されません。

手動で同期する

「自動同期」が無効のとき、登録されたアカウントを同期します。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2 同期するアカウントを選択

3 同期する項目を選択

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→削除するアカウントを選択→[アカウントを削除]

2 [アカウントを削除]

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「オールリセット」が必要です。

INFOBAR A01をリセットする

1 設定メニュー画面→[プライバシー]→[オールリセット]

2 [携帯電話をリセット]

3 ロックNo.を入力→[OK]→[すべて消去]

memo

◎オールリセットを実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。オールリセットを実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。

◎「microSD内データを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータも消去できます。
◎設定メニューの以下の項目は、オールリセットを実行してもリセットされません。
- エリア設定
- UIMカードロック設定

◎オールリセットを実行すると一部のプリインストールされているアプリケーションとショートカットが削除されます。
お買い上げ時にインストールされているアプリケーションやウィジェットは、下記のメーカーサイト「GALAPAGOS SQUARE」からダウンロードできます。
http://galapagossquare.com/

microSDメモリカードと端末容量の設定をする

1 設定メニュー画面→[microSDと端末容量]

microSDと端末容量の設定画面が表示されます。

2

合計容量	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。 • メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
空き容量	
microSDバックアップ	▶P.201「本体メモリ内のデータをバックアップする」
microSDのマウント解除／microSDをマウント	▶P.203「microSDメモリカードを初期化する」
microSD内データを消去	
空き容量	本体の空き容量が確認できます。

本体メモリ内のデータをバックアップする

電話帳、受信メール、送信メール、未送信メール、ブックマーク、スケジュール、メモ帳、ユーザー辞書／学習辞書(iWnn IME - SH edition)、おすすめ･コミュニケーション(操作使用履歴)の登録内容をmicroSDメモリカードにバックアップして、控えを作成できます。

1 設定メニュー画面→[microSDと端末容量]→[microSDバックアップ]

microSD保存･読み込み画面が表示されます。

2 [保存]→ロックNo.を入力→[OK]

保存できるデータカテゴリの一覧が表示されます。

3 保存するデータカテゴリを選択

4 [開始]

5 [はい]

電波OFFモードになり、バックアップが開始されます。
スケジュールを選択した場合は、アカウント選択画面が表示されますので、アカウントを選択→[OK]と操作してください。

6 [完了]

memo

◎電池残量が少ないときはバックアップできません。
◎本体の空き容量が11MB未満の場合は、microSDバックアップを利用できません。
◎すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、カテゴリ選択時にMENU→[全件チェック]／[全件解除]と操作します。また、前回バックアップ時と同じ項目を選択したい場合は、MENU→[前回選択項目のチェック]と操作します。
◎バックアップが完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で戻す必要があります。

◎バックアップできる受信メール、送信メール、未送信メールはCメール／Eメールです。
◎お買い上げ時に保存されている受信メールはバックアップできません。
◎バックアップファイルは最大1,000件まで保存できます。

■バックアップファイルを読み込む

1 microSD保存・読み込み画面→[読み込み]

2 ロックNo.を入力→[OK]

読み込むことができるデータカテゴリの一覧が表示されます。

3 読み込むデータカテゴリを選択

バックアップファイルの一覧が表示されます。

4 読み込むバックアップファイルを選択

5 [追加登録開始]／[上書登録開始]

「ユーザー辞書／学習辞書(iWnn IME - SH edition)」を選択した場合は、本体のユーザー辞書／学習辞書が削除される旨のメッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

6 [はい]

電波OFFモードになり、読み込みが開始されます。
スケジュールを選択した場合は、カレンダーシート選択画面が表示されますので、カレンダーシートを選択→[OK]と操作してください。

7 [完了]

memo

◎すべてのカテゴリを選択／解除したい場合、バックアップ時と同様の操作で可能です。バックアップファイルは最新のものが選択されます。
◎アカウントが設定されている場合、電話帳読み込み時に登録先を選択する画面が表示されます。
◎読み込みが完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で戻す必要があります。
◎電池残量が少ないときは読み込みできません。
◎バックアップデータを上書登録中に操作がキャンセルされた場合は、処理中の端末内のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。
◎ユーザー辞書／学習辞書は追加登録を行った場合でも上書きされます。

■バックアップファイルを設定・管理する

1 microSD保存・読み込み画面→[設定・管理]

2

バックアップファイルの整理	各データカテゴリ内で、バックアップファイルを個々に選択して削除することができます。 • バックアップデータは1,000ファイルまで表示されます。
電話帳の画像設定	電話帳をバックアップするときに画像（顔）を含めるかどうかを設定できます。
結果画面閲覧	バックアップ／読み込みの結果一覧が表示されます。項目を選択すると詳細結果を確認できます。
おすすめの自動バックアップ	本体に保存できる容量が上限に達したときに、おすすめ・コミュニケーションデータをmicroSDメモリカードへバックアップするかどうかを設定できます。
電話帳との関連付け	コミュニケーションデータと電話帳を関連付けることができます。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ（アプリケーションを含む）はすべて削除されます。

1 設定メニュー画面→[microSDと端末容量]→[microSDのマウント解除]→[OK]

2 [microSD内データを消去]

3 [microSDをフォーマット]→ロックNo.を入力→[OK]→[すべて消去]

memo

◎初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、「microSDをマウント」を選択してください。
◎データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。
◎microSDメモリカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする

INFOBAR A01の言語や文字入力時の設定を行います。

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]

2

項目		説明
言語（Language）を選択		日本語と英語の表示を切り替えます。
単語リスト		単語リストを表示します。 • MENU→[追加]→単語などを入力→[OK]と操作すると、単語リストに単語などを登録できます。 • 登録した単語などを編集／削除する場合は、単語などを選択し「編集」／「削除」を選択します。
iWnn IME - SH edition		▶P.61「iWnn IME - SH editionの設定を行う」
Androidキーボード	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうかを設定します。
	タップして語句を修正	入力した語句をタップして修正するかどうかを設定します。
	自動大文字変換	英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
	設定キーを表示	「 」を表示するかどうかを設定します。
	音声入力	「 」の表示について設定します。
	入力言語	スペースキーをスライドして変更する言語を設定します。
	入力候補を表示	文字入力時に、入力候補を表示するかどうかを設定します。

音声入出力の設定をする

音声認識装置やテキストから音声への変換オプションの設定をします。

1 設定メニュー画面→[音声入出力]

2

音声認識装置の設定	言語	音声入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声入力で検索する場合に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを規制するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に「音声の速度」と「言語」の設定に従って再生するかどうかを設定します。
	既定のエンジン	テキストを読み上げる場合に使用する音声合成エンジンを設定します。
	音声データをインストール	Androidマーケットから音声データをインストールできます。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	Pico TTSを設定します。 Androidマーケットからデータをインストールすることができます。

◎音声入力する言語により、「セーフサーチ」「不適切な語句をブロック」が利用できない場合があります。

◎テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語（Language）」を選択」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。

◎microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ケータイアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

ユーザー補助の設定をする

ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを利用できます。また、通話中に（電源キー）を押すと通話を終了するように設定できます。

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

ユーザー補助アプリケーションをインストールするかどうかの確認画面が表示された場合、ユーザー補助オプションを利用するときは「OK」を選択してユーザー補助アプリケーションをインストールしてください。「電源キーで通話を終了」を設定するときは「キャンセル」を選択してください。

2		
	ユーザー補助	ユーザー補助オプションを利用するかどうかを設定します。 • お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションがインストールされていません。ユーザー補助オプションを利用する場合は、あらかじめユーザー補助アプリケーションをAndroidマーケットなどからダウンロードする必要があります。 • ユーザー補助オプションを利用する場合は、利用するユーザー補助サービスを有効にしてください。
	電源キーで通話を終了	通話中に(⏻)を押した場合に通話を終了するかどうかを設定します。

au one-IDの設定をする

au one-IDを設定します。auが提供しているさまざまなサービスを利用するためにはau one-IDが必要です。

1 設定メニュー画面→[au one-ID設定]

2 [OK]→[au one-IDの設定・保存]

認証を開始します。
「au one-IDとは？」を選択するとブラウザが起動し、au one-IDの説明が表示されます。

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定します。
au one-IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

歩数計の設定をする

1 設定メニュー画面→[歩数計設定]

「歩数計設定」については、「歩数計を設定する」(▶P.178)をご参照ください。

日付と時刻を設定する

1 設定メニュー画面→[日付と時刻]

2

項目	説明
自動	ネットワークから通知される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
日付設定	日付を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。

端末情報に関する設定をする

INFOBAR A01のバージョンなどの情報を確認します。また、アップデートやセンサーの補正などを行います。

1 設定メニュー画面→[端末情報]

2

項目	説明
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
電池使用量	利用中の機能の電池使用量を項目ごとに表示します。 • 項目を選択すると、電池使用量の詳細が表示されます。 • 電池使用量を調整できる項目の場合、詳細画面に表示される機能名をタップして、調整する画面を表示できます。
タッチパネル補正	タッチパネルが正しく反応するように調整します。 6箇所の円の中心をタップしてください。 • タッチパネルには通常操作する指で触れてください。

センサー感度補正	モーションセンサー、地磁気センサーの補正を行います。 本体をしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。 補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
ケータイアップデート	▶P.206「ケータイアップデート(ソフトウェアの更新)をする」
メジャーアップデート	▶P.206「メジャーアップデート(OSの更新)をする」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。

◎ 端末情報画面では、上記以外にモデル番号やソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

メジャーアップデート(OSの更新)をする

メジャーアップデートとは、INFOBAR A01のOSを更新する機能です。

1 **設定メニュー画面→[端末情報]→[メジャーアップデート]**

2

アップデートの確認		手動でアップデートの有無を確認します。 • 新しいバージョンがリリースされている旨のメッセージが表示された場合は、「OK」を選択するとブラウザが起動してメジャーアップデートの方法が表示されます。内容をご確認ください。
アップデート実行	Wi-Fi経由でアップデート	Wi-Fiを利用してOSのアップデートを実行します。 • アップデートのデータはmicroSDメモリカードに保存されます。あらかじめmicroSDメモリカードをセットしてください。
	PC経由でアップデート	パソコンを利用してOSのアップデートを実行します。 • あらかじめパソコンにメジャーアップデートツールを準備して、パソコンとINFOBAR A01を接続します。詳しくは「アップデートの確認」で表示されるメジャーアップデートの方法をご確認ください。
アップデートの自動確認		アップデートの有無を定期的に自動で確認するかどうかを設定します。

ケータイアップデート(ソフトウェアの更新)をする

INFOBAR A01は、ケータイアップデートに対応しています。ケータイアップデートとは、INFOBAR A01のソフトウェアを更新する機能です。

ケータイアップデートで、INFOBAR A01のソフトウェアを更新する方法は次の通りです。なお、更新方法にかかわらず、ソフトウェアの更新前と更新後にINFOBAR A01の再起動が必要です。自動更新型を設定している場合は、INFOBAR A01が自動的に再起動します。

更新方法	内容
手動更新	ソフトウェアの更新が必要かどうかをネットワークに接続して確認できます。 • **更新が必要な場合**：ソフトウェア更新用データをダウンロードして更新※ • **更新が不要な場合**：そのまま引き続きご利用可能
自動更新	auからのソフトウェア更新のお知らせを受信した場合に更新します。 • **自動更新型**：お知らせを受信したときに自動的に更新 • **ユーザー承認型**：お知らせを受信したときに確認画面を表示

※ダウンロード後すぐに更新せずに、INFOBAR A01を使用しない夜間など、更新開始日時を指定して更新することもできます（予約更新）。

1 設定メニュー画面→[端末情報]→[ケータイアップデート]

2

アップデート開始	ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します（手動更新）。「実行」を選択すると確認を開始します。 **すぐに更新する場合** **1. [実行]** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。 **後で更新する場合（予約更新）** **1. [予約]** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了すると更新開始日時を設定する画面が表示されます。 **2. 日付、時刻を設定→[予約]** 更新開始日時に自動的にINFOBAR A01が再起動してソフトウェアが更新されます。
自動設定	自動更新型の更新のお知らせを受信したときに、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、ソフトウェアを更新するかどうかを設定します。
予約時刻	設定されている更新開始日時を変更します。 •「解除」を選択すると、予約更新は解除されます。
リマインド機能	アップデートのお知らせを繰り返し表示するかどうかを設定します。

memo

◎更新開始日時を設定した後で「日付と時刻」の「自動」を有効に変更した場合、または「日付設定」「時刻設定」の設定を変更した場合は、予約更新が解除されます。

◎予約更新を解除した場合は、ソフトウェアを更新するために「アップデート開始」をもう一度実行してください。予約更新を解除した後で「アップデート開始」を実行する場合は、画面の指示に従ってINFOBAR A01を再起動してください。

■ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新にかかる情報料・通信料は無料です。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、INFOBAR A01をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なINFOBAR A01をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとケータイアップデートに失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ケータイアップデートに失敗することがあります。

- ソフトウェアを更新しても、INFOBAR A01に登録された各種データ(電話帳、メール、フォト、楽曲データなど)や設定情報は変更されません。ただし、お客様のau電話の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
- ケータイアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート開始」によりケータイアップデートを実行し直してください。
- 「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

ケータイアップデート実行中は、以下のことは行わないでください

- ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ケータイアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ケータイアップデートが実行できない場合などについて

- ケータイアップデートに失敗すると、INFOBAR A01が使用できなくなる場合があります。INFOBAR A01が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

■更新のお知らせ(自動更新型)が来ると

自動更新型の「ソフトウェア更新のお知らせ」を受信した場合は、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとソフトウェアが更新されます。

memo

◎「自動設定」を「OFF」に設定している場合は、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

■更新のお知らせ(ユーザー承認型)が来ると

ユーザー承認型のソフトウェア更新のお知らせを受信した場合は、確認画面が表示されます。

■すぐに更新する場合

「実行」を選択するとソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。

■後で更新する場合

BACKを押すと、更新が中止されます。「アップデート開始」によりケータイアップデートを実行し直してください。

初期設定を行う

1 設定メニュー画面→[初期設定]

「初期設定」については、「初期設定を行う」(▶P.35)をご参照ください。

Wi-Fi／データ通信

Wi-Fiを利用する

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
Wi-Fiを利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN親機)をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fiを起動する

1 iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi]

iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]→[Wi-Fi]でも同様に操作できます。

アクセスポイントに接続する

1 iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-Fiが起動している場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力→[接続]

「パスワードを表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

◎アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎お使いの環境によっては、通信速度の低下やご利用になれない場合があります。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを自動で登録する

■ AOSS™マークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi簡単登録]→[AOSS方式]

2 [はい]

アクセスポイントを検索し登録します。アクセスポイントのAOSSボタンを押し続けて、AOSSモードに設定してください。

3 [OK]

■ WPSマークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi簡単登録]→[WPS方式]

2

プッシュボタン方式	アクセスポイント機器(無線LAN親機)の専用ボタンを押すことで、登録します。
PINコード方式	表示されたPINコードをアクセスポイント機器(無線LAN親機)に入力して、登録します。

3 [はい]

アクセスポイントを検索し登録します。プッシュボタン方式ではアクセスポイントのボタンを押し続けて、WPSモードに設定してください。

4 [OK]

◎ アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。
◎ 簡単登録で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiネットワークを追加]

2 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

3 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

3 パスワードを入力→[保存]

「パスワードを表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

3 必要な項目を設定/入力→[保存]

◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
◎ Wi-Fi設定画面→アクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークを変更]と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

アクセスポイントとの接続を切る

1 Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントを選択→[切断]

Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークから切断]→[はい]でも同様に操作できます。

memo

◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fiのネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークの通知]

接続を一時停止するタイミングを設定する

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 Wi-Fiのスリープ設定を選択

静的IPアドレスを使用して接続する

1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]→[静的IPを使用する]

2 項目を選択→情報を入力→[OK]

公衆無線LANのアクセスポイントに自動ログインする

1 Wi-Fi設定画面→[公衆無線LAN自動ログイン]

2 公衆無線LANサービスを選択

3

自動ログイン	利用可能エリアに入ったとき、自動でログインするかどうかを設定します。
ログインID	ログイン時のIDを入力します。
パスワード	ログイン時のパスワードを入力します。
ログオフ時Wi-Fi自動OFF	ログオフしたとき、Wi-FiをOFFにするかどうかを設定します。
対象エリア	対象エリアを設定します。

4 [OK]

memo

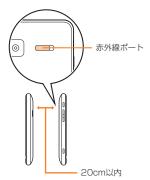
◎「自動ログイン」が「ON」のとき、アクセスポイント利用可能エリアに入ると、ログインが開始され、ステータスバーに認証状態のメッセージが表示されます。認証に失敗した場合は、ログインIDとパスワードの再入力が必要になります。

◎ 対応サービスエリア情報はWi-Fi接続時に自動的に更新確認されます。この機能はオプションメニューから無効にすることもできます。

赤外線通信でデータを送受信する

INFOBAR A01と赤外線通信機能を持つau電話との間で、電話帳、プロフィール、メモ帳、ブックマーク、メール、フォトデータ、ムービーデータ、ボイスレコーダーで録音したデータなどを送受信できます。
また、INFOBAR A01は高速赤外線通信方式であるIrSimple™規格に対応しています。IrSimple™規格に対応した携帯電話同士またはプリンターなどに大容量のデータを素早く転送できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、INFOBAR A01の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

◎ INFOBAR A01の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎ 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎ 送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎ 赤外線通信中に音声着信、アラームなど、他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。
◎ IrSS™通信で送受信できるデータ容量は10MBまでです。データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎ 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎ 相手側の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。

赤外線でデータを送信する

1 iida Home→[赤外線送受信]→[送信]

2 送信するデータを選択

3

赤外線送信	選択したデータを通常の赤外線通信で送信します。
IrSS送信	選択したデータをIrSS™送信します。
送信項目設定	送信するプロフィールの項目を設定します。

各機能のメニューから赤外線送信する

例：電話帳を1件送信する場合

1 **電話帳詳細画面→MENU→[赤外線送信]**

2 **[はい]**

3 **[OK]**

例：電話帳を複数送信する場合

1 **電話帳一覧画面→MENU→[赤外線送信]**

2

選択送信	連絡先を選択して送信します。 **連絡先を選択→[送信]→[はい]**
全件送信	連絡先をすべて送信します。 **[はい]→ロックNo.を入力→[OK]**

3 **[はい]→認証コードを入力→[OK]→[OK]**

memo

◎電話帳を全件送信する場合は、「送信項目設定」にかかわらず、プロフィールのすべての内容も送信されます。
◎複数のGoogleアカウントを設定している場合、電話帳を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている電話帳が送信されます。
◎データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
◎アプリケーションによっては、「IrSS送信※」を利用することができます。
※IrSS™送信は、相手側がIrSS™対応機器である必要があります。また、対応機器であれば複数の機器に一度に送信することができます。正常に受信したかは、受ける側でご確認ください。

赤外線でデータを受信する

1 **iida Home→[赤外線送受信]→[受信]／[全件受信]**

「全件受信」を選択した場合は、認証コードを入力し、データ受信後にロックNo.を入力してください。

2

1件受信した場合	「はい」を選択して受信データを追加登録します。
全件受信した場合	受信データを登録する際に、INFOBAR A01内のデータを残すか削除するかを選択します。 **追加登録**：データを残して登録 **全件削除して登録**：データをすべて削除して登録 **登録しない**：受信データを登録せずに破棄

memo

◎電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
◎電話帳を全件受信して「全件削除して登録」を選択した場合、受信データの1件目がプロフィールに上書き登録されます（INFOBAR A01の自局電話番号・自局メールアドレスは除く）。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。

■受信データの登録先について

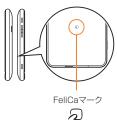
受信データ	登録先／保存先
vCard	プロフィールまたは電話帳
vNote（メモ帳）	メモ帳
vBookmark	ブックマーク
vMessage	コンテンツマネージャー
その他のデータ	コンテンツマネージャー

◎ データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

IC通信を利用する

IC通信機能を搭載した携帯電話との間で、電話帳、プロフィール、メモ帳、ブックマーク、メール、フォトデータ、ムービーデータ、ボイスレコーダーで録音したデータなどを送受信できます。

IC通信の利用について

IC通信を行う際には、受信側であらかじめ設定することなく、データをやりとりできます。
2台の携帯電話を平行にしてFeliCaマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。

◎「おサイフケータイロック設定」ご利用中は、IC通信を利用できません。
◎ すべてのIC通信機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。
◎ 送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

IC通信でデータを送受信する

IC通信でデータを送信する

各機能のメニューから、データをIC送信することができます。

例：電話帳を1件送信する場合

1. **電話帳詳細画面→MENU→[IC送信]**
2. **[はい]**
3. **[OK]**

例：電話帳を複数送信する場合

1. **電話帳一覧画面→MENU→[IC送信]**
2.

選択送信	連絡先を選択して送信します。 **連絡先を選択→[送信]→[はい]**
全件送信	連絡先をすべて送信します。 **[はい]→ロックNo.を入力→[OK]→認証コードを入力→[OK]**

3. **[OK]**

memo

◎電話帳を全件送信する場合は、「送信項目設定」にかかわらず、プロフィールのすべての内容も送信されます。
◎複数のGoogleアカウントを設定している場合、電話帳を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている電話帳が送信されます。
◎データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
◎著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。

IC通信でデータを受信する

1 送信側の端末とFeliCaマークを向かい合わせる

2 [OK]

3 ステータスバーをタップ

4 受信したデータを選択

再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択すると「アプリケーションを選択」画面が表示されます。画面に従って操作してください。

memo

◎電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
◎電話帳を全件受信した場合、「全件削除して登録」を選択すると、受信データの1件目がプロフィールに上書きされます（INFOBAR A01の自局電話番号・自局メールアドレスは除く）。
◎受信したデータの登録先については、「受信データの登録先について」（▶P.214）をご参照ください。
◎受信したvCard形式、vMessage形式、vNote形式、vBookmark形式のデータは、コンテンツマネージャーで[Others]→データを選択→画面の指示に従って操作しても、登録することができます。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などとの間を無線でつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。

• Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth®機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽やテレビ（ワンセグ）放送を聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

電話帳、プロフィール、メモ帳、ブックマーク、メール、フォトデータ、ムービーデータ、ボイスレコーダーで録音したデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

◎INFOBAR A01はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続を保証するものではありません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。

◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎ microUSBケーブル01(別売)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器のペア設定中(新規登録中)」「データ送受信中」「検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器とINFOBAR A01の間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とINFOBAR A01の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、応答することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合は、通話中画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.3.0
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile) Ver.1.3 OPP(Object Push Profile) SPP(Serial Port Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)※3 DUN(Dial-up Networking Profile) HID(Human Interface Device Profile)
使用周波数帯	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 電話帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス(12桁の英数字)です。 ペア設定をした通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP (Headset Profile)	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP (Hands-Free Profile)	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。

用語	説明
A2DP （Advanced Audio Distribution Profile）	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP （Audio／Video Remote Control Profile）	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
OPP （Object Push Profile）	カーナビ、パソコンなどと電話帳データなどを送受信するためのプロファイルです。
SPP （Serial Port Profile）	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
PBAP （Phone Book Access Profile）	電話帳データを転送するためのプロファイルです。
DUN （Dial-up Networking Profile）	ダイヤルアップ接続を行うためのプロファイルです。
HID （Human Interface Device Profile）	キーボードを接続して文字を入力するためのプロファイルです。
OBEX （Object Exchange）	画像データや電話帳データのファイル交換を行うための規格です。
パスキー	Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、INFOBAR A01およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。 INFOBAR A01では、1～16桁の数字を入力できます。
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリです。 INFOBAR A01では、テレビ（ワンセグ）のことを指します。
オーディオ出力対応機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。 INFOBAR A01では、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®を起動する

INFOBAR A01でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®を起動します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 iida Home→［設定］→［無線とネットワーク］→［Bluetooth］

iida Home→［設定］→［無線とネットワーク］→［Bluetooth設定］→［Bluetooth］でも同様に操作できます。

memo

◎Bluetooth®を起動すると、電池の消耗が激しくなります。
◎オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。

Wi-Fi／データ通信

■Bluetooth®機器との接続には

Bluetooth®機器との初回接続時に、同じパスキーが表示されていることを確認する旨のメッセージが表示されます。その場合は、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることを確認してから、INFOBAR A01と接続するBluetooth®機器で接続の操作を行ってください。パスキー入力画面が表示された場合は、INFOBAR A01と接続するBluetooth®機器で同じパスキーを入力してください。

他のBluetooth®機器からの機器検索への応答を受け付けたい場合は、「検出可能」を有効に設定してください。

memo

◎パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

■ハンズフリー通話について

ハンズフリー機器やヘッドセット機器と接続中にBluetooth®を再起動した場合や、Bluetooth®を起動した状態で、ペア設定済みの機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

◎ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」／「HFP」です。

◎ハンズフリーをご利用になる場合は、あらかじめ対応機器と接続してください。詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」（▶P.220）をご参照ください。

◎ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー着信中や通話中に［ ］／［ ］を押すと、ハンズフリー対応機器の着信音量や通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

◎ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

■オーディオ機器について

Bluetooth®を起動した状態で、ペア設定済みの機器から接続要求があると自動的に接続します。

オーディオ機器接続中は、以下の点にご注意ください。

- BGM再生中／BGM受信中に画面ロックが設定されても、オーディオ機器からの操作を継続して行うことができます。
- オーディオ出力対応アプリや利用する機器によっては、本体の操作で音量を調節できない場合や本体の操作で音量を調節しても、オーディオ機器には反映されない場合があります。その場合は、音量をオーディオ機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては、音量調節以外も利用できない場合があります。
- 着信があった場合は、スピーカーでお知らせします。ハンズフリー対応のオーディオ機器の場合は、オーディオ機器から着信通知音が流れます。
- アラームなどで設定している時刻になった場合は、オーディオ機器でお知らせします。ただし、オーディオ機器で電話を受けたり通話をしたりすることはできません。スピーカーとマイクで通話してください。
- オーディオ出力対応アプリ起動中にオーディオ機器の接続が切断されても、アプリの動作は継続します。接続切断後、オーディオ機器を操作すると接続を再開します。
- オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。
- テレビ（ワンセグ）の番組によっては、オーディオ機器で音を聴くことができない場合があります。

memo

◎オーディオ出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。

◎オーディオ機器をご利用になる場合は、あらかじめペア設定を行なってください。詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」（▶P.220）をご参照ください。

◎SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。
◎音楽を聴いているときなどに電話をかけたり、かかってきた電話に出たりする場合は、オーディオ機器とハンズフリー機器またはヘッドセット機器の両方のプロファイルに対応している必要があります。
◎500曲以上登録したプレイリストは、カーナビでは再生できない場合があります。

Bluetooth®機器と接続する

INFOBAR A01からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→[デバイスのスキャン]

検索に応答した機器が「Bluetooth端末」に表示されます。

	アイコン
ハンズフリー機器	
オーディオ機器／ヘッドホン	
携帯電話	
コンピュータ	
キーボード	

2 接続するBluetooth®機器を選択

3 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

パスキー入力画面が表示されたときは、INFOBAR A01とBluetooth®機器で同じパスキー（1～16桁の数字）を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

memo

◎ペア設定をしたBluetooth®機器がヘッドセット機器、ハンズフリー機器、オーディオ機器、キーボード機器のいずれにも対応していない場合、接続が行われません。
◎Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は、検索結果に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。

■検索したBluetooth®機器のメニューを利用する

「デバイスのスキャン」で検索した機器をロングタッチすると、ペア設定の解除や接続の設定を行うことができます。

1 「デバイスのスキャン」で検索した機器をロングタッチ

2

接続	Bluetooth®機器と接続します。	
ペアに設定して接続	Bluetooth®機器とペア設定をし、接続します。	
接続を解除	Bluetooth®機器と切断します。	
ペアを解除	Bluetooth®機器とペア設定を解除します。	
切断してペアを解除	Bluetooth®機器と切断し、ペア設定も解除します。	
オプション...	接続	Bluetooth®機器と接続するかどうかを設定します。
	電話	通話をするときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
	メディア	音楽や動画を視聴するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。
	HID	キーボードを接続して文字を入力するときに、選択したBluetooth®機器を使用するかどうかを設定します。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを送信する

各機能のメニューから、データをBluetooth®送信することができます。

例：電話帳を1件送信する場合

1 電話帳詳細画面→MENU→[Bluetooth送信]

2 [はい]

3 送信先の機器を選択

例：電話帳を複数送信する場合

1 電話帳一覧画面→MENU→[Bluetooth送信]

2

選択送信	連絡先を選択して送信します。 **連絡先を選択→[送信]→[はい]**
全件送信	連絡先をすべて送信します。 **[はい]→ロックNo.を入力→[OK]**

3 送信先の機器を選択

memo

◎ 電話帳を全件送信する場合は、「送信項目設定」にかかわらず、プロフィールのすべての内容も送信されます。
◎ 複数のGoogleアカウントを設定している場合、電話帳を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている電話帳が送信されます。
◎ データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
◎ データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎ データ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。
◎ 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎ データ送信時は、電話帳とプロフィールはvCard形式、メールはvMessage形式、メモ帳はvNote形式、ブックマークはvBookmark形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

INFOBAR A01でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手側（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法については、「Bluetooth®を起動する」（▶P.218）をご参照ください。

1 送信側のBluetooth®機器からデータ送信

2 ステータスバーをタップ

3 受信するデータを選択

4 [承諾]

5 ステータスバーをタップ

6 受信したデータを選択

再生／表示／登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択すると「アプリケーションを選択」画面が表示されます。画面に従って操作してください。

memo

◎ データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎ データ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。
◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。
◎ 電話帳登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
◎ 電話帳を全件受信して「全件削除して登録」を選択した場合、受信データの1件目がプロフィールに上書き登録されます（自局電話番号・自局メールアドレスは除く）。

◎ データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。
◎ 受信したデータの登録先については、「受信データの登録先について」(▶P.214)をご参照ください。
◎ 受信したvCard形式、vMessage形式、vNote形式、vBookmark形式のデータは、コンテンツマネージャーで[Others]→データを選択→画面の指示に従って操作しても、登録することができます。

Bluetooth®機能の設定をする

1 **iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]**

2

項目		説明
Bluetooth		▶P.218「Bluetooth®を起動する」
端末名		他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される端末名を編集できます。
検出可能		Bluetooth®機器からの検索を受け付けるかどうかを設定します。 • 有効にしてから一定時間経過すると、自動的に無効になります。
Bluetooth詳細設定	自機情報	自機情報を表示します。
	常にハンズフリー通話	常にハンズフリー機器で通話するかどうかを設定します。
	複数接続待受け	接続中の機器がある場合に、他の機器からの接続を受け付けるかどうかを設定します。
デバイスのスキャン		▶P.220「Bluetooth®機器と接続する」

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.80
	お留守番サービス（ボイスメール含む）	P.224
	着信転送サービス	P.229
	割込通話サービス	P.232
	発信番号表示サービス	P.234
	番号通知リクエストサービス	P.234
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.233
	迷惑電話撃退サービス	P.235
	通話明細分計サービス	P.236

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「電波OFFモード」を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービスは同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメールの合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 • お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1]→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合（留守番開始1）

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1][1]→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [ ]を左にスライド

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合（留守番開始2）

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1][3]→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [ ]を左にスライド

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）（話中転送）
- 着信中にMENU→[着信転送]と操作した場合（選択転送）

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。このとき、お留守番サービス以外にINFOBAR A01の「伝言メモ設定」（▶P.191）または「オートアンサー」が同時に設定されているときは、応答時間の短いものが優先されます。お留守番サービスの応答時間は変更できません。
◎お留守番サービスと着信転送サービスを同時に開始することはできません。お留守番サービスの設定中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1][0]→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2 []を左にスライド

memo

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、INFOBAR A01のお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.227「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。
「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」: 録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す
「✱」: 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 iida Home→[Phone]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、Cメールで確認できます。
伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

◎「発番情報あり」に設定されていて、同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次の通りです。
発番情報なし: 1件
発番情報あり: 20件
◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。

◎ ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、Cメールで確認できます。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1][7]→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守伝言再生]→[はい]でも同様に操作できます。
iida Home→[Phone]→[1]をロングタッチしても同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

「1」：同じ伝言をもう一度聞く
「2」：伝言を保存
「4」：5秒間巻き戻して聞き直す
「5」：伝言を一時停止（20秒間）※
「6」：5秒間早送りして聞く
「9」：伝言を消去
「0」：伝言再生中の操作方法を聞く
「#」：次の伝言を聞く
「✱」：前の伝言を聞く
※「　」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [　]を左にスライド

memo

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメールも同じものとして扱われます。
◎ 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1][4]→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[はい]でも同様に操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[　]を左にスライド

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[　　]を左にスライド

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 [3]→応答メッセージを確認→[　　]を左にスライド

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[　　]を左にスライド

memo

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.227「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 iida Home→[Phone]→[1][6][1][0]→[発信]

2 [　　]を左にスライド

memo

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 iida Home→[Phone]→[1][6][1][1]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[　　]を左にスライド

memo

◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のINFOBAR A01以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410

サービス内容	番号
伝言･ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のINFOBAR A01の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.25)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1][9][1]→[発信]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [ ]を左にスライド

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 iida Home→[Phone]→[1][4][1][9][0]→[発信]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [ ]を左にスライド

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)、天気予報(177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービスを同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②選択転送　③無応答転送
◎無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からINFOBAR A01までの通話料	有料 • 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
INFOBAR A01から転送先までの通話料	有料 • お客様のご負担となります。 • 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 iida Home→[Phone]→[1][4][2][2]＋転送先電話番号を入力→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [　　]を左にスライド

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、iida Home→[Phone]→[1][4][2][1][2]→[発信]と操作して設定できます。
◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。このとき「伝言メモ設定」（▶P.191）または「オートアンサー」が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。
◎ GSMローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 iida Home→[Phone]→[1][4][2][3]＋転送先電話番号を入力→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [　　]を左にスライド

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、iida Home→[Phone]→[1][4][2][1][3]→[発信]と操作して設定できます。
◎ 話中転送と割込通話サービスを同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎ GSMローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 iida Home→[Phone]→[1][4][2][4]＋転送先電話番号を入力→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [　　]を左にスライド

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、iida Home→[Phone]→[1][4][2][1][4]→[発信]と操作して設定できます。
◎ フル転送を設定している場合は、お客様のINFOBAR A01は呼び出されません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 iida Home→[Phone]→[1][4][2][5]+転送先電話番号を入力→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[選択転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [⌢]を左にスライド

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、iida Home→[Phone]→[1][4][2][1][5]→[発信]と操作して設定できます。
◎ 着信中にMENU→[着信転送]と操作すると、転送先電話番号に転送します。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

001国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 iida Home→[Phone]→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→[発信]

[1][4][2][2]:無応答転送　[1][4][2][4]:フル転送
[1][4][2][3]:話中転送　[1][4][2][5]:選択転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を001国際アクセスコードから入力します。

3 [⌢]を左にスライド

memo

◎ 001国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 iida Home→[Phone]→[1][4][2][0]→[発信]

iida Home→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [⌢]を左にスライド

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のINFOBAR A01以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用のINFOBAR A01の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.25）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 iida Home→[Phone]→[1][4][5][1]→[発信]

2 [　]を左にスライド

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 iida Home→[Phone]→[1][4][5][0]→[発信]

2 [　]を左にスライド

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定すると、パケット通信中も着信を受けられません。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [ ]を右にスライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
[ダイヤルキー]を上にスライド→[発信]と操作するたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「 」を左にスライドすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 iida Home→[Phone]→[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→[発信]

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に[ダイヤルキー]を上にスライド→Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、[ダイヤルキー]を上にスライド→[発信]→[発信]と操作するとAさんとの通話に戻ります。

4 [ダイヤルキー]を上にスライド→[発信]

3人で通話できます。
[ダイヤルキー]を上にスライド→[発信]と操作すると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「 」を左にスライドすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話中は、Cメールを送ることはできません。
◎三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様のINFOBAR A01のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(INFOBAR A01の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がINFOBAR A01のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービスのそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ サービスの開始･停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **iida Home→[Phone]→[1][4][8][1]→[発信]**

2 **[ ]を左にスライド**

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **iida Home→[Phone]→[1][4][8][0]→[発信]**

2 **[ ]を左にスライド**

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎ お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービス、番号通知リクエストサービスのそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 **iida Home→[Phone]→[1][4][4][2]→[発信]**

2 **[ ]を左にスライド**

memo

◎ 受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎ 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。

◎ 次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- Cメール

◎ 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎ 受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、受信拒否リストへの登録ができません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手の方から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎ 受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- Cメール
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 **iida Home→[Phone]→[1][4][4][8]→[発信]**

2 **[ ]を左にスライド**

memo

◎ 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 **iida Home→[Phone]→[1][4][4][9]→[発信]**

2 **[ ]を左にスライド**

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 **iida Home→[Phone]→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[発信]**

memo

◎ 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）、Cメールなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポートCDMA／GSM

GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のINFOBAR A01をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。
INFOBAR A01は渡航先に合わせてGSMネットワークとCDMAネットワークのどちらでもご利用いただけます。

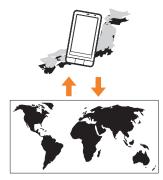
- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとCDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照いただくか、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用イメージ

1. 国内では、auのネットワークでご利用になれます。
2. INFOBAR A01の「エリア設定」を行います。
3. 世界のGSM／CDMAネットワークでいつもの番号で話せます。
4. 帰国したら「エリア設定」を「日本」へ戻します。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.239)に従い、各種設定を行ってください。

memo

◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。
◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。INFOBAR A01もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。
◎ グローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAは、ぷりペイド専用契約の方はご利用になれません。
◎ au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶P.25「PINコードについて」)

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ INFOBAR A01を盗難・紛失したら

- 海外でINFOBAR A01を盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- INFOBAR A01に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶P.25「PINコードについて」)

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

海外でINFOBAR A01を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
CDMAネットワークエリアでINFOBAR A01を利用する場合に設定が必要です。渡航前に、最新のPRLを取得してください。

1 iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[PRL設定]→[PRLバージョンを更新する]

PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

◎ PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料がかかります。

◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

INFOBAR A01を使用するエリアを設定します。

1 iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[エリア設定]

2

日本	日本国内でご利用になる場合に設定します。
海外（自動）	海外でご利用になる場合（CDMAネットワーク／GSMネットワークから自動設定）に設定します。
海外（CDMA）	海外でCDMAネットワークをご利用になる場合に設定します。
海外（GSM）	海外でGSMネットワークをご利用になる場合に設定します。

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。

ネットワークを設定する

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったときに、利用可能なネットワークを検索して接続できます。

1 iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[ネットワークオペレーター]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

2 利用するネットワークを選択

「ネットワークを検索」を選択すると、利用可能なネットワークを検索します。

「自動選択」を選択すると、最適なネットワークを自動で設定します。

memo

◎GSMネットワークを利用している場合のみ利用できます。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 iida Home→[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]

「OK」を選択すると、データローミングが有効になります。

memo

◎データローミングを有効にするには、あらかじめ「エリア設定」を「日本」以外に設定してください。

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例:韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 iida Home→[Phone]

2 国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。

memo

◎電話をかける相手の方がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の方の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 iida Home→[Phone]

2 電話番号を入力

GSMネットワークを利用している場合は、市外局番+相手の方の電話番号を入力してください。

CDMAネットワークを利用している場合は、次の表のように渡航先によって操作が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」+市外局番+相手の方の電話番号
ニュージーランド、韓国、中国、香港、マカオ、タイ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、ペルー、バミューダ諸島、バングラデシュ、バハマ、ベネズエラ	市外局番+相手の方の電話番号
メキシコ	**■ 市内通話の場合** 相手の方の電話番号 **■ 市外通話の場合** 「01」+市外局番+相手の方の電話番号

3 [発信]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

例:アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→[発信]

国際アクセス番号(アメリカ)	➡	日本の国番号	➡	au電話の電話番号(最初の0は省略する)
011		81		901234XXXX

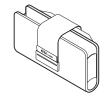
付録・索引

付録

周辺機器のご紹介

- ■ 電池パック（SHX11UAA）
- ■ シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01（SHX11QVA）
- ■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）※／
  共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）※／
  共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）／
  共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）／
  共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）／
  共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）／
  共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）／
  AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）※／
  AC Adapter AO（0204PLA）（別売）※／
  AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）※／
  AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）※／
  AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）※／
  AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）※／
  AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）※／
  AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）※／
  AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）※／
  AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）※／
  AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）／
  AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）／
  AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）／
  AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）／
  AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）
  - お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
  - 共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、上記（共通ACアダプタ01以外）の海外で使用可能なACアダプタを必ずご使用ください。

- ■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

- ■ auキャリングケースF ブラック（0105FCA）（別売）

- ■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

- ■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）※
- ■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）※
- ■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
- ■ microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）
- ■ microUSBモノラルイヤホン01（0301QLA）（別売）
- ■ microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（0301QVA）（別売）
- ■ 平型-microUSB変換アダプタ01（0301QXA）（別売）
- ■ 3.5φ-microUSB変換アダプタ01（0301QNA）（別売）
- ■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）

※INFOBAR A01でご使用になる場合は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）と接続する必要があります。

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

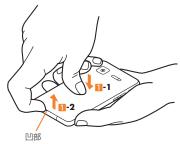
電池パックを交換する

電池パックは、INFOBAR A01専用のものを使用して正しく取り付けてください。

電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本体の電源を切ってください。

1 本体裏面の電池パックカバーを取り外す

電池パックカバーの中央部分を押さえながら(1-1)、電池パックカバーの凹部に指先(爪)をかけて、矢印方向に持ち上げて取り外します(1-2)。

2 電池パックのロックを解除する

ロックレバーを矢印の方向へスライドさせます。

3 電池パックを取り外す

電池パックの突起部を持って、上方へ持ち上げて取り外します。

memo

◎電池パックを取り外すときは、突起部を上に引くようにしてください。突起部以外の方向から持ち上げようとすると、本体または電池の接続部を破損するおそれがあります。

電池パックを取り付ける

1 突起部が電池パックの上に出るようにして、INFOBAR A01の接続部の位置を確かめて、電池パックを確実に押し込む

2 電池パックをロックする

ロックレバーを矢印の方向へスライドさせます。

3 電池パックカバーを本体に合わせて装着してから、電池パックカバーの外周をなぞりながら押して、カバー全体に浮きがないことを確認

電池パックカバーの右側中央部から押していきます。

◎au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

◎取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池パックカバー破損の原因となります。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
⏻を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.32
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.245
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.21
	⏻を長押ししていますか？	P.34
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.32
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.32
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.34
	au ICカードが挿入されていますか？	P.36
	電話番号が間違っていませんか？ （市外局番から入力していますか？）	P.64
	電話番号入力後、「発信」を選択していますか？	P.64
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.240
	「音声発信制限」で発信が制限されていませんか？	P.196
	「電話帳制限」で発信が制限されていませんか？	P.196
	「電波OFFモード」が設定されていませんか？	P.190
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.45
	サービスエリア外にいませんか？	P.45
	電源は入っていますか？	P.34
	au ICカードが挿入されていますか？	P.36
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.240
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.193
	「電波OFFモード」が設定されていませんか？	P.190
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.229

こんなときは	ご確認ください	参照
(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.45
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.31
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.240
Wi-Fiがつながらない	Wi-Fiの電波は十分に届いていますか？	P.45
	Wi-Fiの設定をしましたか？	P.210
ディスプレイ、充電／着信ランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.194
	マナーモードに設定されていませんか？	P.194
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.32
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.245
	「USB充電」の設定は有効になっていますか？ • microSDメモリカードが挿入されていない場合、パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、シャープケータイdaSHサポートページ（**http://k-tai.sharp.co.jp/support/**）をご参照ください。	P.195
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.34
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.34
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか？	P.32
	「おサイフケータイ ロック設定」が設定されていませんか？	P.170
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルを補正してみてください。	P.205
	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.42
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.34
au ICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.36
	異なるau ICカードを挿入していませんか？	P.36

こんなときは	ご確認ください	参照
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.32 P.36
電話が勝手に応答する	伝言メモが設定されていませんか？	P.191
	マナーモードが設定されていませんか？	P.194
	オートアンサーが設定されていませんか？	P.191
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ • 赤色の充電／着信ランプが消灯するまで、充電してください。	P.32
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.18
	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.45
	使用していないアプリケーションや機能を終了・停止してみてください。	P.45 P.50
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.45
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか？	P.195
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.195
	明るい場所で操作していませんか？ 周囲が明るいとバックライトは点灯しません。	P.195
	「ベールビュー」が設定されていませんか？	P.195
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.64
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.22
イヤホンマイクのマイクが使えない	「イヤホンの種類」が「マイクなし」に設定されていませんか？	P.194
	microUSB-3.5φ変換ケーブルにコネクタやイヤホンのプラグが正しく挿入されていますか？奥までしっかり挿入してください。	—

こんなときは	ご確認ください	参照
テレビ(ワンセグ)が映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか?	P.141
	microUSB-3.5φ変換ケーブルを接続していますか?	P.141
	視聴している場所が選択しているエリアと合っていますか?	P.150
画面が動かなくなり、どのキーをタップしても操作できない	先の細いものでリセットボタンを2秒以上押してください。 INFOBAR A01が再起動します。	P.31
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか? 通知がない場合は、電話帳の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。また、電話帳のグループ音声着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか?	P.70
	「電話帳制限」が有効になっていませんか?	P.196
	遠隔ロック中ではありませんか?	P.197
	フォルダシークレット登録したフォルダに振り分け登録されていませんか?	P.87
ウェブページに画像が表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか?	P.116
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか?	P.102
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか?	P.40
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか?	P.203
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか?	P.32 P.118
	本体の温度が高くなっていませんか?	P.123

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのINFOBAR A01本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　フリーコール **0077-7-113**（通話料無料）
au電話からは　局番なしの**113**（通話料無料）

■auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th>サービス内容抜粋</th><th>安心ケータイサポート会員</th><th>無料会員</th></tr>
<tr><td>① 保証サービス
注：保証内の場合、無償修理</td><td>5年保証サービス</td><td>3年保証サービス</td></tr>
<tr><td>② 修理代金割引サービス
注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引</td><td>全額割引
（無料）</td><td>お客様負担額
5,250円（税込）</td></tr>
<tr><td>③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス
注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引</td><td>お客様負担額
5,250円（税込）</td><td>お客様負担額
10,500円（税込）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">④ 紛失時あんしんサービス
注：盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引</td><td colspan="2">フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合</td></tr>
<tr><td>フルサポート解除料
全額免除</td><td>フルサポート解除料
お客様負担額
最大10,500円（税込）まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合</td></tr>
<tr><td>新しいau電話購入代金
最大18,900円（税込）
OFF</td><td>新しいau電話購入代金
最大6,300円（税込）OFF</td></tr>
<tr><td>⑤ 電池パック無料サービス</td><td>同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>⑥ 無事故ポイントバック</td><td>同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント</td><td>なし</td></tr>
</table>

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ･全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ･全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意･改造（分解改造･部品の交換･塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失･盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年～2年までの間、3年～4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ･全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間※同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。

※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

画像･ムービー･音楽･その他の詳細情報

データの登録先一覧

データの種類と登録先の対応は次の通りです。

■画像の登録先一覧

<table>
<tr><th colspan="2">登録先
データの種類</th><th>壁紙画像</th><th>通話中背景画像</th><th>メール送信中画像</th><th>メール受信中画像</th><th>電話帳の連絡先画像</th><th>プロフィール画像</th></tr>
<tr><td>JPEG</td><td rowspan="2">jpg/jpeg</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="8">○</td></tr>
<tr><td>デコレーション絵文字（JPEG）</td></tr>
<tr><td>GIF</td><td rowspan="3">gif</td></tr>
<tr><td>GIFアニメ</td></tr>
<tr><td>デコレーション絵文字（GIF）</td></tr>
<tr><td>Image：PNG</td><td>png</td></tr>
<tr><td>Image：BMP</td><td>bmp</td></tr>
<tr><td>Image：WBMP</td><td>wbmp</td></tr>
</table>

○：登録可能

◎著作権保護が設定されているデータは、登録できない場合があります。

◎データの種類や形式、容量、サイズにより登録操作は異なります。

■音の登録先一覧

データの種類＼登録先		音声着信音	メール受信音	通知音
Audio：AMR-Narrow band	amr	○	○	○
Audio：AMR-Wide band	awb			
Audio：3GPP（AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+））	3gp			
ボイス（AMRのみ）	3gp			
ボイス（AMR）	3g2			
Audio：MPEG4（AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+））	m4a/mp4			
Audio：MP3（8～320kbps CBR or VBR）	mp3			
Audio：WMA（著作権保護なし）	wma			
Audio：MIDI	mid/midi/xmf/rtttl/rtx/ota			
Audio：Ogg	ogg/oga			
Audio：iMelody（Ericsson/SonyEricsson独自）	imy			
Audio：PCM/WAVE	wav			
Audio：SMF	smf			

○：登録可能

memo

◎著作権保護が設定されているデータは、登録できない場合があります。
◎データの種類や形式、容量によっては、登録できない場合があります。
◎データの種類により登録操作は異なります。

表示／再生できる画像・ムービー

データの種類	拡張子
画像	.jpg、.jpeg、.png、.bmp、.wbmp、.gif
アニメ	.gif
ムービー	.m4v、.mp4、.3gp、.3g2、.3gpp、.3gpp2、.asf、.wmv

memo

◎サイズによっては表示／再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ	約3.7インチ、約26万色、NewモバイルASV液晶	
	960×540（QHD）	
質量	約113g（電池パック含む）	
連続通話時間	国内	約330分
	海外（GSM）	約330分
	海外（CDMA）	約380分：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土／ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／ニュージーランド／タイ／マカオ／ペルー／バングラデシュ／バミューダ諸島／バハマ／ベネズエラ／香港 • 対象国は2011年5月時点
連続待受時間	国内	約220時間※1
		約120時間※2
	海外（GSM）	約330時間
	海外（CDMA）	約270時間：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土 約360時間：ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港 約480時間：ニュージーランド／タイ／マカオ／ペルー／バミューダ諸島／ベネズエラ • 対象国は2011年5月時点
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約63mm×118mm×11.8mm（最厚部12.1mm）	
モバイルライト光源LED特性	a) 連続発光 b) 波長 白：400-700nm c) 最大出力 白：640μW（本体内部3.8mW）	

※1 Wi-Fiを利用していないとき

※2 Wi-Fi利用時

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■Cメール／Eメール

Cメール	受信フィルター	指定番号	10件
	メールセンター	保存件数	無制限
		保存期間	Cメールセンターに蓄積されてから72時間まで
Eメール	新規作成	宛先	30件（To／Cc／Bccを含む）
		件名	全角50／半角100文字
		本文	全角約5,000／半角10,000文字
		添付データ	5データまで添付可 5データを合計して最大2MB
	受信	件名	全角約500／半角約1,000文字
		本文	全角約5,000／半角約10,000文字
		添付データ	最大2MB
	サーバ	保存容量	12MBまたは最大500件
		保存期間	30日
受信ボックス		保存容量	最大2,000件※
		保護件数	最大1,000件
送信ボックス		保存容量	最大1,000件※
		保護件数	最大1,000件

※本体の空き容量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります

◎ Eメール送信数は1日最大1,000通（同報宛先数を含む）までです。

■カメラ

<table>
<tr><td>撮影素子</td><td colspan="3">CMOSイメージセンサー</td></tr>
<tr><td>有効画素数</td><td colspan="3">約805万画素</td></tr>
<tr><td rowspan="8">フォト</td><td rowspan="8">撮影サイズ</td><td>QVGA 240×320</td><td>1.9倍ズーム/7段階</td></tr>
<tr><td>VGA 480×640</td><td>1.9倍ズーム/7段階</td></tr>
<tr><td>QHD 540×960</td><td>1.5倍ズーム/5段階</td></tr>
<tr><td>2M 1,200×1,600</td><td>1.9倍ズーム/7段階</td></tr>
<tr><td>フルHD 1,080×1,920</td><td>1.7倍ズーム/6段階</td></tr>
<tr><td>3M 1,536×2,048</td><td>1.5倍ズーム/5段階</td></tr>
<tr><td>5M 1,944×2,592</td><td>1.2倍ズーム/3段階</td></tr>
<tr><td>8M 2,448×3,264</td><td>1.9倍ズーム/7段階※1</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ムービー</td><td rowspan="4">撮影サイズ</td><td>QVGA 320×240</td><td>6.4倍ズーム/15段階</td></tr>
<tr><td>VGA 640×480</td><td>5.1倍ズーム/14段階</td></tr>
<tr><td>QHD 960×544</td><td>1.5倍ズーム/5段階</td></tr>
<tr><td>HD 1,280×720</td><td>ズームなし</td></tr>
<tr><td>録画時間※2</td><td colspan="2">QVGA：最大約90分
VGA：最大約90分
QHD：最大約45分
HD：最大約45分</td></tr>
</table>

※1 ズームを利用すると、ズーム倍率に応じて最適な撮影サイズに変更されます。
※2 microSDメモリカード(2GB～32GB)をセットした場合の録画可能時間です。ただし、microSDメモリカードの容量、撮影状況、保存しているその他のデータの容量などによって変わります。また、ご使用になられる温度環境・使用条件によっては録画時間が減少します。

■本体内の容量

保存可能容量	約1.1GB

※データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。

■テレビ(ワンセグ)

連続視聴可能時間	約4時間40分

※使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【INFOBAR A01】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.544W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します(※2)。
KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5cm以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記の各ホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ:
http://www.au.kddi.com
○ シャープのホームページ:
http://www.sharp.co.jp/products/menu/phone/cellular/sar/index.html

---

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です(2011年3月現在)。

名前から引く索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

Wi-Fiを利用する

インターネットにアクセスする

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

アプリケーションを入手する

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生／編集する

データを録画／録音する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング・逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

QUALCOMM 3G CDMA

microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

The "RSA Secure" AND "Genuine RSA" logos are trademarks of RSA Data Security, Inc.

「らくらく瞬漢ルーペ®」及び「ラクラク瞬英ルーペ®」は株式会社アイエスピーの登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player テクノロジーを搭載しています。
Adobe Flash Player. Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、FlashおよびFlash ロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
再生するコンテンツによってはFlash Playerの最新版が必要になる場合があります。

Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済
Android および Android ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google および Google ロゴ、Google マップ、Gmail および Gmail ロゴ、Google トーク、Google 音声検索、Picasa および Picasa ロゴ、Android マーケット および Android マーケット ロゴ、Google Latitudeは、Google Inc.の登録商標または商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。

IrSimple™およびIrSS™は、Infrared Data Association®の商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

「ベールビュー」「ベストセレクトフォト」「チェイスフォーカス」「笑顔フォーカスシャッター」「振り向きシャッター」「TapFlow」「AQUOS」「AQUOS PHONE」「ワンタッチシャッター」「アニメビュー」「GALAPAGOS」「GALAPAGOS SQUARE」はシャープ株式会社の登録商標または商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Bluetooth®は、その商標権者が所有しており、シャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。
© 2010 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved.
DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.

Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

AirStation™、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。
The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.

「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

「Facebook」はFacebook, Inc.の登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社が提供するソーシャルアプリです。
「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

EUPHONY™は、DiMAGIC（ダイマジック社）の仮想音源処理技術を含む総合的な音質向上技術の商標です。
EUPHONY™ is a trademark of DiMAGIC Co.,Ltd.

PhotoSolid®、FrameSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。

本製品は、沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE（Face Sensing Engine）を使用しています。FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の商標です。

MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.（ビジョンオブジェクツ）の商標です。
MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.

CP8 PATENT

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com. This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、及び／又は(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、及び／又はAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。更に詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWMDRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツが影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

本製品には株式会社モリサワの書体、UD新ゴ Mを搭載しています。
「モリサワ」「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、iida Home→[設定]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

OpenSSL License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Safety Information

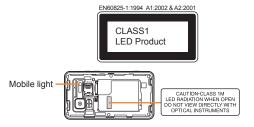
CE Declaration of Conformity

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this INFOBAR A01 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

CAUTION:
Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

Mobile light source LED characteristics

a) Continuous illumination
b) Wavelength
White: 400-700 nm
c) Maximum output
White: 640 μW (inside cell phone 3.8 mW)

■AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■Battery - CAUTION

Use specified battery or Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■Loudness warning

Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

■Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 35 mV.

■European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.998 W/kg※.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
CDMA SHX11	APYHRO00151	0.607 W/kg	0.366 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://www.fcc.gov/oet/fccid/ under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA)

Website at http://www.phonefacts.net.

English Simple Manual（簡易英語版）

Earpiece
Charging/Incoming indicator and Light sensor
Internal antennas
Power key
Volume up/down key
Search key
Display
Internal antennas
Menu key
Home key
Back key
Microphone
External connection jack
External connection jack cover
Infrared port
Camera lens
Speaker
Mobile light
Battery pack cover
FeliCa mark
microSD memory card slot
Lock Lever
Reset button
au IC-Card
Battery pack

Turning Power On and Off

● **Turning Power On**

Hold down (⏻) for at least two seconds.

● **Turning Power Off**

Hold down (⏻) for at least two seconds.
▶ Select [Power off]. ▶ Select [OK].

Switching the Screen to English

On the iida Home: Select [設定].
▶ Select [言語とキーボード]. ▶ Select [言語(Language)を選択].
▶ Select [English].

* The iida Home represents the stand-by screen.

Checking Your Own Phone Number and Mail Address

On the iida Home: Select [Settings]. ▶ Select [Profile].

Making and Answering a Call

● **Making a Call**

On the iida Home: Select [Phone].

▶ Enter the phone number you want to call. ▶ Select [Call].

To end a call: Slide [ ] in the left direction.

● **Answering a Call**

When the phone starts ringing, slide [ ] in the right direction.

When the phone starts ringing, tap [Answer] while the backlight illuminates (except when the unlock screen is displayed).

To adjust the earpiece volume during a call: Press / .

Storing and Recalling Address Book Entries

● **Storing an Entry**

On the iida Home: Select [Address Book]. ▶ Press MENU.

▶ Select [Add new entry]. ▶ Select the item you want to edit.

▶ Select [Save]. ▶ Select [Yes].

● **Recalling an Entry**

On the iida Home: Select [Address Book].

▶ Select the record you want to recall.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● **Recording a Movie Clip**

On the iida Home: Select [Video Camera].

▶ Select [ ] to start recording. ▶ Select [ ] to stop recording.

● **Taking a Snapshot**

On the iida Home: Select [Camera]. ▶ Select [ ] to take a snapshot.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

On the iida Home: Select [Phone].

[0] [0] [1] [0] [1] [0] ▶ [1] ▶ [2] [1] [2]

International access code / Country code (USA) / Area code

▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ Select [Call].

Number you want to call

Other Handy Features

● **Setting the Manner Mode**

Hold down ⏻ for at least two seconds.

▶ Select [Manner mode].

Repeat the above operation to disable the Manner Mode.

● **Setting the Answer Memo (Voice Recording)**

On the iida Home: Select [Settings]. ▶ Select [Call settings].

▶ Select [Call/Ans Memo]. ▶ Select [Answering memo setting].

▶ Select [ON].

For inquiries, call: Customer Service Center

For general information

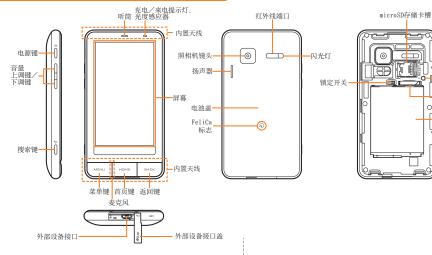
● If you are calling from a landline phone: 0077-7-111 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

For repairs, loss or theft

● If you are calling from a landline phone: 0077-7-113 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 113 (toll free)

中文简易说明书（簡易中国語版）

开启或切断电源

● **开机**

按住〔⏻〕两秒钟以上。

● **关机**

按住〔⏻〕两秒钟以上。▶选择〔電源を切る〕(电源关闭)。

▶选择〔OK〕(确定)。

切换到英语显示

在iida Home上：选择〔設定〕(设定)。

▶选择〔言語とキーボード〕(语言和键盘)。

▶选择〔言語(Language)を選択〕(选择语言)。

▶选择〔English〕(英文)。

* iida Home是指待机画面。

检查您自己的电话号码和电子邮箱地址

在iida Home上：选择〔設定〕(设定)。

▶选择〔プロフィール〕(个人资料)。

拨打和接听电话

● **拨打电话**

在iida Home上：选择〔Phone〕(电话)。

▶输入您想要拨打的电话号码。▶选择〔発信〕(拨号)。

结束通话：〔 〕向左侧方向滑动。

● **接听电话**

在电话铃声响起时，〔 〕向右侧方向滑动。

背景灯点亮状态下(显示锁定解除画面时除外)若接到来电，点按〔応答〕(接听)。

调整听筒音量：按 / 。

保存和查看电话簿内的名单

● **保存名单**

在iida Home上：选择〔電話帳〕(电话簿)。▶按MENU。

▶选择〔新規登録〕(添加新项目)。▶选择您想要编辑的项目。

▶选择〔保存〕(完成)。▶选择〔はい〕(是)。

● **查看名单**

在iida Home上：选择〔電話帳〕(电话簿)。▶选择您查找的记录。

使用照相机(视频和快照)

● **拍摄视频**

在iida Home上：选择〔Video Camera〕(摄像机)。

▶选择〔 〕开始拍摄。▶选择〔 〕停止拍摄。

● **拍摄快照**

在iida Home上：选择〔Camera〕(照相机)。▶选择〔 〕拍摄快照。

拨打国际长途电话

举例：想要拨打美国长途电话 212-123-△△△△

在iida Home上：选择〔Phone〕(电话)。

[0][0][1][0][1][0] ▶ [1] ▶ [2][1][2]

国际电话呼叫号码　国家号码(美国)　区号

▶ [1][2][3] ▶ △△△△ ▶ 选择〔発信〕(拨号)。

您要拨打的电话号码

其他手机功能

● **设置静音模式**

按住⏻两秒钟以上

▶选择〔マナーモード〕(静音模式)。

想要取消静音模式，则重复上述步骤。

● **设置语音备忘录(语音记录)**

在iida Home上：选择〔設定〕(设定)。

▶选择〔通話設定〕(通话设定)。

▶选择〔音声・伝言メモ〕(语音备忘录)。

▶选择〔伝言メモ設定〕(语音备忘录设定)。▶选择〔ON〕(开)。

如需咨询，请垂询：客户服务中心

综合服务

● 从座机上请拨打电话：0077-7-111(免费)

● 从au手机上请拨打电话：157(免费)

故障、挂失、失窃

● 从座机上请拨打电话：0077-7-113(免费)

● 从au手机上请拨打电话：113(免费)

文字入力の詳細情報

■記号（全角／半角）一覧

入力できる記号（全角）一覧（表示順）

空白(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←
↑	↓	〓	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯
ゎ	ゐ	ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι
κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│	┌
┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍
㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝
〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	∮	∟	⊿			

入力できる記号（半角）一覧（表示順）

空白(スペース)	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{	|	}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ	

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■ 絵文字一覧

入力できる絵文字一覧（表示順）

●異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

●マルが付いた絵文字は動きます。ただし、入力箇所によっては動かない場合があります。

●他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。

http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html

※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

■デコレーション絵文字一覧

お買い上げ時に用意されているデコレーション絵文字一覧

理科
社会
音楽
英語

■顔文字一覧

カテゴリ	内　容
笑い	(*^^*)
	(^-^)
	(^-^)v
	(^.^)
	(^^)
	(^^)v
	(^_^)
	(^_^)v
	(^o^)
	(^o^)v
	(^q^)
	(爆)
	(笑)
	:-)
	:->
	;-)
	f(^_^)
	(^〇^)
	(^―^)
	(⌒-⌒)
	(￣―￣)
	d(⌒―⌒)!
	d=(^o^)=b
	o(^o^)o
	p(^-^)q
	p(^^)q
	q(^-^q)
	(o^―^o)
	(￣∇￣*)ゞ
	(〃^―^〃)
	(〃⌒―⌒〃)ゞ
	o(*⌒O⌒)b
	(*≧∀≦*)
	(//∇//)
	(*´∇`*)

カテゴリ	内　容
笑い	(o＾・＾o)
	o(*⌒―⌒*)o
	(￣▽￣)
	(｡-∀-)
	(˜▽˜@)♪♪♪
	♪ヽ(´▽`)/
	ρ(^o^)b_♪♪
	ヽ(*´▽)ノ♪
	ヽ(￣▽￣)ノ
	ヽ(・∀・)ノ
泣き	(;_;)
	(;_・)
	(;o;)
	(>_<)
	(T-T)
	(TT)
	(T_T)
	(ToT)
	(*ToT)
	(T^T)
	(T__T)
	(/_;)
	(ノ_・,)
	(;__q)
	(泣)
	(涙)
	X-<
	(/_;)/˜˜
	(;_;)/˜˜˜
	(><*)ノ˜˜˜˜˜
	(´Д`)
	(;つД`)
	゜゜(´O`)゜゜
	・・・(;´Д`)
	(´△`)

カテゴリ	内　容
泣き	(　TДT)
	(´;ω;`)
	ρ(・・、)
	(/―￣;)
	(　;∀;)
	(ノД`)…
	(｡´Д⊂)
	(つд;*)
	・゜・(つД`)・゜・
	Σ(ノд<)
	(i_i)＼(^_^)
怒り	(- -;)
	(-.-)
	(-_-)
	(-_-;)
	(怒)
	:-(
	:-<
	:-p
	(￣^￣)
	(`Δ´)
	(*`Д´)ノ！！！
	ι(`ロ´)ノ
	(`へ´*)ノ
	(→_→)
	o(￣―￣)〇☆
	(/^^)/⌒●˜*
	('ε'*)
	(#￣3￣)
	(((￣へ￣井)
	(・┬・)
	(#`皿´)
	Σ(￣皿￣;;
	(￣へ￣メ)
	へ(・・へ)｡｡

カテゴリ	内　容
怒り	(`□´)
	(`へ´)
	(`ロ´;)
	(ノ-_-)ノ˜┻━┻
	(ノ-o-)ノ┤
挨拶	(^-^)/
	(^^)/
	(^^)d
	(^_^)/
	(^o^)/
	＼(^-^)／
	＼(^^)／
	＼(^_^)／
	＼(^o^)／
	(-_-)/˜˜˜
	(/- -)/
	(^_^)/˜˜
	(^o^)／˜˜
	(^∧^)
	(^人^)
	(⌒O⌒)／˜˜
	(￣O￣)/
	(￣―￣)ノ
	(*^―゜)ノ
	(@＾＾@)／
	(⌒∇⌒)ノ"
	(・∀・)ノ
	|＾▽＾)ノ
	(;_;)/˜˜
	(@＾＾)／˜˜˜
	('―')/˜˜
	(><*)ノ˜˜˜˜˜
	(o・・o)/˜
	ヾ(・◇・)ノ
	♪Ю―(^▽^o)♪

カテゴリ	内　容
挨拶	(・ω・`=)ゞ
	(*・x・)ノ˜˜˜♪
	(⌒∇⌒)ノ""
	♪(o・ω・)ノ))
	ヾ(*T▽T*)
	(^―゜)ノ
	(*゜―゜)ゞ⌒☆
	(｡・x・)ゞ♪
	(`―´ゞ-☆
	(￣―￣ゞ―☆
	(゜◇゜)ゞ
	(｡・ω・｡)ゞ
	!(￣-￣)ゞ
	(□_□)ゞ
	(@＾▽゜@)ゞ
	(`◇´)ゞ
	(　*・ω・)ノ
	＼(^_^)(^_^)／
焦り	^^;
	^_^;
	(^-^;
	(^^;
	(^_^;)
	(^o^;)
	(-o-;)
	(汗)
	f(^^;
	f(^_^;
	(((^^;)
	(((^_^;)
	(^^;)))
	(((・・;)
	(((((((・・;)
	(;´д`)
	(・_・;

カテゴリ	内　容
焦り	(^-^ゞ
	(^^ゞ
	(^_^;)))
	(^_^ゞ
	(^o^ゞ
	(——;)
	(￣▽￣;)
	_(^^;)ゞ
	f(^—^;
	σ(^_^;)?
	┐('～`;)┌
	o(T△T=T△T)o
	(´▽`;)ゞ
	(/´△`＼)
	(;￣—￣A
	(;>_<;)
	(◎-◎;)
	((((;゜Д゜)))
驚き	(*_*)
	(・・;)
	:-O
	(((・・;)
	(゜o゜)＼(-_-)
	(゜゜;)＼(- -;)
	(゜ロ゜)
	(゜ロ゜;
	(・・;)))
	(￣O￣;
	(゜O゜;

カテゴリ	内　容
驚き	ヾ(゜O゜*)ノ?
	!!(゜ロ゜ノ)ノ
	(@￣□￣@;)!!
	(￣□IIII!!
	Σ(-∀-;)
	!Σ(￣□￣;)
	!Σ(×_×;)!
	(ll゜Д゜)
	Σ(￣ロ￣lll)
	(￣□￣;)!!
	(〃▽〃)
	(☆o☆)
	(☆∀☆)
	(／▽＼)♪
	ヘ(≧▽≦ヘ)♪
	三(゜∀゜)
	(゜〇゜;)
	(゜〇゜;)?????
	(;゜∇゜)
	(ノ゜ο゜)ノ
	＼(>_<)／
	＼(◎o◎)／
	＼(゜o゜;)/
	((((;゜Д゜)))
その他	(..)
	(__)
	(照)
	(眠)
	m(__)m

カテゴリ	内　容
その他	(-.-)Zzz・・・・
	(-.-)y-~
	(-.-)ノ⌒-~
	(-。-)y-~
	(>.<)y-~
	(^3^)/
	(^з^)-☆
	(^。^)y-~
	φ(..)
	φ(゜゜)ノ゜
	φ(. .)
	(。_。)φ
	ゞ(`')、
	ヘ(^_^)
	＼(__)
	(;´д`)ゞ!
	(*ov.v)o
	(*v.v)。。。
	(^__—)≡★
	(ゝω・´★)
	ヘ(・。・。)
	(*^▽^)/★*☆♪
	(*^3(*^o^*)
	(*^3^)/～☆
	(*⌒3⌒*)
	(〃▽〃)
	(*^)(*^-^*)ゞ
	(☆∀☆)
	(／▽＼)♪

カテゴリ	内　容
その他	ヘ(≧▽≦ヘ)♪
	(￣▽￣=￣▽￣)
	(・д・=・д・)
	ヘ(・o・三・o・)ヘ
	(>ω<)/。・゜゜・
	(￣▽￣)b
	d(⌒—⌒)!
	(゜∇^d)!!
	(o^-')b !
	((￣_|
	(;¬_¬)
	|(-_-)|
	(ヾ(´・ω・`)
	(´・ω・`)?
	(´。`)・・
	ヘ(×_×;)ヘ
	(*´—`*)
	(/-＼*)
	(゜Д゜≡゜Д゜)?
	(∋_∈)
	(／O￣)
	(´д⊂)・・
	(￣q￣)zzz
	o(____*)Zzz
	(*￣∇￣)ノ
	(・д・)ノ
	ヾ(´▽`*)ゝ
	(*^-^)ヘ__/
	(￣。￣)

カテゴリ	内　容
その他	(*￣。￣*)
	(〃∇〃)
	(〃ω〃)
	(///∇///)
	┐(-。—;)┌
	((o(^∇^)o))
	☆≡(>。<)
	ヘ(^^ヘ)
	(*^o^)／＼(^-^*)
	(^_^)/□☆□＼(^_^)
	(^_^)∠※
	orz
	‖WC‖ヽ(^^ゞ。。。。
	>゜)))彡
	⌒(ё)⌒
	☆ミ
	○o。.
	U^ェ^U
	(-)_(-)
	(=`ェ´=)
	(≡・x・≡)
	~>゜)———
	￣(=・.・=)￣
	⊂(^(工)^)⊃
	l:3ミ

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

●登録されている顔文字は編集できます。

区点コード表

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔

1~3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

1~3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ~の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る~れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

■ お詫びと訂正 ■

このたびは、INFOBAR A01をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書の記載に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに以下お知らせさせていただきます。

【取扱説明書】

● 186ページ「INFOBAR A01のデータをDLNA対応機器で再生する」のmemo欄

（誤）

記載なし

▶

（正）

◎ 本製品のデータをDLNA対応機器で再生する場合は、あらかじめmicroSDメモリカード内の下記のフォルダに格納しておいてください。
- 静止画：「¥DCIM」／「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥PICTURE」
- 動画：「¥DCIM」／「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MOVIE」
- 音楽：「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MUSIC」／「¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥SOUND」

◎ microSDメモリカードの内容を確認するには、「microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する」（▶P.184）をご参照ください。

● 232ページ「割込通話サービスを利用する（標準サービス）」のmemo欄

（誤）

◎ INFOBAR A01はデータ通信を頻繁に行うため、割込通話サービスを停止していると着信を受けられない場合があります。

▶

（正）

記載削除

● 233ページ「割込通話サービスを停止する」のmemo欄

（誤）

◎ 「最大9.2Mbpsエリア／3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。

▶

（正）

◎ 割込通話サービスを「停止」に設定すると、パケット通信中も着信を受けられません。

→次ページもお読みください。

● 273ページ

（誤）

記載なし

（正）

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、iida Home→［設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
- GPL、LGPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

発売元：KDDI（株）
沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社
2012年9月

<お客様各位>

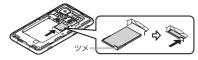
このたびは、INFOBAR A01をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

■ au ICカードの取り付けかた

1 トレイにau ICカードのIC(金属)部分を下にして装着する

au ICカードとトレイの切り欠き方向を合わせ、au ICカードをスライドさせてトレイに装着します。

2 au ICカードにトレイの3箇所のリブがかかっていることを確認する

3 トレイをINFOBAR A01に差し込む

■ ご使用中のご注意について

充電中や通話中、YouTube起動中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中、ブラウザ使用中などは、本体の一部が温かくなる場合がありますが、故障ではありません。

→次ページもお読みください。

■ microSD™メモリカードの取り付けかた

必ず本体の電源を切った状態で以下の手順を行ってください。

1 **ガイドをOPEN方向へスライドさせて、ロックを外す**

2 **ガイドを約90度に起こし、端の位置になるよう矢印方向へスライドさせる**

ガイドを起こしたり、倒したりするときは、ガイドに強い力をかけすぎないようにご注意ください。

3 **microSD™メモリカードを挿入口にゆっくりと差し込む**

このとき、microSD™メモリカードを差し込みすぎないようにご注意ください。

4 **ゆっくりとガイドを倒す**

5 **ガイドをLOCK方向へスライドさせて、ロックする**

※ INFOBAR A01のご使用にあたっては、「Q&A」アプリケーションもご参照ください。

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元：シャープ株式会社
2011年6月 第1版
TCAUZA210AFZZ

■ お知らせ ■

このたびは、INFOBAR A01をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご利用前に以下の内容をお読みいただき、正しくお使いください。

■ 電池消費の軽減について

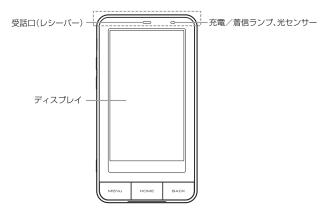
- INFOBAR A01では複数のアプリケーションを同時に起動させることができます。
現在起動しているアプリケーションの他に、その前に使用していたアプリケーションも画面上では見えませんが、バックグラウンドではまだ終了していない場合があります。
ホームキーを長押しして起動中アプリ一覧画面から、現在起動しているアプリケーションを終了することで、電池の消費を抑えることができます。
- お知らせ／ステータスパネルの「電源管理」を利用して、Wi-Fi、Bluetooth®、GPS機能、自動同期、画面の明るさの設定ができます。設定をこまめに切り替えることで電池の消費を抑えることができます。
- ダウンロードしたアプリケーションなどによっては、電池の消費に影響するものがあります。お知らせ／ステータスパネルの「電源管理」で自動同期を無効にするなど、設定をこまめに切り替えてください。

《起動中アプリ一覧画面》

《お知らせ／ステータスパネル》

- INFOBAR A01には電池の消費を抑えるための**「省エネ設定」**があります。操作音や画面などの設定を無効、または最小値に設定し、電池の消費を抑えることができます。省エネ設定をするには、iida Homeで「設定」から「省エネ設定」を選択します。
- **「とにかく省エネ」**を設定すると省エネ設定の項目一覧が一括で無効、または最小値に設定されます。設定後は一括で元に戻すことはできません。戻す場合は各設定ごとに行ってください。

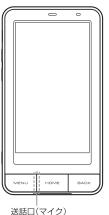
■ 市販の保護カバーの取り付けおよびシールなどの貼り付けについて

- **INFOBAR A01の光センサー／受話口(レシーバー)などがある部分(下図点線部)は、市販の保護カバーやシールなどで覆わないでください。誤動作の原因となることがあります。また、ディスプレイのある面に市販の保護シートなどを貼るとタッチパネルの感度が悪くなることがあります。**

■ 送話口(マイク)の位置について

- マイクはホームキー内側に配置されているため、手でふさいでミュートすることができません。ミュートするには、通話中にメニューキーから「マイクOFF」を設定してください。

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元：シャープ株式会社
2011年6月　第1版

TCAUZA192AFZZ

→次ページもお読みください。

■ 電池パックカバーの取り外し／取り付け方法

● **本体裏面の電池パックカバーを取り外す**
電池パックカバーの中央部分を押さえながら（**1**）、電池パックカバーの凹部に指先（爪）をかけて、矢印方向に持ち上げて取り外します（**2**）。

● **電池パックカバーを取り付ける**
下図のように右側中央部から外周をなぞりながら押して、カバー全体に浮きがないように取り付けてください。

■ 外部接続端子カバーの閉じかた

● 下図のように、**1**、**2**の順で外部接続端子カバーを閉じてください。

■ 通話中の画面表示について

＜通話終了後にディスプレイから顔を離しても画面表示されない場合＞

● ディスプレイに指などが触れないように離した状態で電源キーを押してください。

＜通話中に他のアプリケーションを起動して、通話中画面に戻りたい場合＞

● ホームキーを押してiida Homeに戻り、「Phone」を起動させて「通話画面に戻る」を選択してください。

● ステータスバーをタップし、「通話中」を選択してください。

■ ワンセグのご利用について

● INFOBAR A01にはテレビアンテナが内蔵されていません。ワンセグを起動して視聴エリアを設定する場合やワンセグを視聴／録画する場合は、テレビアンテナを兼用したシャープmicroUSB-3.5φ変換ケーブル01を接続してください。
シャープmicroUSB-3.5φ変換ケーブル01は、なるべくまっすぐ伸ばしてご利用ください。
また、INFOBAR A01を受信感度の良い方向に向けてお使いください。
なお、充電用機器とは併用できませんので、ワンセグを視聴／録画する際は十分充電したうえでご利用ください。

■ ご使用中のご注意について

● **電源を入れてから「iida」のロゴが表示されている間と、スリープモード中に電源キーを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。**

● 充電中や通話中、YouTube起動中、カメラ機能動作中、テレビ（ワンセグ）視聴中、ブラウザ使用中などは、本体の一部が温かくなる場合がありますが、故障ではありません。

● **INFOBAR A01のご使用にあたっては、「Q&A」アプリケーションもご参照ください。**

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

■ お客さまセンター

総合・料金について	一般電話からは	（通話料無料）	0077-7-111
	au電話からは	（通話料無料）	局番なしの157
	PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.		
紛失・盗難・故障・操作方法について	一般電話からは	（通話料無料）	0077-7-113
	au電話からは	（通話料無料）	局番なしの113
上記の番号がご利用になれない場合、右記の番号にお電話ください。	沖縄を除く地域	（通話料無料）	0120-977-033
	沖縄	（通話料無料）	0120-977-699

この取扱説明書は植物油インキで印刷しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。取扱説明書リサイクルにご協力ください。

このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。

お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために

お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず

マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2011年6月 第1版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）　製造元：シャープ株式会社　TINSJA823AFZZ